

令和6年度
南砺市総合計画市民意識調査
調査報告書

令和6年10月
南砺市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収状況	1
3. 回答者の属性	1
II. 調査結果	5
III. 自由意見集計結果	61
1. 意見分類一覧	61
2. 意見詳細	62

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「第2次南砺市総合計画」におけるKPIの進捗状況などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

2. 調査設計と回収状況

(1) 調査の設計

調査対象者	南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人
抽出方法	男女、年齢、地域に偏りがないよう無作為抽出
配布方法	郵送による配布
回収方法	郵送及びインターネット回答による回収
調査時期	令和6年

(2) 有効回答数と回収率

調査票発送数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)
2,500	1,233	49.3

3. 回答者の属性

(1) 性別・年齢

(上段：人、下段：%)

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	不明	合計
男性	11 0.9	30 2.4	46 3.7	96 7.8	115 9.3	62 5.0	92 7.5	96 7.8	0 0.0	548 44.4
女性	9 0.7	34 2.8	65 5.3	103 8.4	131 10.6	95 7.7	117 9.5	119 9.7	3 0.2	676 54.8
その他	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.2
答えたく ない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.2	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	4 0.3
不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 0.2	3 0.2
全体	20 1.6	65 5.3	111 9.0	201 16.3	248 20.1	157 12.7	209 17.0	215 17.4	7 0.6	1,233 100.0

(2) 家族

図1 家族構成 N = 1,227

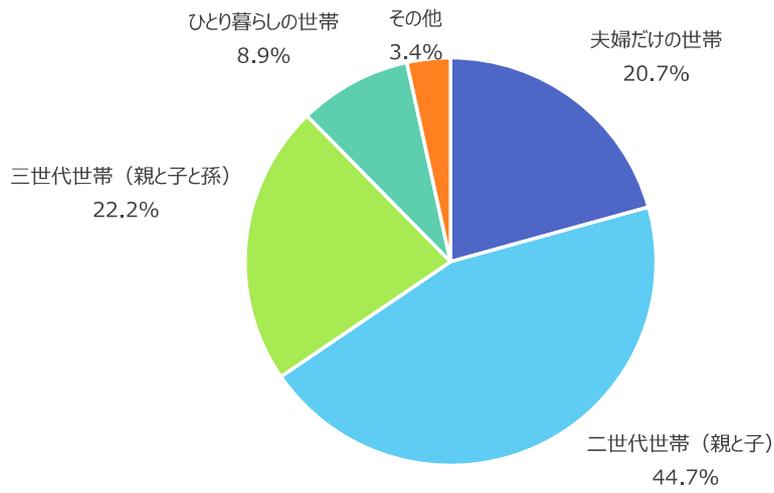


図2 配偶者 N = 1,225

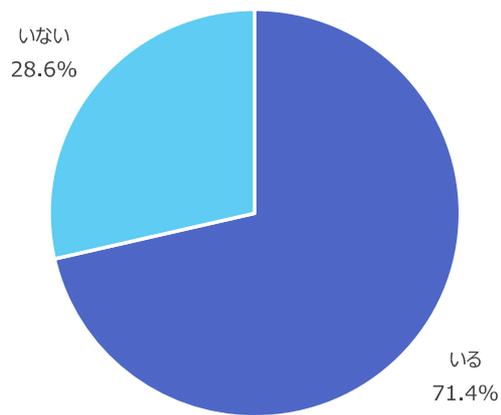
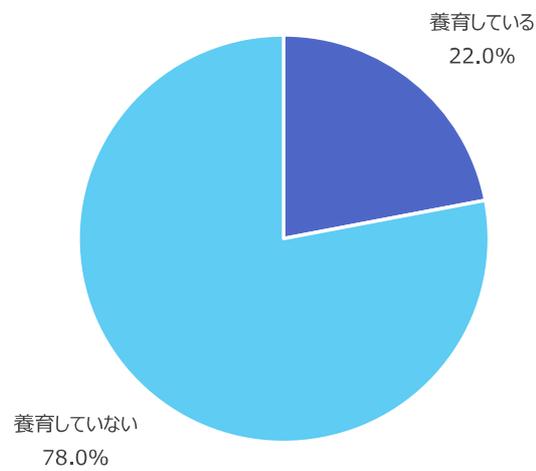


図3 子供 (0歳~中学生) N = 1,060



(3) 就労・就学

図4 就労・就学状況

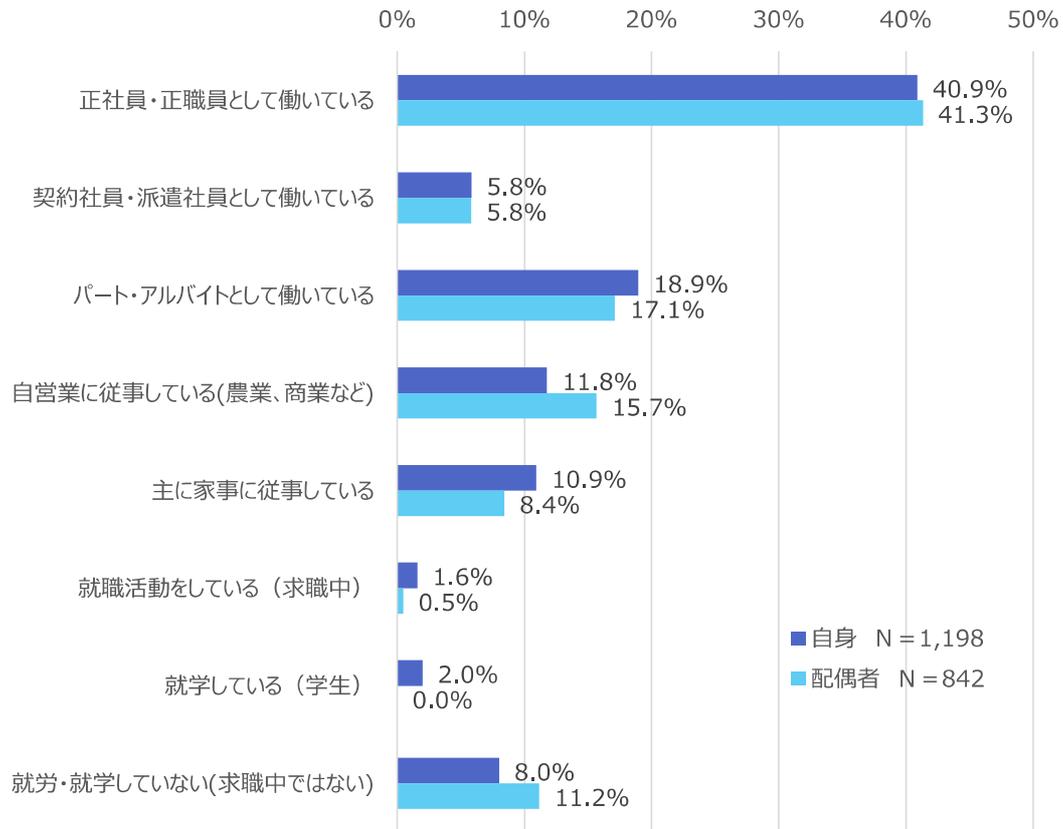
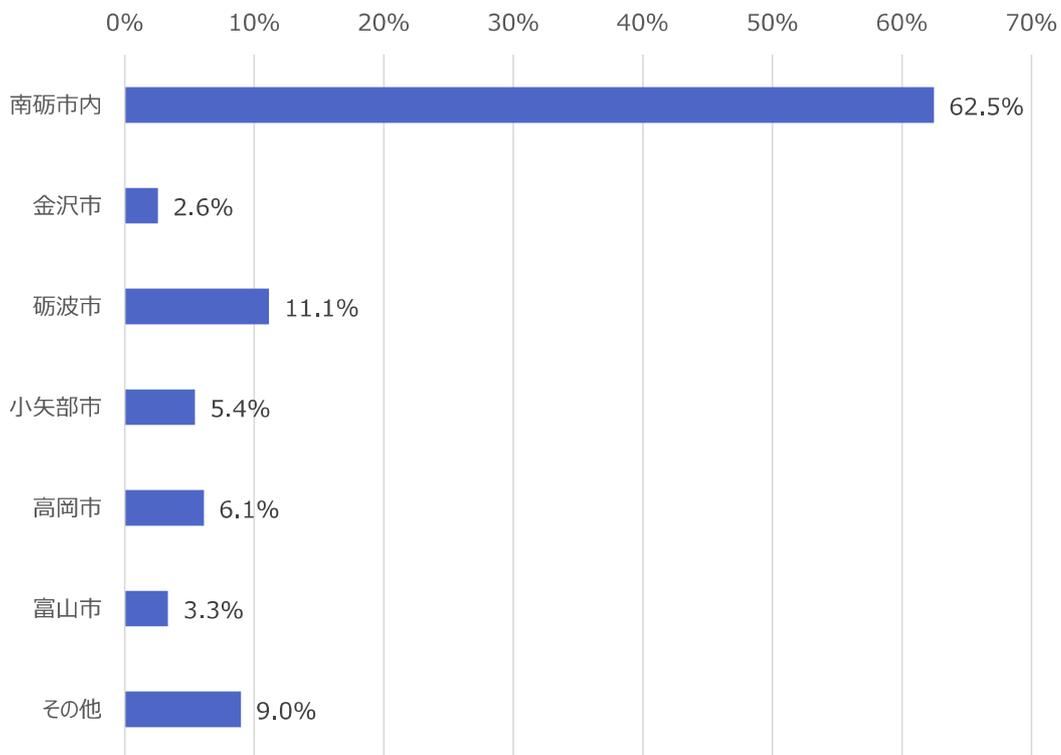


図5 就労・就学場所 N=1,015



(4) 住まい

図6 お住まいの地域 N = 1,219

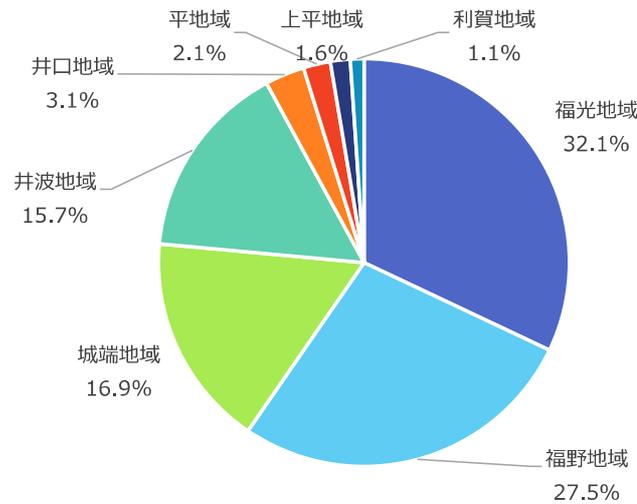
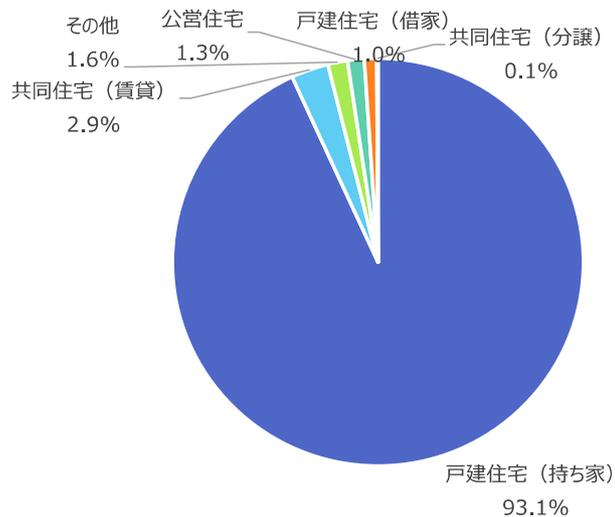


図7 お住まいの形態 N = 1,225



本報告書を読む際の注意点

- ・調査結果は百分率で表示した。その百分率は少数第2位を四捨五入した。したがって、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- ・図表中に「N」とあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率（%）が何人の回答に相当するかを示す比率算出用である。
- ・全体の「N」は、属性不明の回答を含んでいるため、各属性個々の「N」の合計と合致しない。
- ・図表中に「MA」（Multiple Answer）と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答（複数回答）を求めた場合を示し、その百分率は回答数を回答者数（N）で割った比率である。

問10 あなたが買い物をする主な行き先はどこですか。

「買い物の目的」ごとの「買い物をする主な行き先」をそれぞれ2つまで○をつけてください。

食料品、日用雑貨の買い物は南砺市内が最も多くなっている。

目的ごとの買い物場所をみると、食料品は「南砺市内」が88.0%と最も多く、次いで「砺波市」が58.4%、「金沢市」が4.3%となっている。

日用雑貨は、「南砺市内」が78.1%と最も多く、次いで「砺波市」が60.1%、「インターネット」が8.3%となっている。

衣料品は、「砺波市」が60.1%と最も多く、次いで「南砺市内」が34.4%、「高岡市」が23.8%となっている。

電化製品は、「砺波市」が72.7%と最も多く、次いで「南砺市内」が34.0%、「インターネット」が21.1%となっている。

趣味に関するものは、「砺波市」が41.4%と最も多く、次いで「インターネット」が36.8%、「南砺市内」が24.8%となっている。

図8 目的ごとの買い物場所（MA）

	南 砺 市 内	砺 波 市	小 矢 部 市	高 岡 市	射 水 市	富 山 市	金 沢 市	イン ター ネ ット	その 他 通 信 販 売	その 他
食料品 N=1,220	88.0	58.4	1.3	2.0	0.5	0.7	4.3	2.0	0.7	2.0
日用雑貨 N=1,199	78.1	60.1	1.3	5.3	0.5	1.2	4.7	8.3	1.2	1.7
衣料品 N = 1,199	34.4	60.1	5.2	23.8	0.3	4.0	17.7	15.8	2.9	3.2
電化製品 N = 1,197	34.0	72.7	0.8	11.2	0.3	1.1	5.9	21.1	2.0	1.5
趣味に関するもの N = 1,163	24.8	41.4	1.2	20.4	0.2	6.3	16.5	36.8	4.4	4.7

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

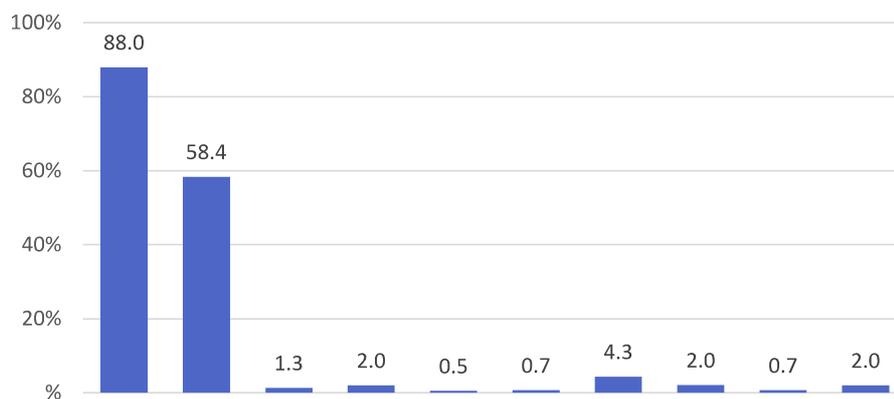
(1) 食料品

全体の約9割は食料品を南砺市内で購入している。

食料品についてみると、「南砺市内」が88.0%と最も多く、次いで「砺波市」が58.4%、「金沢市」が4.3%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向がある。また、地域別にみると、南砺市以外ではどの地域も「砺波市」が多くなっている。

図9 食料品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,220			88.0	58.4	1.3	2.0	0.5	0.7	4.3	2.0	0.7	2.0
年度別	R5年	N=1,283	89.0	56.5	0.8	1.7	0.8	0.8	3.0	2.1	0.5	1.4
	R4年	N=1,261	88.3	56.1	1.0	1.4	0.6	0.7	2.9	1.5	0.6	1.3
	R3年	N=1,353	89.9	53.1	0.5	1.6	0.7	0.7	2.4	1.6	0.6	1.4
	R2年	N=1,439	89.0	51.6	0.8	2.4	0.5	0.4	2.9	2.1	0.6	1.5
	R1年	N=1,305	87.8	48.3	0.5	2.1	0.8	0.8	3.2	0.9	0.6	0.8
年齢別	18~19歳	N=19	63.2	63.2	0.0	0.0	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	10.5
	20~29歳	N=65	84.6	67.7	3.1	6.2	0.0	1.5	6.2	1.5	0.0	0.0
	30~39歳	N=111	80.2	73.0	0.0	0.9	2.7	0.0	3.6	2.7	0.9	3.6
	40~49歳	N=197	90.9	67.0	1.0	2.0	1.0	0.0	6.1	3.6	0.5	1.0
	50~59歳	N=247	87.0	57.5	2.8	2.4	0.4	1.2	5.3	2.0	0.4	2.8
	60~64歳	N=155	90.3	57.4	0.6	0.6	0.0	1.3	5.2	2.6	0.0	1.3
	65~69歳	N=209	90.0	55.5	0.5	1.0	0.0	0.0	2.9	1.0	1.0	2.4
70歳以上	N=213	90.1	44.1	1.4	2.8	0.0	0.0	1.9	1.4	1.4	0.9	
地域別	城端地域	N=205	91.2	51.7	1.5	2.0	1.0	1.0	3.4	1.5	0.0	2.4
	平地地域	N=26	88.5	46.2	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	上平地地域	N=19	89.5	52.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	5.3
	利賀地域	N=13	92.3	76.9	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域	N=190	74.7	84.2	0.5	3.7	1.1	1.1	1.6	3.7	0.5	0.5
	井口地域	N=38	81.6	65.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	7.9
	福野地域	N=333	86.8	71.5	2.7	2.7	0.0	0.6	1.2	0.9	0.0	1.8
	福光地域	N=387	94.1	37.5	0.5	0.8	0.5	0.3	9.6	2.6	1.3	2.1

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

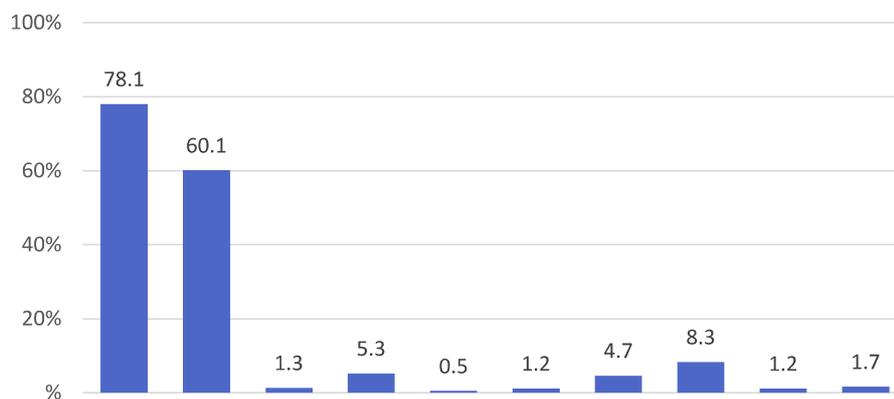
(2) 日用雑貨

全体の約8割は日用雑貨を南砺市で購入している。

日用雑貨についてみると、「南砺市内」が78.1%と最も多く、次いで「砺波市」が60.1%、「インターネット」が8.3%となっている。

年齢別、地域別では、食料品の傾向と同様に、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向があり、南砺市以外ではどの地域も「砺波市」が多くなっている。

図10 日用雑貨の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,199			78.1	60.1	1.3	5.3	0.5	1.2	4.7	8.3	1.2	1.7
年度別	R5年	N=1,270	79.3	60.4	0.9	4.7	0.2	1.3	4.5	7.8	1.1	0.8
	R4年	N=1,253	78.0	61.3	0.6	5.4	0.3	0.7	3.8	6.2	0.4	1.0
	R3年	N=1,329	79.1	60.5	0.2	3.8	0.4	1.1	4.0	5.3	1.1	1.4
	R2年	N=1,415	78.6	56.0	0.4	5.0	0.3	0.8	5.1	6.6	1.1	1.0
	R1年	N=1,287	73.0	56.5	0.5	4.7	0.4	1.4	5.7	6.2	0.9	0.8
年齢別	18~19歳	N=19	42.1	63.2	0.0	15.8	0.0	15.8	5.3	15.8	0.0	10.5
	20~29歳	N=65	67.7	73.8	0.0	12.3	1.5	1.5	6.2	13.8	0.0	0.0
	30~39歳	N=110	67.3	71.8	1.8	10.9	0.0	0.0	4.5	13.6	0.0	2.7
	40~49歳	N=197	75.1	65.0	0.5	7.1	1.0	1.0	7.1	10.2	0.5	0.5
	50~59歳	N=243	75.3	59.3	2.5	4.5	0.8	1.6	7.0	11.9	1.2	1.6
	60~64歳	N=153	85.0	60.1	1.3	2.6	0.0	2.0	2.6	7.2	1.3	0.7
	65~69歳	N=207	81.6	59.4	1.4	2.9	0.0	0.5	2.9	4.8	1.4	2.9
70歳以上	N=201	88.6	47.3	1.0	2.5	0.5	0.0	2.5	1.5	2.5	1.5	
地域別	城端地域	N=201	80.6	52.2	1.0	4.0	0.5	1.0	4.5	10.9	1.5	1.0
	平地地域	N=26	65.4	42.3	0.0	3.8	0.0	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0
	上平地地域	N=18	83.3	50.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	5.6
	利賀地域	N=13	92.3	76.9	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域	N=185	63.2	83.8	1.1	8.1	0.0	2.7	0.5	8.1	1.1	1.6
	井口地域	N=37	73.0	56.8	0.0	5.4	0.0	2.7	0.0	8.1	0.0	8.1
	福野地域	N=330	77.0	73.3	3.0	6.7	0.9	0.9	2.1	2.7	0.9	1.2
	福光地域	N=379	85.8	43.3	0.5	3.4	0.5	0.3	9.8	11.1	1.3	1.8

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

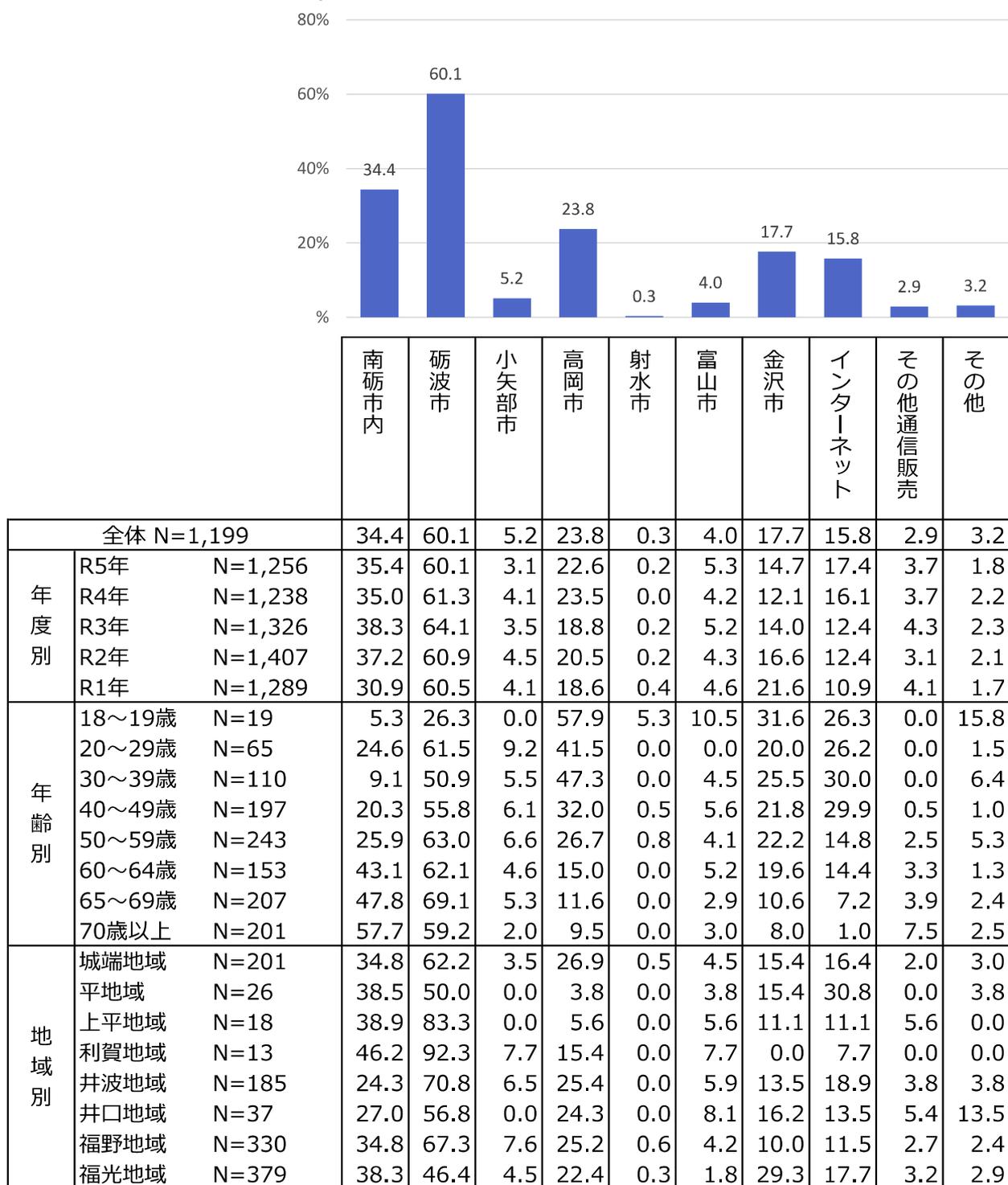
(3) 衣料品

全体の約6割は衣料品を砺波市で購入している。

衣料品についてみると、「砺波市」が60.1%と最も多く、次いで「南砺市内」が34.4%、「高岡市」が23.8%、「金沢市」が17.7%となっている。

年度別にみると、「インターネット」による購入が増加傾向にある。また、年齢が高いほど「南砺市内」が多く、年齢が低いほど「高岡市」「金沢市」が多い傾向にある。

図11 衣料品の買い物場所 (MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

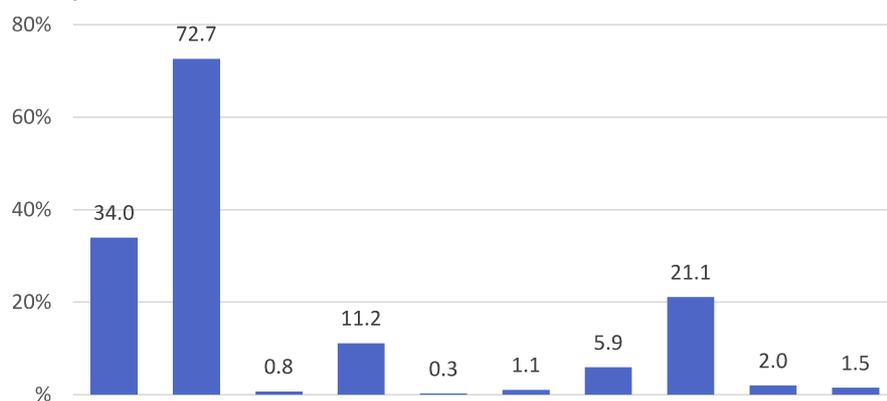
(4) 電化製品

全体の約7割は電化製品を砺波市で購入している。

電化製品についてみると、「砺波市」が72.7%と最も多く、次いで「南砺市内」が34.0%、「インターネット」が21.1%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると年齢が高いほど「南砺市内」が多くなる傾向がある。

図12 電化製品の買い物場所 (MA)



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
全体 N=1,197			34.0	72.7	0.8	11.2	0.3	1.1	5.9	21.1	2.0	1.5
年度別	R5年	N=1,253	35.2	74.3	0.2	8.9	0.2	2.0	5.6	19.4	1.4	0.6
	R4年	N=1,230	32.6	76.3	0.3	8.7	0.0	1.9	4.9	20.5	2.0	1.0
	R3年	N=1,326	35.6	75.8	0.2	7.3	0.1	1.4	5.1	14.9	2.7	1.3
	R2年	N=1,402	35.0	74.4	0.3	9.6	0.2	1.7	5.8	15.5	1.6	1.0
	R1年	N=1,276	30.2	74.7	0.5	7.6	0.2	1.8	7.3	14.1	1.5	0.9
年齢別	18~19歳	N=20	20.0	55.0	5.0	20.0	0.0	0.0	5.0	35.0	0.0	10.0
	20~29歳	N=65	24.6	75.4	0.0	23.1	1.5	0.0	6.2	26.2	0.0	0.0
	30~39歳	N=110	9.1	72.7	0.0	20.0	0.0	2.7	10.9	40.9	1.8	3.6
	40~49歳	N=195	24.1	71.8	0.5	17.9	0.0	1.5	7.2	33.3	1.5	0.5
	50~59歳	N=245	32.2	73.9	0.8	9.4	0.8	0.8	10.2	21.2	2.0	2.4
	60~64歳	N=153	37.9	75.2	0.0	9.8	0.0	1.3	6.5	19.0	0.7	1.3
	65~69歳	N=204	44.1	76.0	1.0	5.9	0.0	1.0	2.0	13.7	2.5	0.5
70歳以上	N=201	51.2	68.7	1.5	3.5	0.0	0.5	0.5	5.0	4.0	1.0	
地域別	城端地域	N=200	37.5	70.0	0.5	9.5	0.5	2.0	3.5	25.5	3.0	0.5
	平地地域	N=26	46.2	61.5	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	15.4	0.0	3.8
	上平地地域	N=18	33.3	72.2	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	27.8	0.0	0.0
	利賀地域	N=13	38.5	76.9	0.0	15.4	7.7	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0
	井波地域	N=182	17.6	88.5	0.0	13.7	0.0	0.5	2.2	26.9	1.6	2.2
	井口地域	N=36	30.6	66.7	0.0	13.9	2.8	2.8	0.0	19.4	0.0	13.9
	福野地域	N=330	23.0	84.8	1.8	15.2	0.0	0.9	2.7	14.2	2.4	0.9
	福光地域	N=383	49.3	57.7	0.3	7.8	0.0	0.3	12.8	23.2	1.3	1.0

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

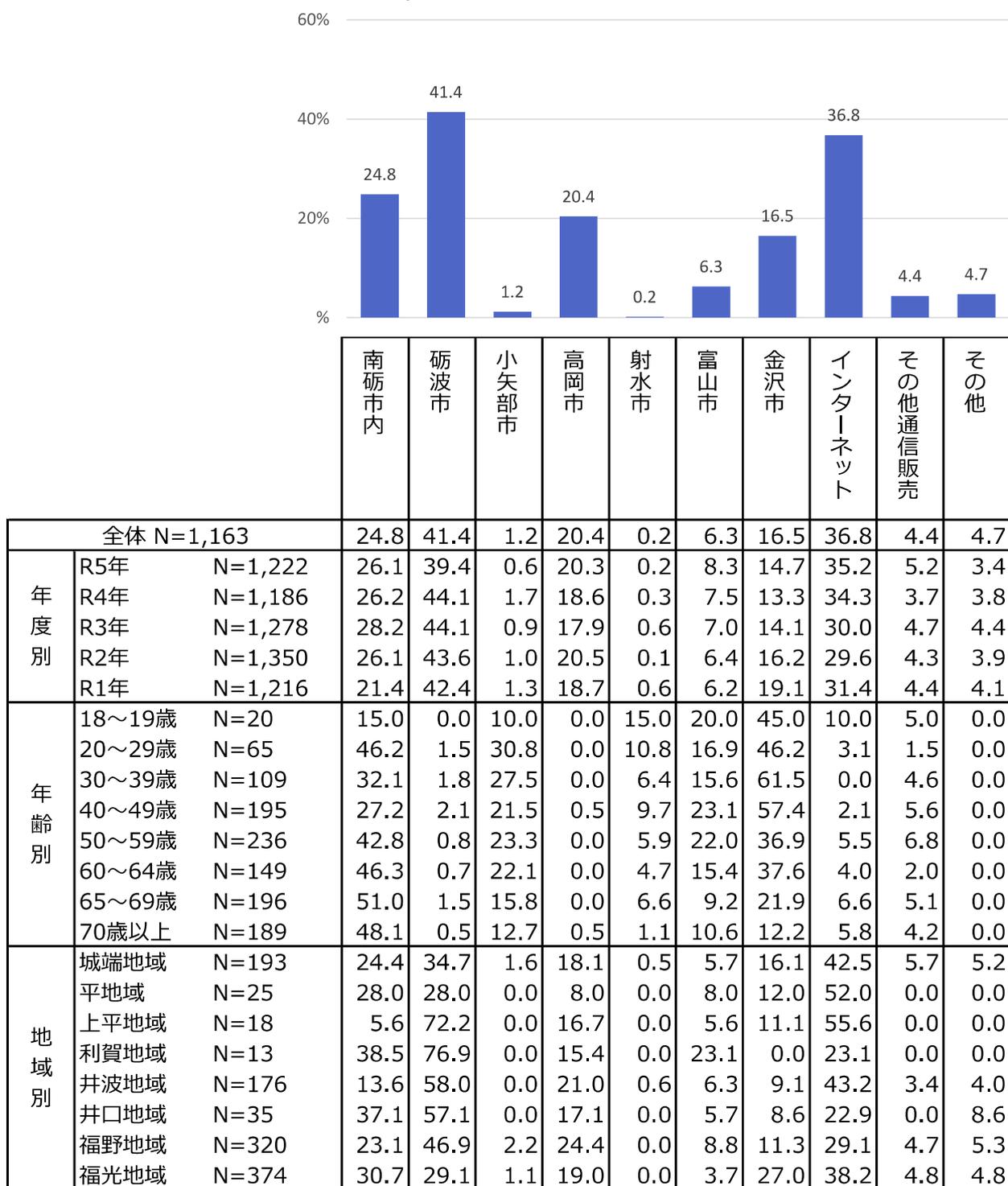
(5) 趣味に関するもの

趣味に関するものの買い物場所は分散傾向にある。

趣味に関するものについてみると、「砺波市」が41.4%と最も多く、次いで「インターネット」が36.8%、「南砺市内」が24.8%、「高岡市」が20.4%、「金沢市」が16.5%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると、年齢が低いほど「金沢市」が多い傾向にある。地域別では買い物場所は分散傾向にある。

図13 趣味に関するものの買い物場所 (MA)



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

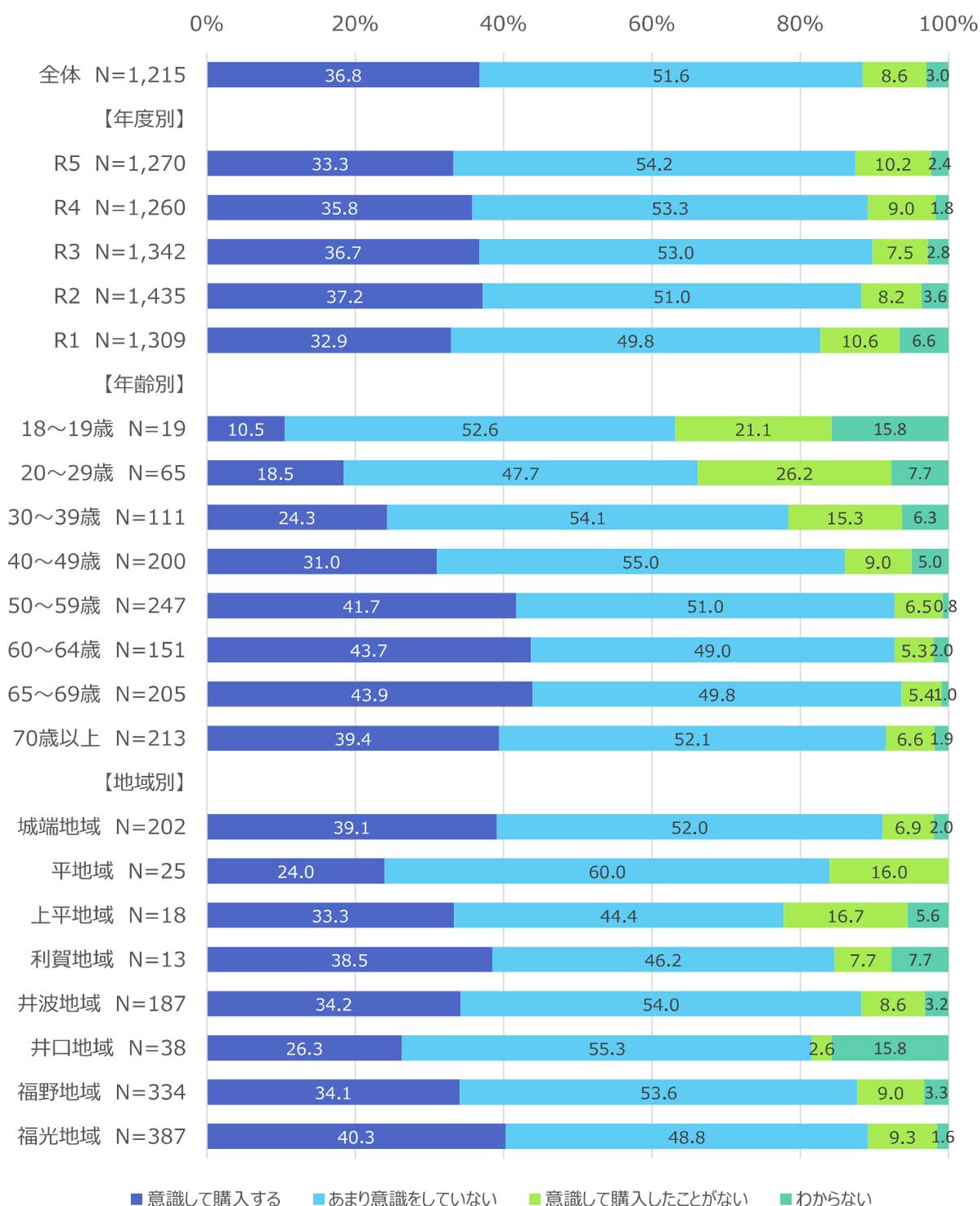
問11 あなたは、地場産の食材を意識して購入していますか。

全体の約4割は地場産の食材を意識して購入している。

「意識して購入する」が36.8%、「あまり意識をしていない」が51.6%、「意識して購入したことがない」が8.6%、「わからない」が3.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「意識して購入する」が多い傾向にあるが、年齢別では、「50～59歳」と「60～64歳」、「65～69歳」、地域別では、「福光地域」を除く全てで「意識して購入する」が4割以下となっている。

図14 地元食材の購入意識



問12 あなたは、1日のうち平均どの程度、家事や育児などを行っていますか。

男性の約2割は休日2時間以上家事等を行っている。

休日の男女別家事・育児・介護時間をみると、「2時間以上（「2時間以上3時間未満」+「3時間以上4時間未満」+「4時間以上」）」家事等を行う男性の割合は20.2%で女性は63.9%となった。

男性の家事の平均時間をみると、平日で「していない」+「1時間未満」が75.2%、休日で67.6%となり、女性の家事平均時間は、「1時間以上」の割合が平日で81.4%、休日で84.7%となった。

図15 [全体] 平日・休日の家事・育児・介護時間

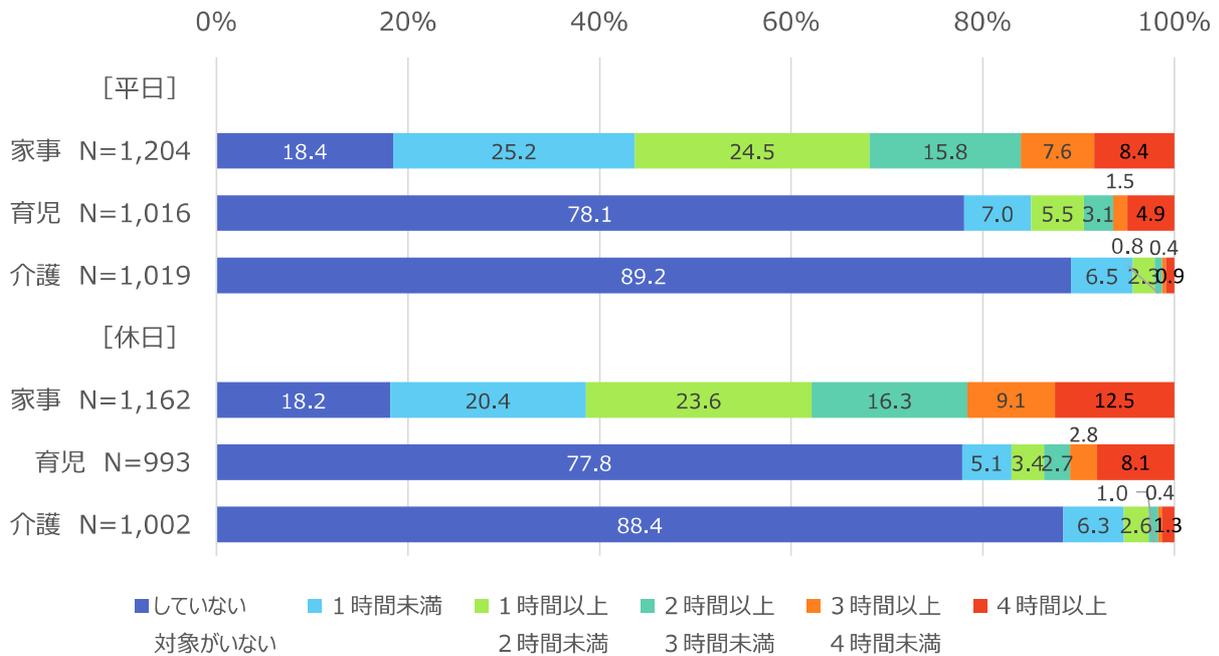
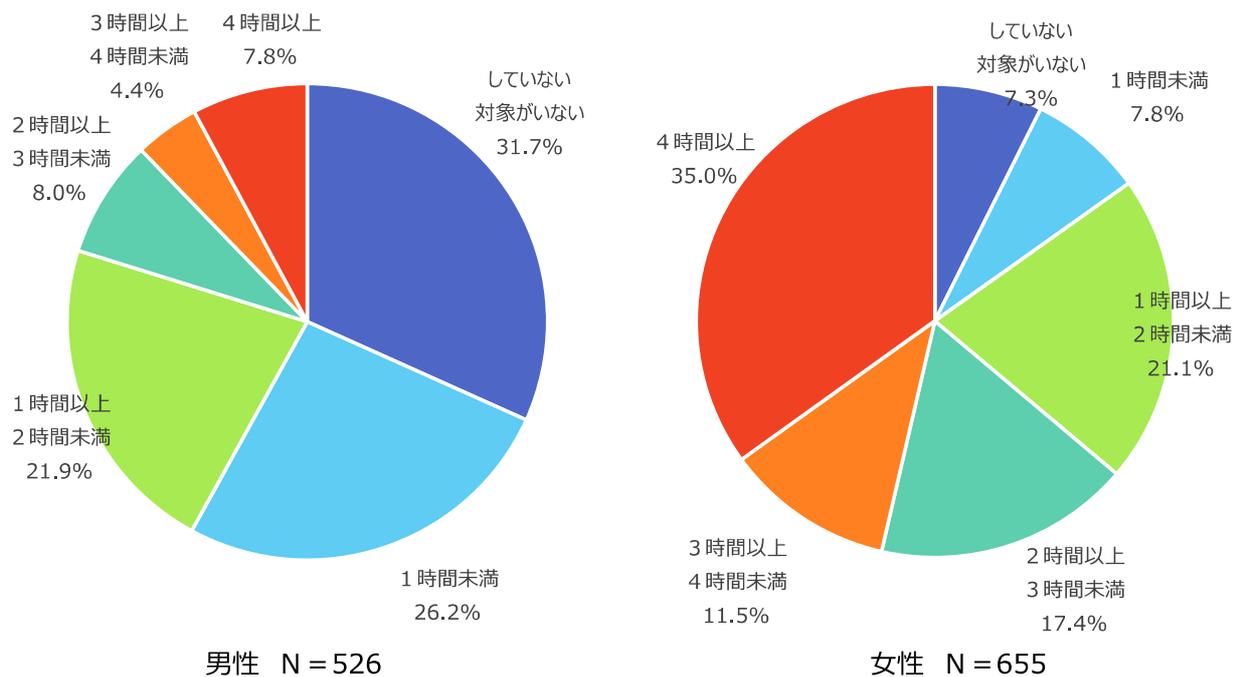


図16 [男女別] 休日の家事・育児・介護時間

(1時間未満 0.5 / 1時間以上、2時間未満 1.5 / 2時間以上、3時間未満 2.5 / 3時間以上、4時間未満 3.5 / 4時間以上 4.5 として計算)



問13 あなたは、次の情報通信サービスを利用していますか。利用している場合は、それらを快適に利用できていますか。

全体の約9割はスマホ、タブレットを利用している。

情報通信機器の利用状況でみると、「インターネット（スマホ、タブレット）」を利用しているが88.4%となっている。情報通信機器を快適に利用できているかについてみると、「快適に利用できている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う）」はパソコンでインターネットを利用している方が85.3%、スマートフォン、タブレットでインターネットを利用している方は85.6%、従来型携帯電話を利用している方は83.3%、FAXを利用している方は66.8%となった。

図19 情報通信機器の利用状況

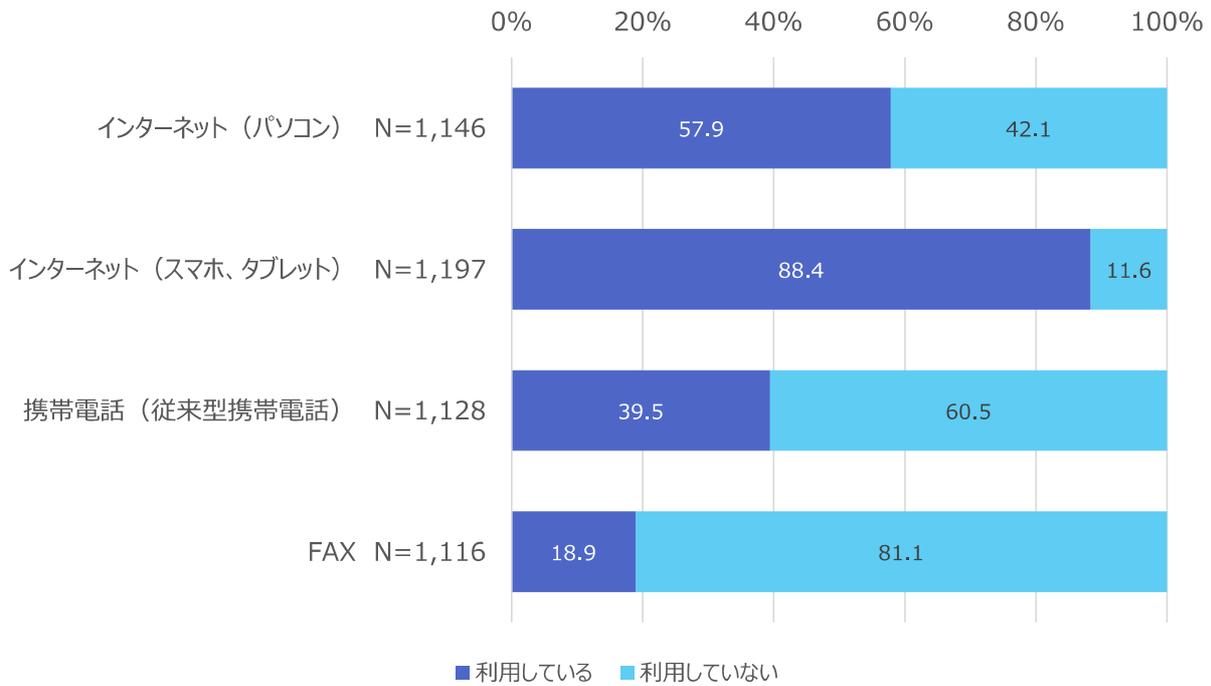
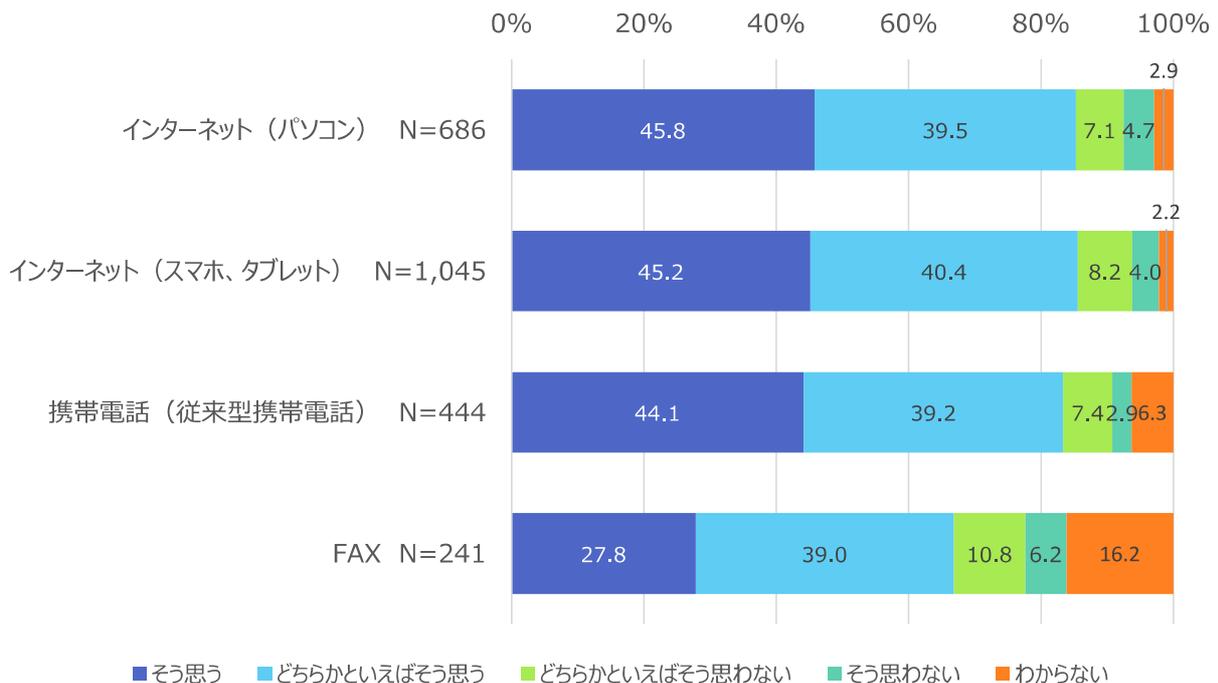


図20 情報通信機器の快適さ



問14 問13でインターネット（スマホ、タブレット）を利用している「1」と回答した方にお聞きます。使うアプリは何ですか。

スマートフォン、タブレット利用者の約3割はLINEを使用している。

スマートフォン、タブレットを利用している方が使用するアプリについてみると、「LINE」が28.7%と最も多く、次いで「Youtube」が20.3%、「キャッシュレス決済」が18.5%となっている。

使用者の年齢層をみると、「Twitter」と「Instagram」は20代までの使用者が多く、「キャッシュレス決済」「LINE」「Youtube」と回答した方の年齢は分散傾向にある。

図21 スマートフォン、タブレット利用者の使用アプリ（MA） N=3,382

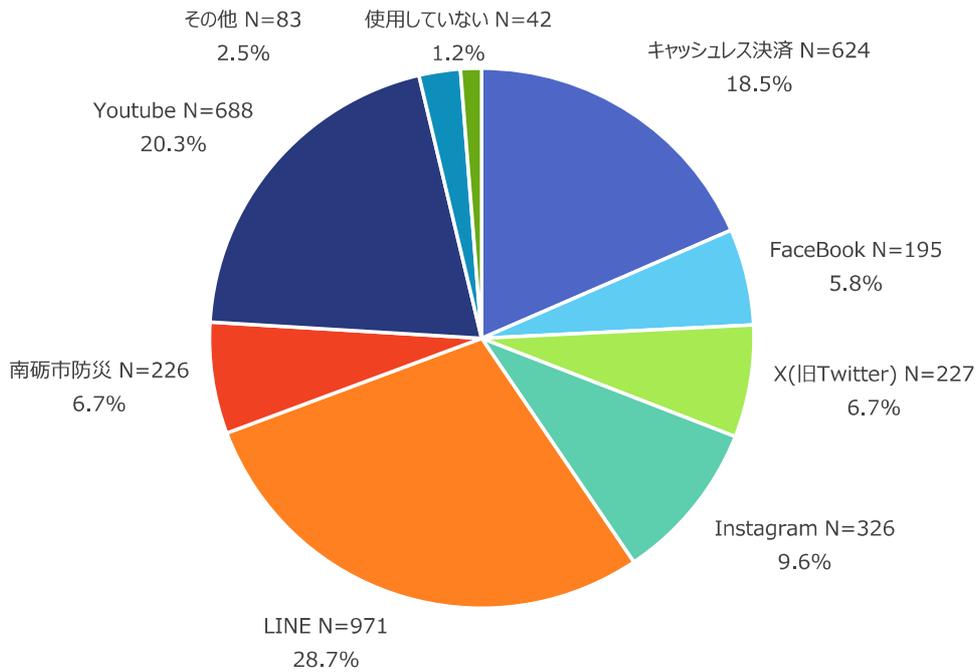
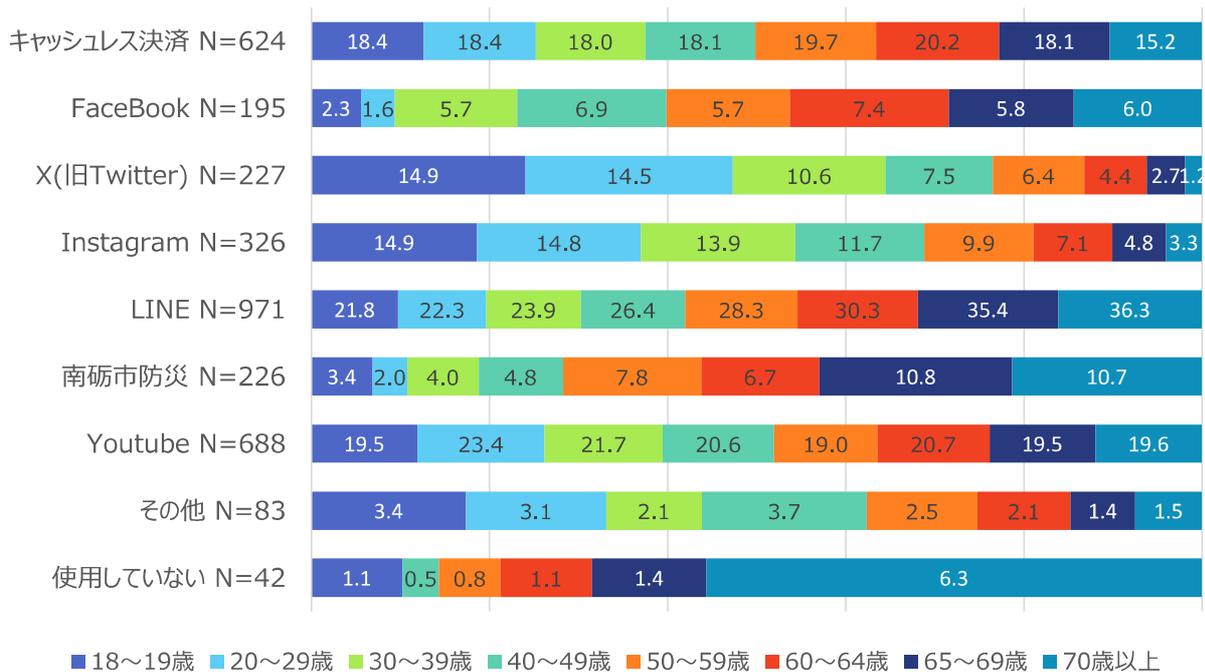


図22 アプリ毎の使用者年齢層



※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問15 テレワークの実施やオンライン授業に参加したことはありますか。

全体の約7割はテレワークやオンライン授業に参加したことがない。

テレワークやオンライン授業の参加状況を見ると、「参加したことはない」が67.3%となっている。

選択肢別にみると、「テレワークの実施」、「オンライン授業に参加」、「オンライン講演会等に参加」と回答した人の年齢は59歳までの方が7割以上を占めているが、「参加したことはない」と回答した方の年齢は、ほかの選択肢と比べて分散傾向にある。

図23 テレワーク等の参加状況 N=1,192

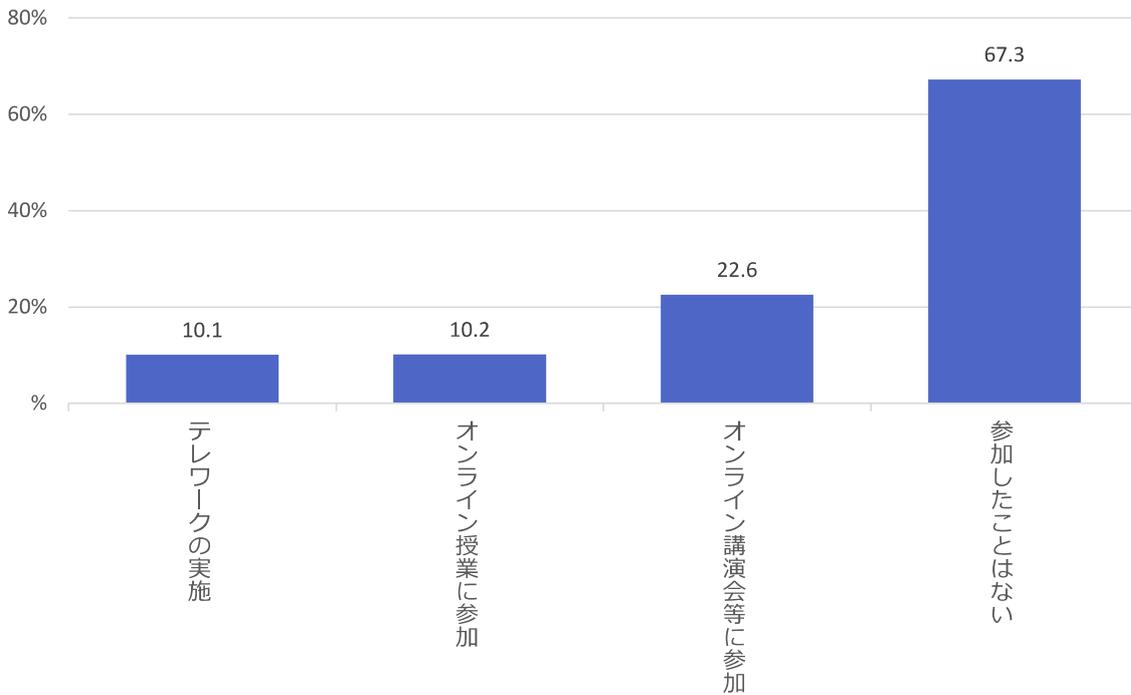
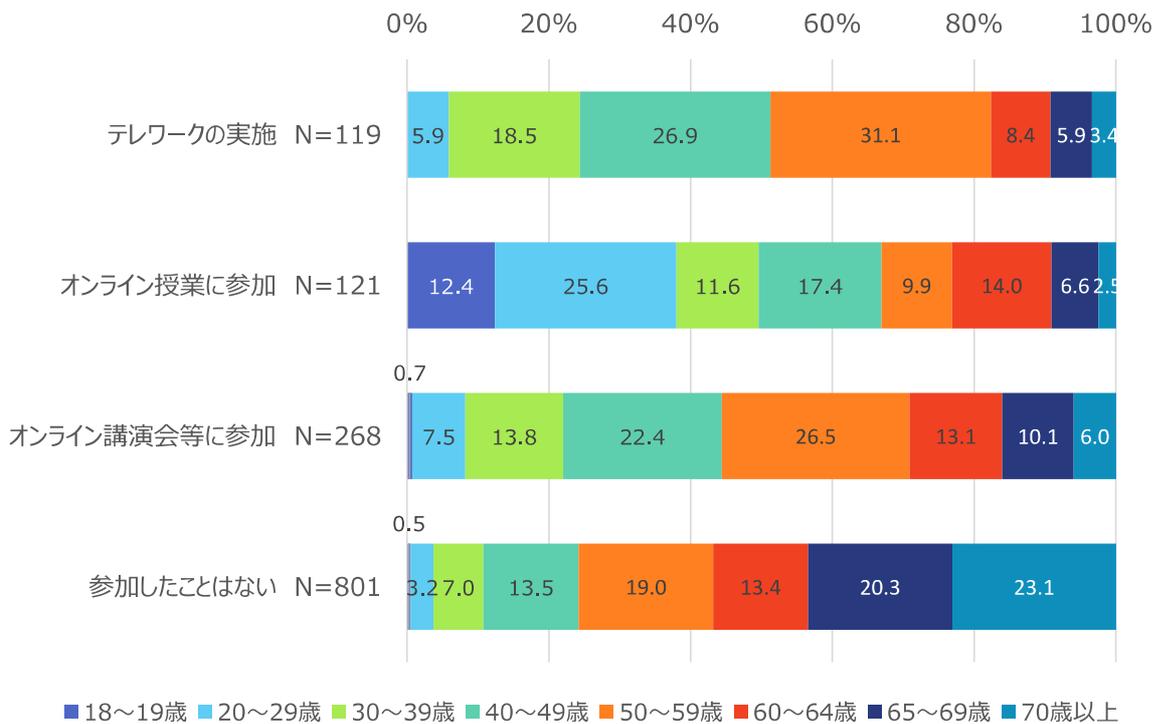


図24 テレワーク等の参加年齢層



問16 今後、デジタル化されることを期待する行政手続きや行政サービスは何ですか。

「各種届出・証明書の取得」のデジタル化が期待されている。

デジタル化を期待する行政手続きや行政サービスについては、「各種届出・証明書の取得」が54.3%と最も多く、次いで「医療・健康」40.0%、「防災、災害」が33.5%となっている。

項目別にみると、「学校教育」と「子育て、保育」と回答した方の内、30～49歳がどちらも約半数を占めている。

図25 デジタル化を期待する行政サービス N=1,175

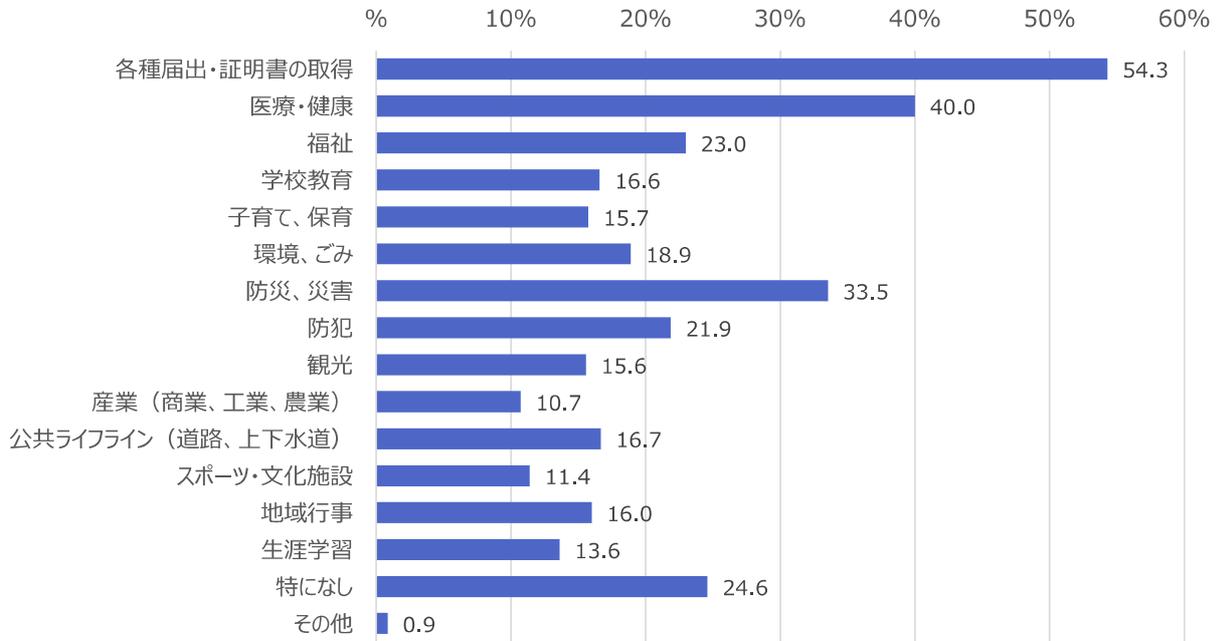
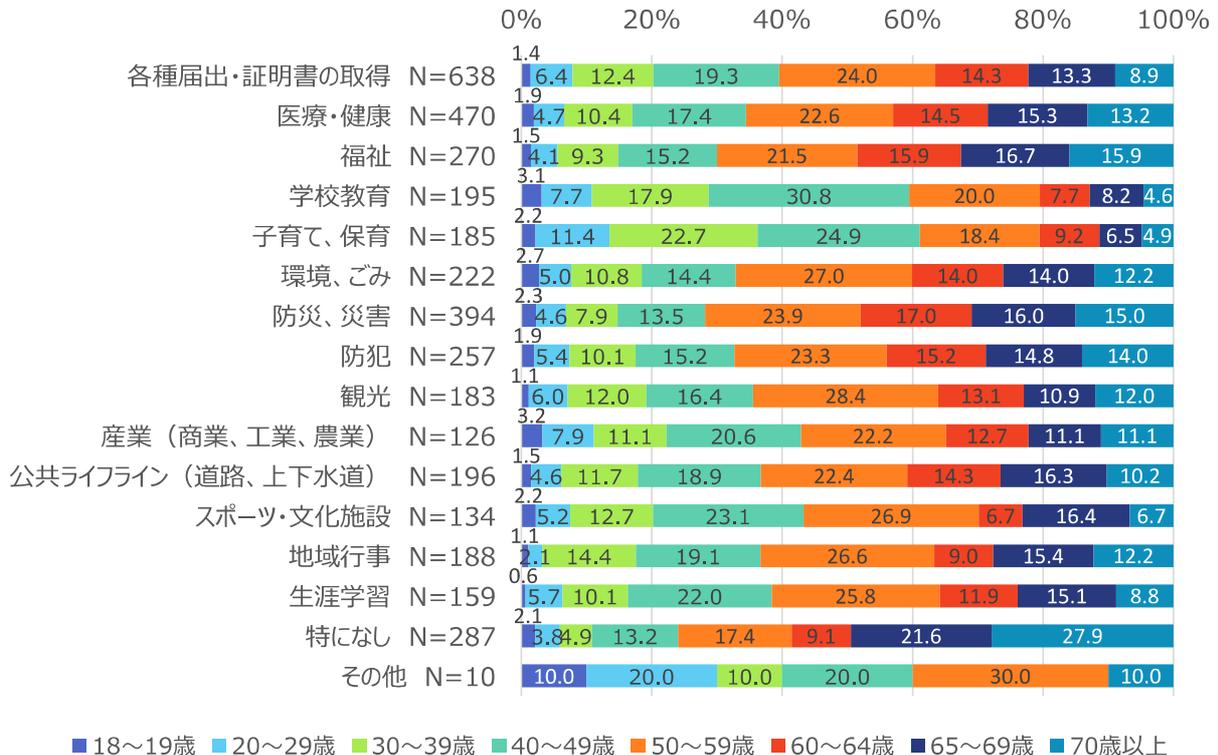


図26 デジタル化を期待する行政サービス毎の年齢層

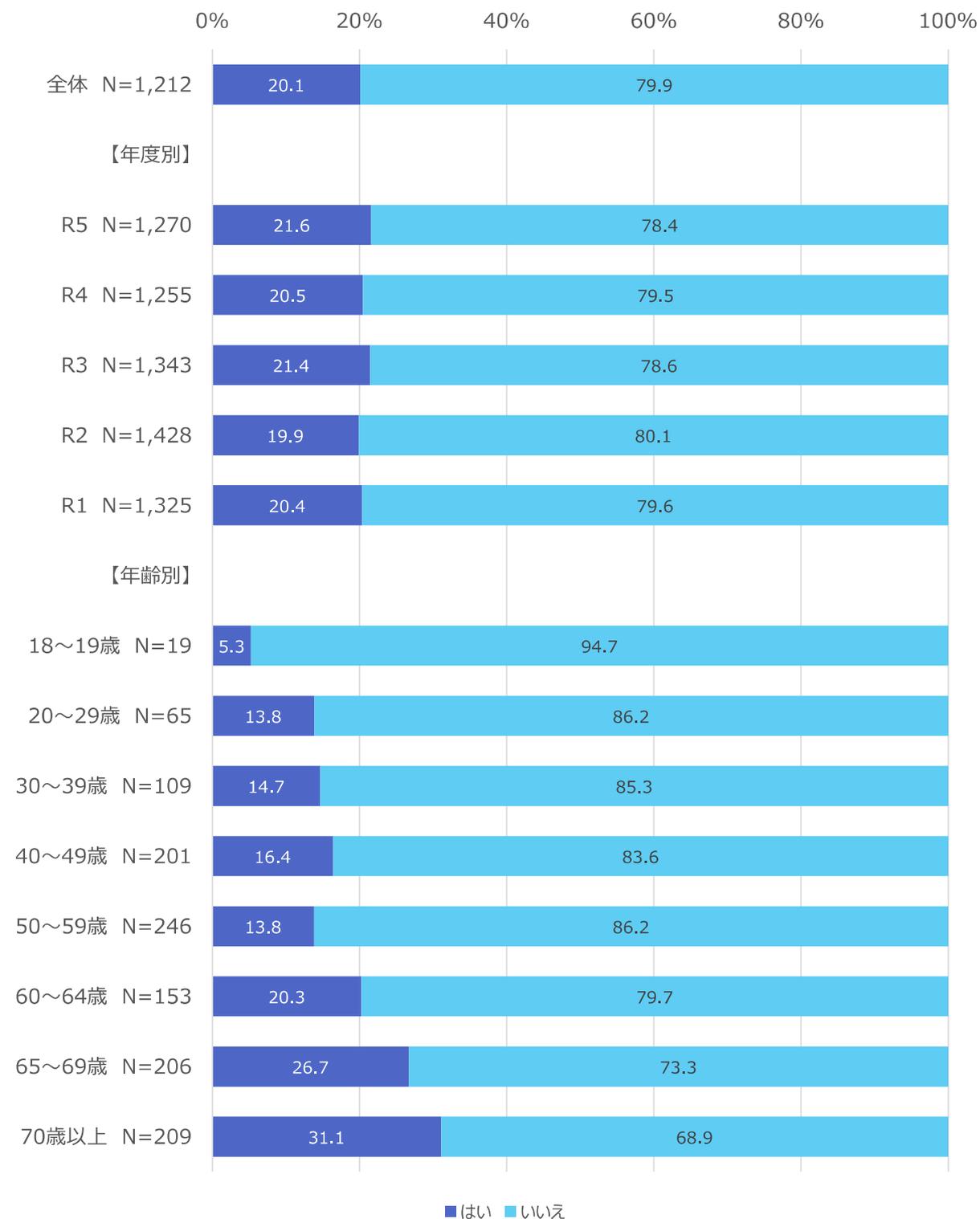


問17 あなたは、日頃から学習活動（市や交流センター、民間が開催する講座、教室、サークル、講演会及び個人が自宅等で行う学習）に取り組んでいますか。

全体の約2割は日頃から学習活動に取り組んでいる。

日頃の学習活動の取組状況を見ると、「はい（取り組んでいる）」が20.1%、「いいえ（取り組んでいない）」が79.9%となっている。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「はい（取り組んでいる）」の割合が増加している。

図27 学習活動の取組状況



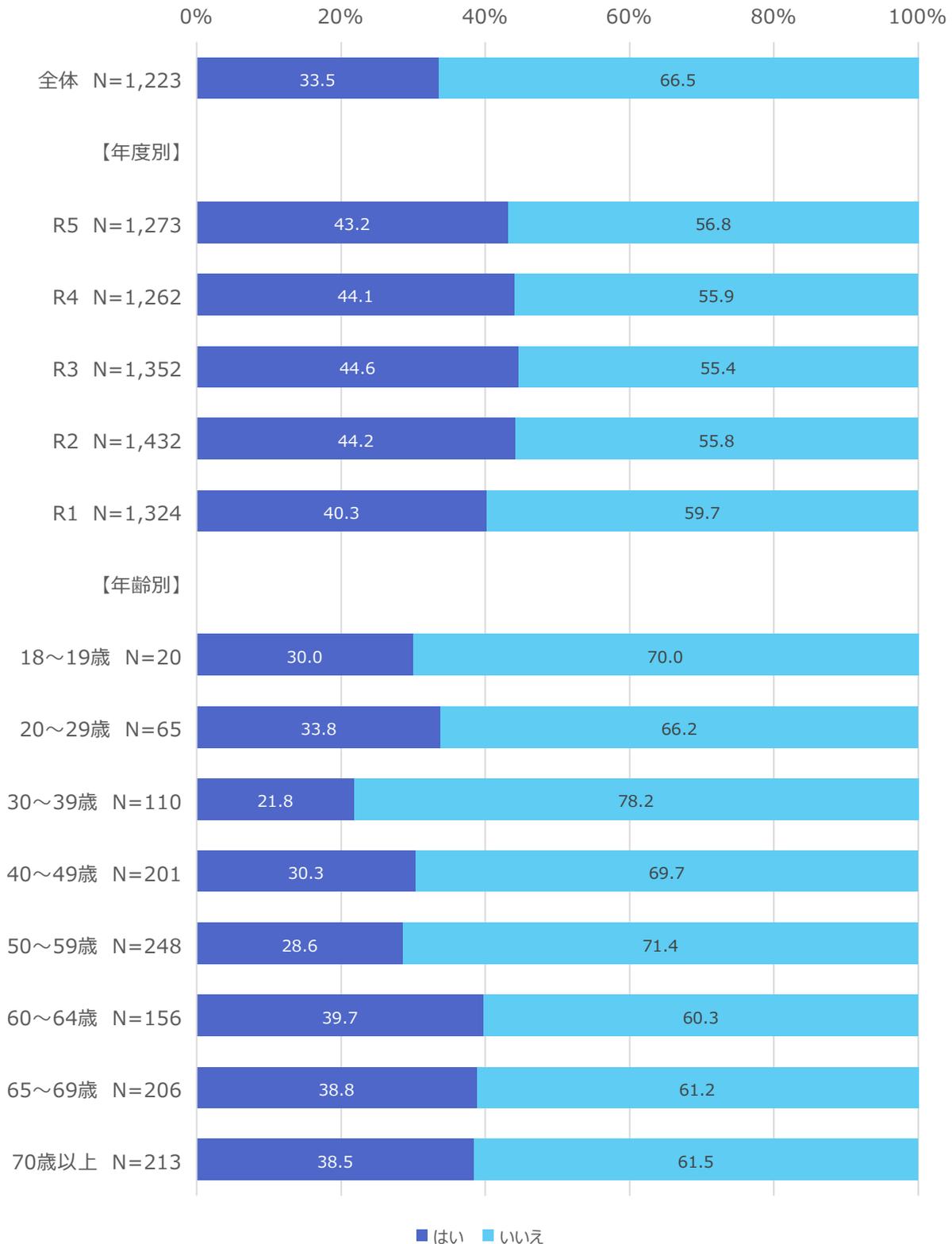
問18 あなたは、1年以上継続してスポーツ・運動を行っていますか。※目安 1回30分以上 散歩、体操を含む

全体の約3割は日頃からスポーツ・運動を行っている。

日頃のスポーツ・運動の状況を見ると、「はい」が33.5%、「いいえ」が66.5%となっている。

年齢別にみると、60～64歳で「はい」が39.7%と最も多く、30～39歳で21.8%と最も少なくなっている。

図28 スポーツ・運動の実施状況

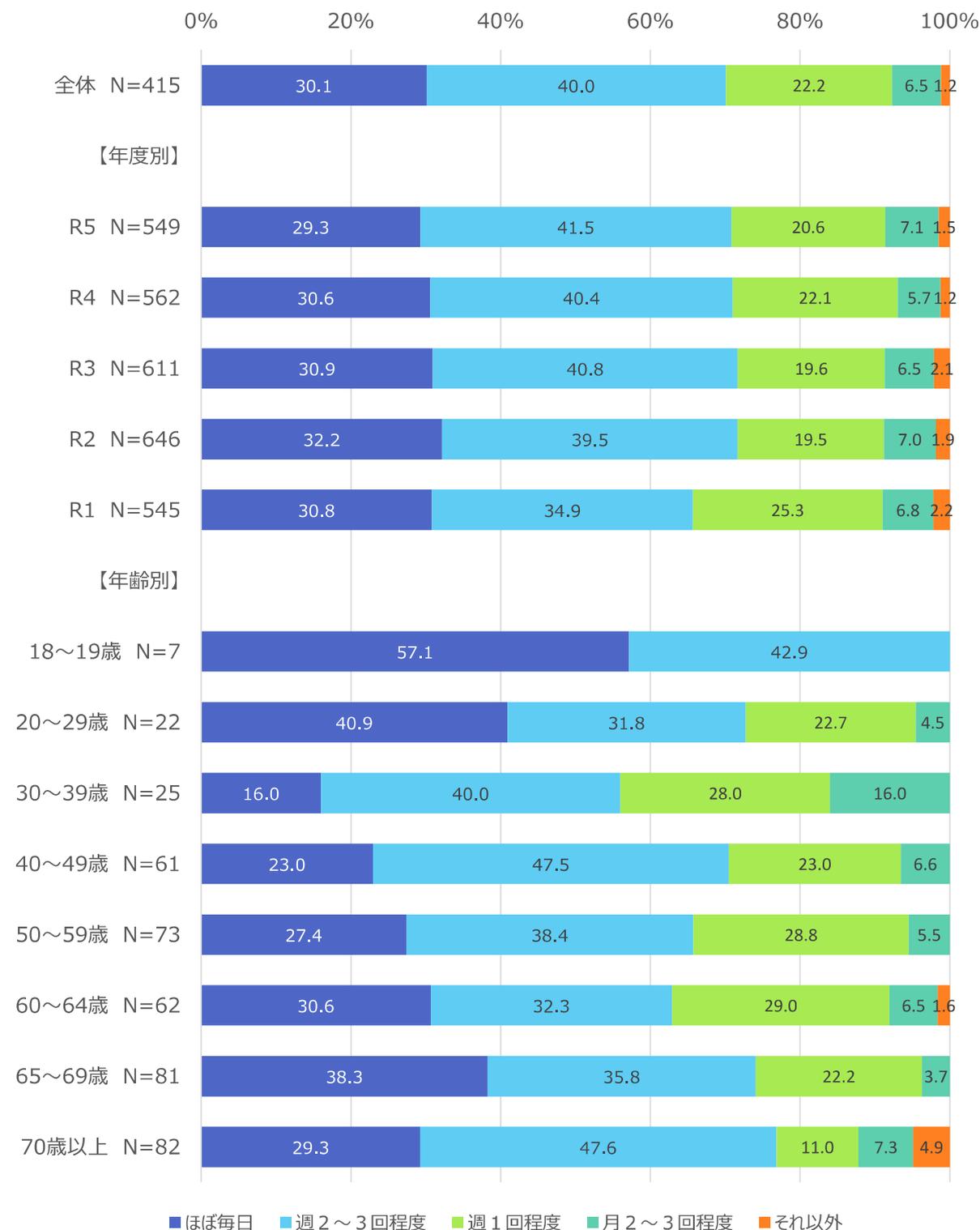


問19 問18で「1.はい」と回答した方にお聞きます。どれぐらいの頻度でスポーツ・運動（散歩・体操を含む）を行っていますか。

スポーツ・運動の頻度は週2～3回が最も多い。

スポーツ・運動を行っている方について、スポーツ・運動の頻度をみると、「週2～3回程度」が40.0%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が30.1%、「週1回程度」が22.2%、「月2～3回程度」が6.5%となっている。

図29 スポーツ・運動の頻度

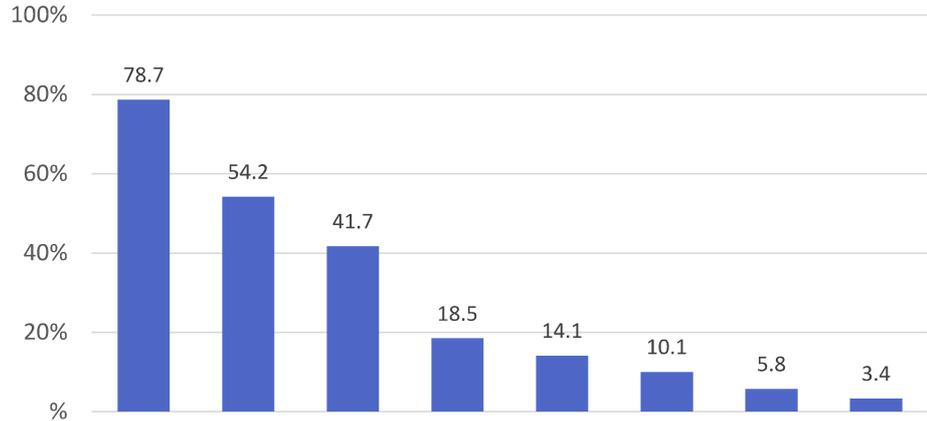


問20 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きます。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をする主な理由は何ですか。

スポーツ・運動をする理由は健康維持・体力増進のためが多い

スポーツ・運動をする理由をみると、「健康維持・体力増進のため」が78.7%と最も多く、次いで「楽しみやストレス解消・気分転換のため」が54.2%、「運動不足を感じるから」が41.7%となっている。

図30 スポーツ・運動をする理由（MA）



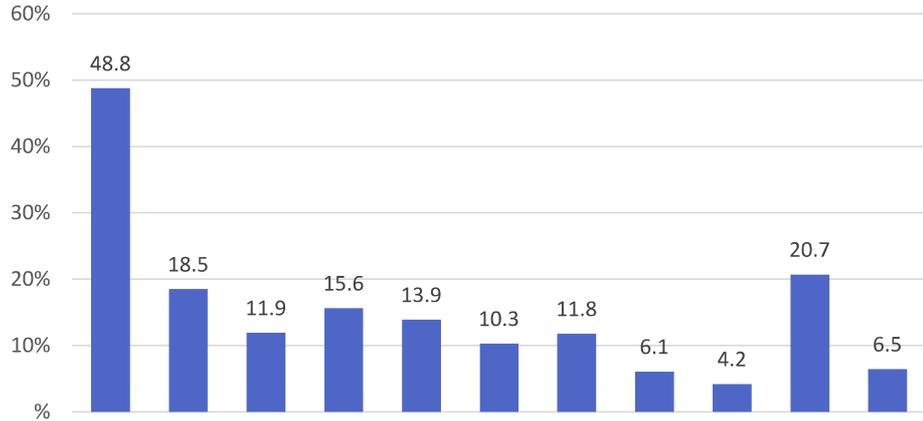
			健康維持・体力増進のため	楽しみやストレス解消・気分転換のため	運動不足を感じるから	美容や肥満解消のため	家族の触れ合いや友人・仲間との親睦のため	心身の鍛錬や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他
全体 N=417			78.7	54.2	41.7	18.5	14.1	10.1	5.8	3.4
年度別	R5年	N=550	78.0	49.8	47.3	23.6	14.7	8.4	4.4	4.4
	R4年	N=560	80.5	54.5	46.6	22.0	10.7	7.0	4.3	4.3
	R3年	N=603	76.9	51.5	47.3	22.1	15.0	9.6	5.1	3.7
	R2年	N=636	74.2	51.1	51.1	19.7	13.1	7.7	4.9	3.6
	R1年	N=529	72.2	54.3	46.1	18.5	17.6	11.5	6.2	4.2
年齢別	18～19歳	N=8	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5
	20～29歳	N=22	77.3	54.5	36.4	27.3	13.6	13.6	0.0	0.0
	30～39歳	N=25	76.0	48.0	32.0	32.0	20.0	12.0	4.0	4.0
	40～49歳	N=61	68.9	57.4	41.0	18.0	16.4	8.2	6.6	8.2
	50～59歳	N=71	77.5	50.7	39.4	28.2	9.9	7.0	9.9	2.8
	60～64歳	N=62	75.8	62.9	38.7	19.4	14.5	11.3	9.7	3.2
	65～69歳	N=82	87.8	47.6	50.0	14.6	13.4	11.0	0.0	1.2
70歳以上	N=84	86.9	59.5	46.4	8.3	16.7	9.5	4.8	2.4	
地域別	城端地域	N=67	76.1	67.2	38.8	22.4	10.4	14.9	4.5	3.0
	平地地域	N=11	63.6	45.5	36.4	0.0	27.3	0.0	9.1	9.1
	上平地域	N=5	80.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	利賀地域	N=6	50.0	50.0	66.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	井波地域	N=68	86.8	39.7	48.5	20.6	13.2	2.9	2.9	2.9
	井口地域	N=14	85.7	64.3	50.0	21.4	28.6	0.0	7.1	0.0
	福野地域	N=111	81.1	52.3	42.3	22.5	10.8	13.5	9.0	2.7
	福光地域	N=129	75.2	57.4	38.8	14.0	17.1	9.3	3.9	4.7

問21 問18で「2. いいえ」と回答した方にお聞きます。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をしない理由は何ですか。

仕事が忙しくて時間が取れないが最も多くなっている。

スポーツ・運動をしない理由をみると、「仕事が忙しく時間がとれないから」が48.8%と最も多く、次いで「特に理由はない」が20.7%、「運動が好きではない、または、苦手だから」が18.5%となっている。

図31 スポーツ・運動をしない理由（MA）



			仕事が忙しく時間がとれないから	運動が好きではない、または、苦手だから	他にやりたいことがあるから	年をとって体力に自信がないから	お金がかかるから	仲間がいないから	身近に場所や施設がないから	体が弱いから	指導者がいないから	特に理由はない	その他
全体 N=806			48.8	18.5	11.9	15.6	13.9	10.3	11.8	6.1	4.2	20.7	6.5
年度別	R5年	N=706	48.7	15.4	12.2	13.6	11.2	7.2	9.5	4.4	2.3	25.1	7.8
	R4年	N=697	49.6	19.5	14.5	14.2	12.8	9.8	9.2	7.2	2.4	25.4	5.2
	R3年	N=740	46.6	20.4	14.9	17.2	10.5	9.1	8.6	6.5	3.1	24.5	7.0
	R2年	N=783	45.6	20.7	17.5	11.5	10.6	10.7	7.9	5.5	2.9	26.8	5.9
	R1年	N=784	55.5	19.6	11.5	15.4	12.9	9.9	7.9	5.4	1.5	24.1	6.1
年齢別	18～19歳	N=13	23.1	38.5	23.1	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0
	20～29歳	N=43	58.1	20.9	18.6	2.3	14.0	16.3	20.9	2.3	0.0	18.6	2.3
	30～39歳	N=86	68.6	19.8	12.8	8.1	23.3	14.0	18.6	1.2	8.1	14.0	5.8
	40～49歳	N=140	70.7	22.9	12.1	5.0	18.6	8.6	11.4	1.4	3.6	15.0	4.3
	50～59歳	N=176	51.7	18.2	9.7	11.4	15.9	8.5	12.5	5.1	5.1	19.3	5.7
	60～64歳	N=95	44.2	11.6	9.5	26.3	12.6	8.4	12.6	10.5	4.2	17.9	8.4
	65～69歳	N=121	32.2	19.0	7.4	19.0	6.6	9.1	8.3	9.1	4.1	32.2	9.9
70歳以上	N=130	26.2	14.6	16.9	33.1	7.7	13.1	6.9	10.8	3.1	25.4	7.7	
地域別	城端地域	N=133	48.1	20.3	11.3	19.5	11.3	10.5	8.3	6.0	6.8	21.1	5.3
	平地地域	N=14	42.9	21.4	21.4	7.1	21.4	7.1	35.7	7.1	7.1	14.3	7.1
	上平地地域	N=13	46.2	7.7	23.1	15.4	15.4	7.7	30.8	0.0	0.0	23.1	0.0
	利賀地域	N=9	55.6	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	井波地域	N=123	45.5	19.5	19.5	15.4	17.1	11.4	12.2	13.0	6.5	24.4	5.7
	井口地域	N=25	60.0	16.0	4.0	8.0	8.0	4.0	12.0	4.0	0.0	28.0	0.0
	福野地域	N=224	48.7	17.4	9.4	14.7	15.6	9.4	10.3	5.4	2.2	19.6	7.1
	福光地域	N=260	50.4	18.1	10.0	15.8	13.1	11.5	12.3	4.2	3.1	20.0	7.7

問22 あなたは、1日にどのくらい歩いていますか。

全体の約2割はほとんど歩いていない

1日に歩く程度をみると、「2,000歩未満」が24.8%と最も多く「9,000歩程度」が2.3%と最も少なくなっている。年齢別にみると、20～39歳で「2,000歩未満」の割合が他の年齢と比べて高くなっている。

図32 1日にどのくらい歩くか

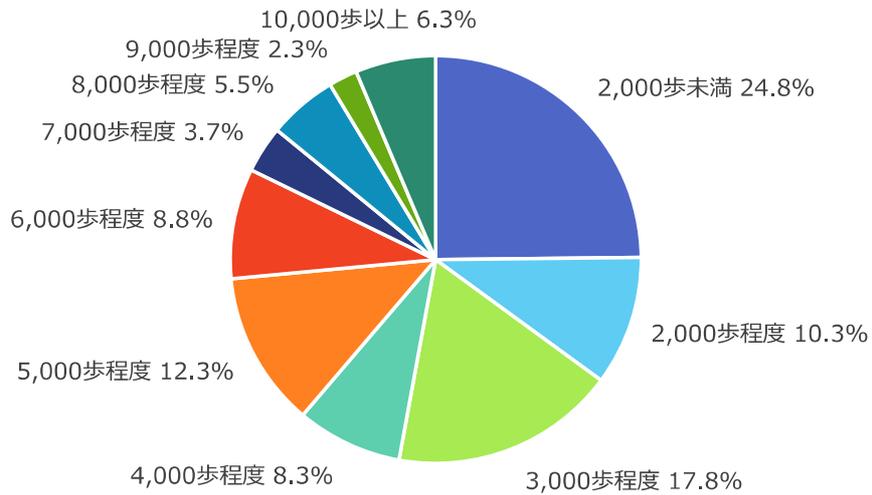
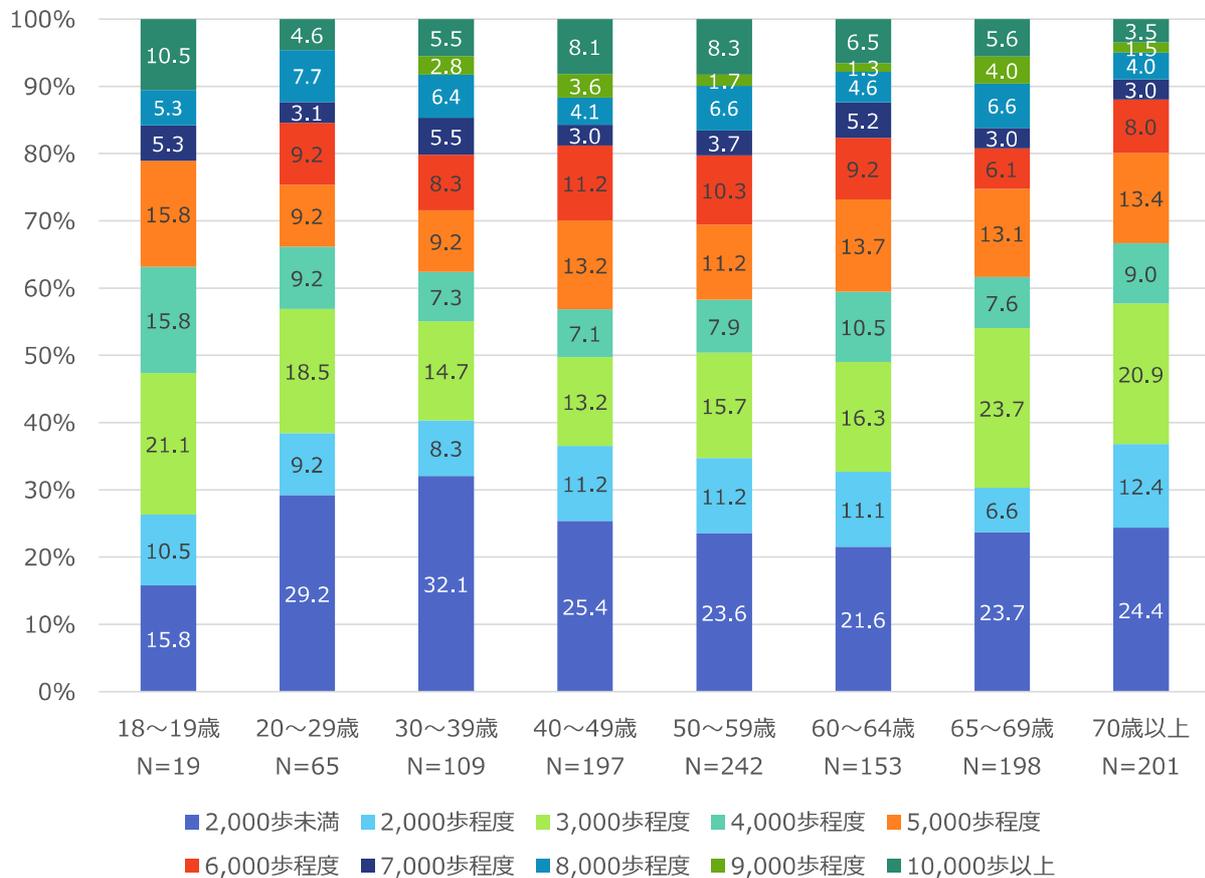


図33 年齢別 1日にどのくらい歩くか



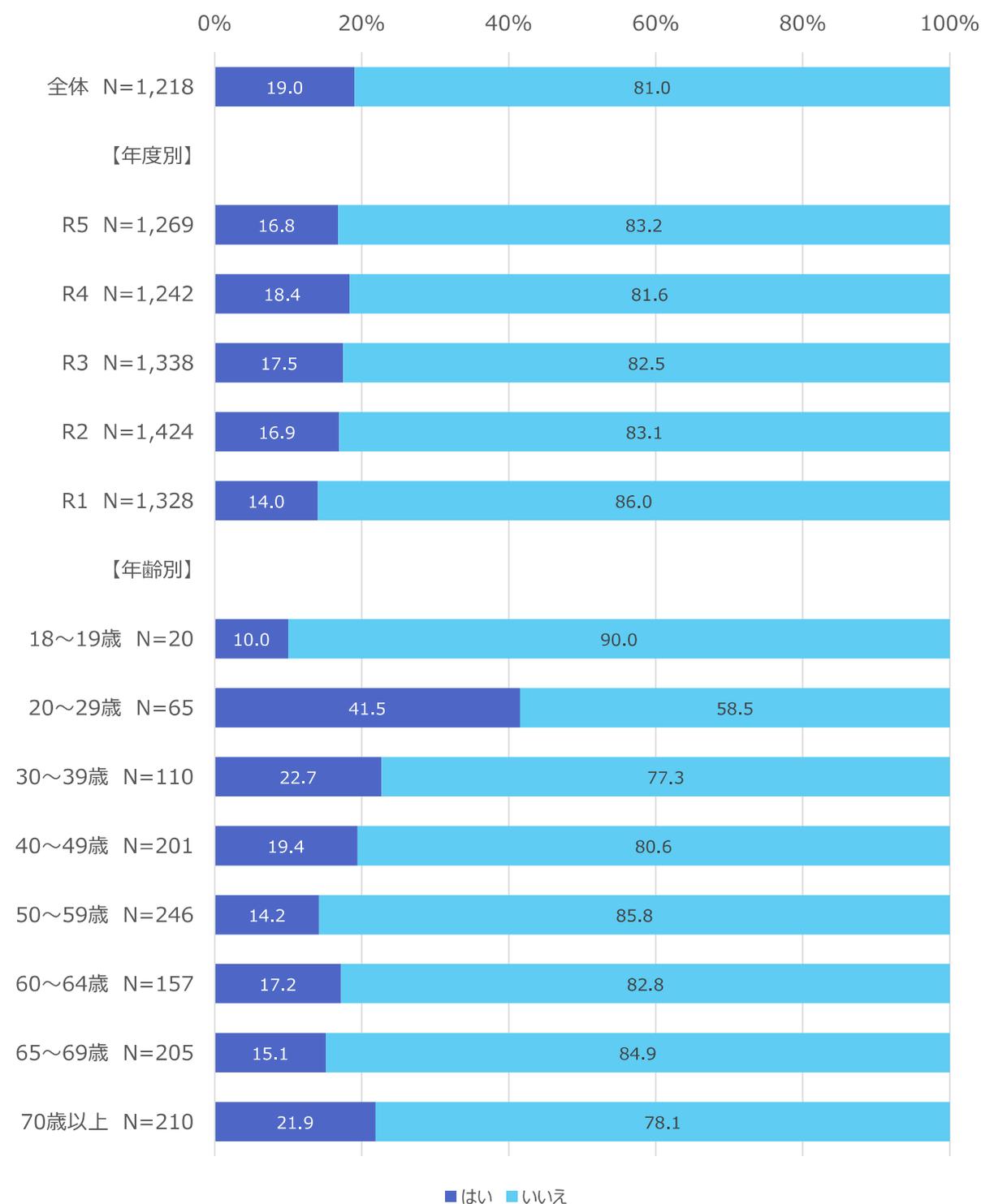
問23 あなたは、積極的に文化活動（音楽、踊り、文芸、写真など）を行っていますか。

積極的に文化活動を行っているのは全体の2割に満たない。

文化活動の取組状況を見ると、「はい（行っている）」が19.0%、「いいえ（行っていない）」が81.0%となっている。

年齢別にみると、母体数の少ない19歳以下を除くと、20～29歳は「はい（行っている）」が41.5%と最も多い。

図34 文化活動の取組状況



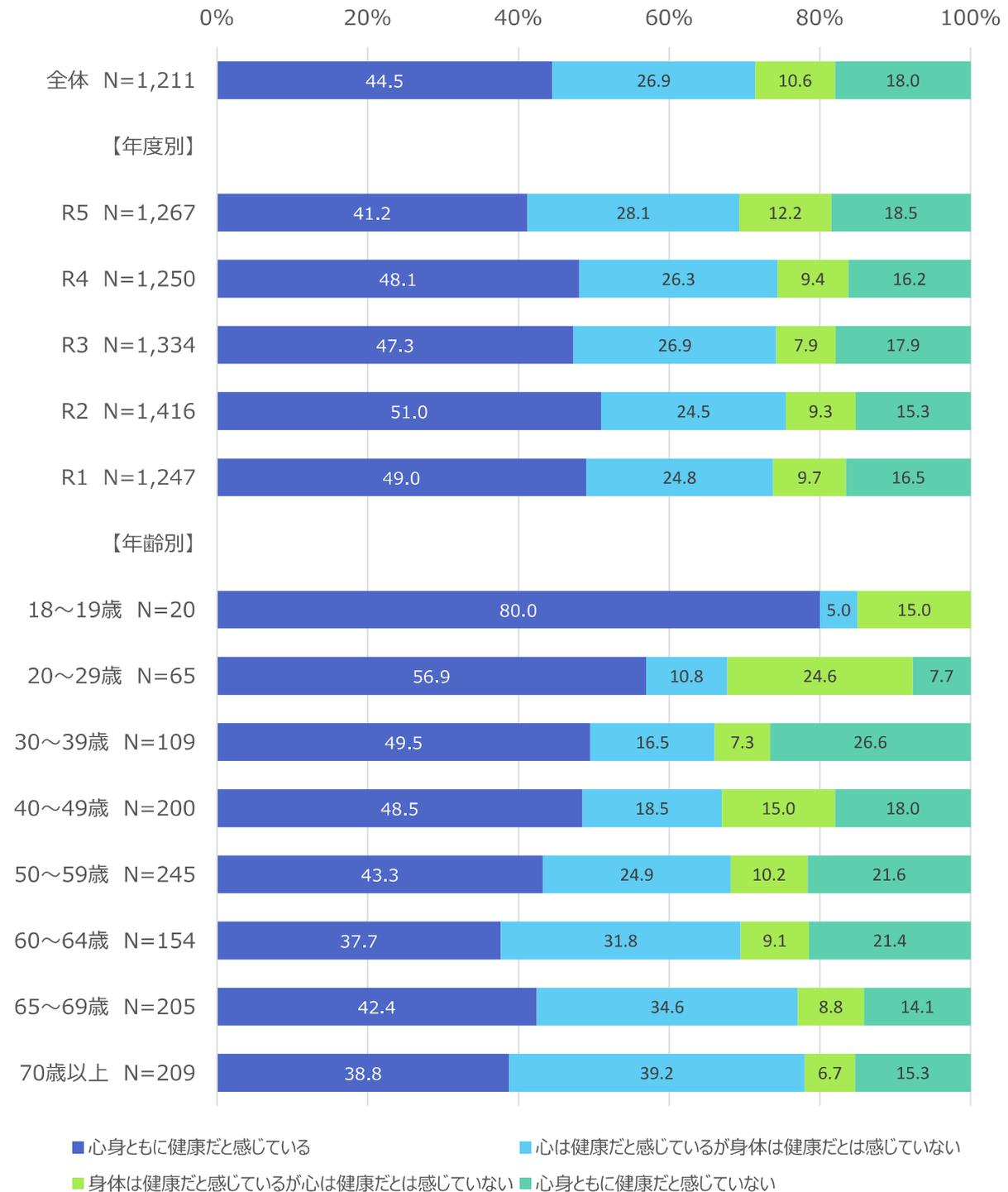
問24 あなたは、心身ともに健康ですか。

全体の約4割は心身ともに健康だと感じている。

心身ともに健康かについてみると、「心身ともに健康だと感じている」が44.5%、「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が26.9%、「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」が10.6%、「心身ともに健康だと感じていない」が18.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が多くなる傾向にある。

図35 心身ともに健康か

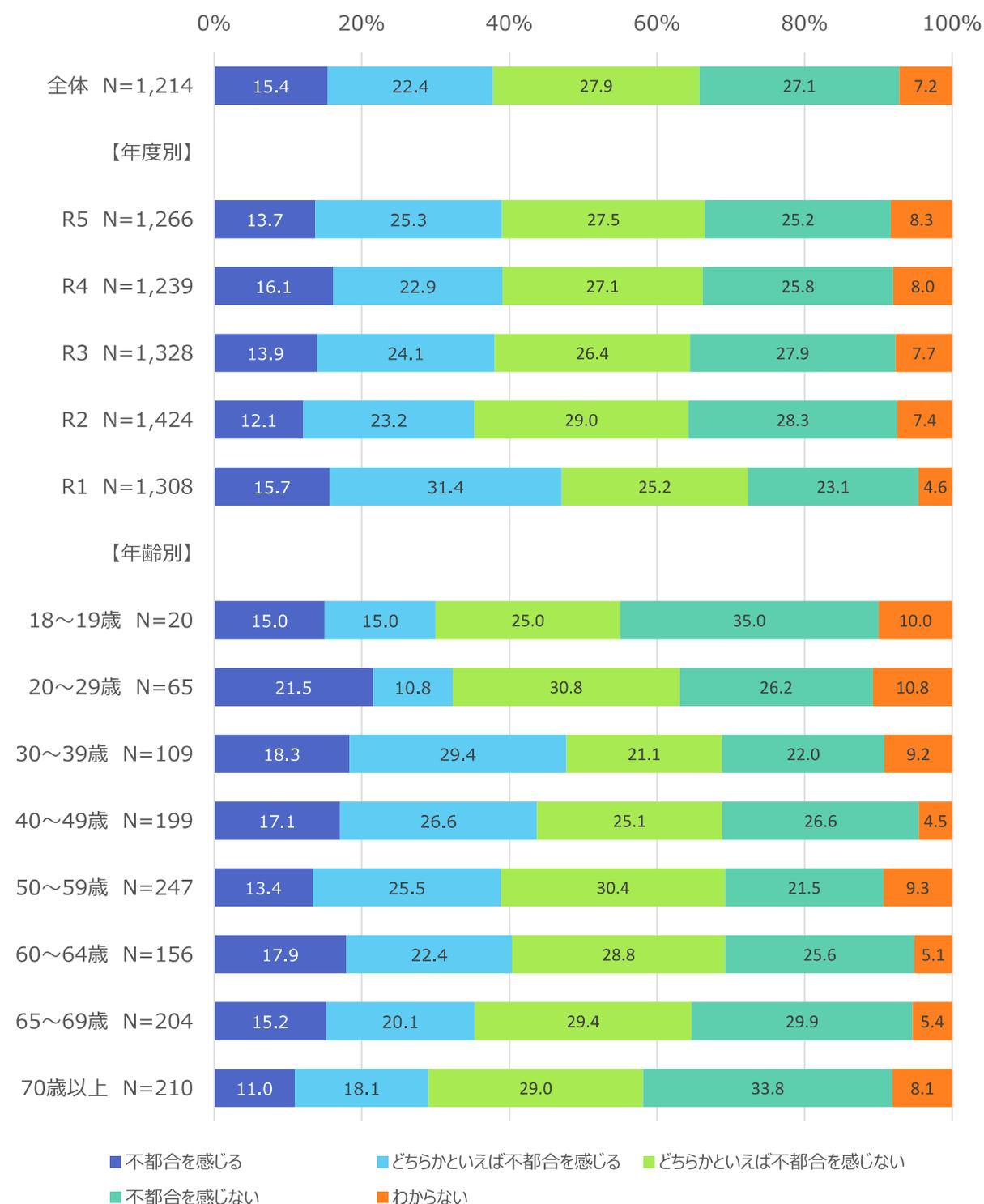


問25 あなたの身近な生活道路（市道等）を通行する際に不都合を感じますか。

全体の約4割は生活道路に不都合を感じている。

生活道路の状況を見ると、「不都合を感じる」が15.4%、「どちらかといえば不都合を感じる」が22.4%となっており、「不都合を感じている割合（「不都合を感じる」+「どちらかといえば不都合を感じる）」は37.8%となっている。

図36 生活道路の状況



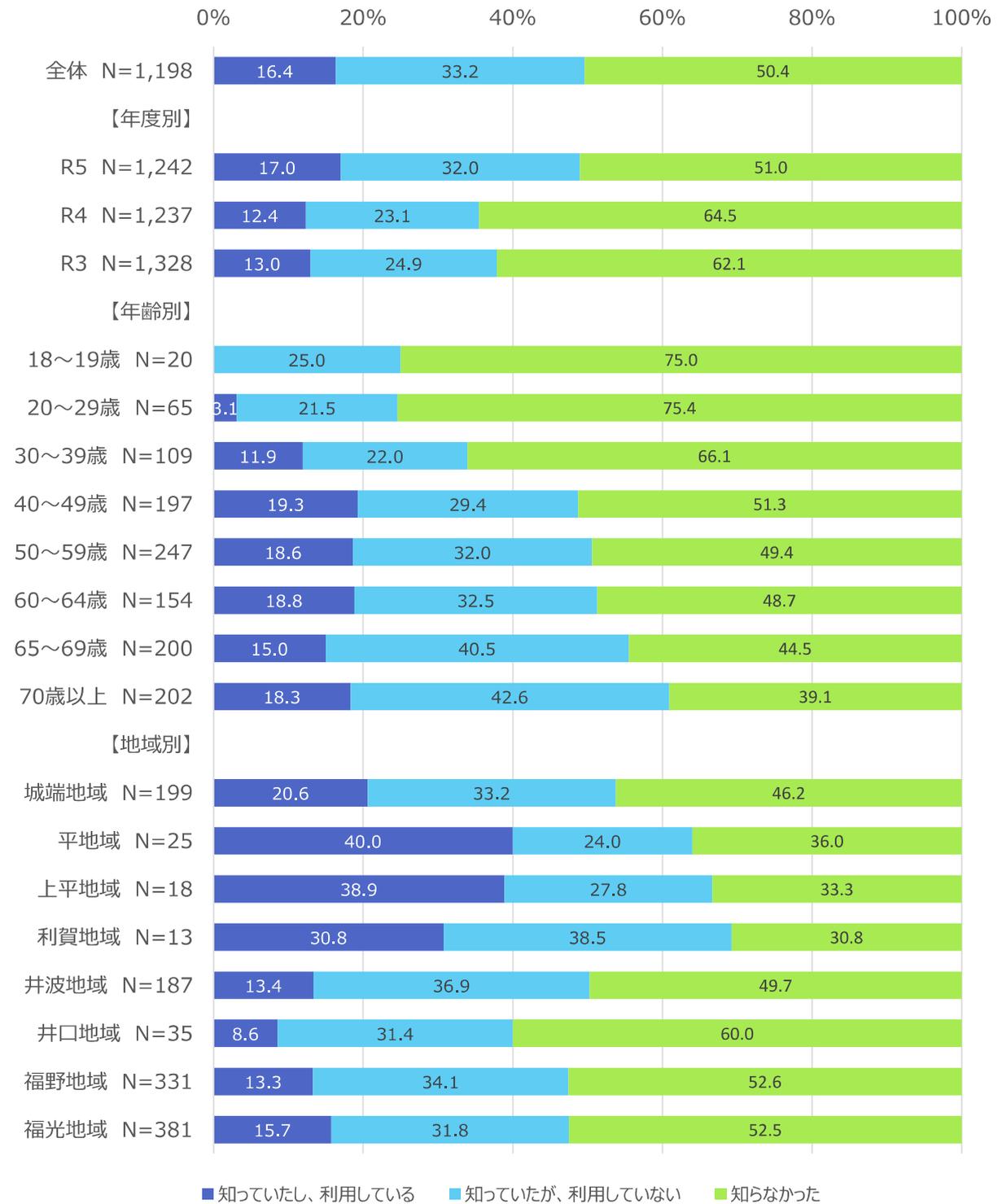
問26 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。

全体の約5割は『なんと！緊急メールサービス』を知らない。

『なんと！緊急メールサービス』の認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が16.4%、「知っていたが、利用していない」が33.2%、「知らなかった」が50.4%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「知っていた」が多い傾向にある。地域別に見ると、地域によって差が生じている。

図37 なんと！緊急メールサービスの認知状況

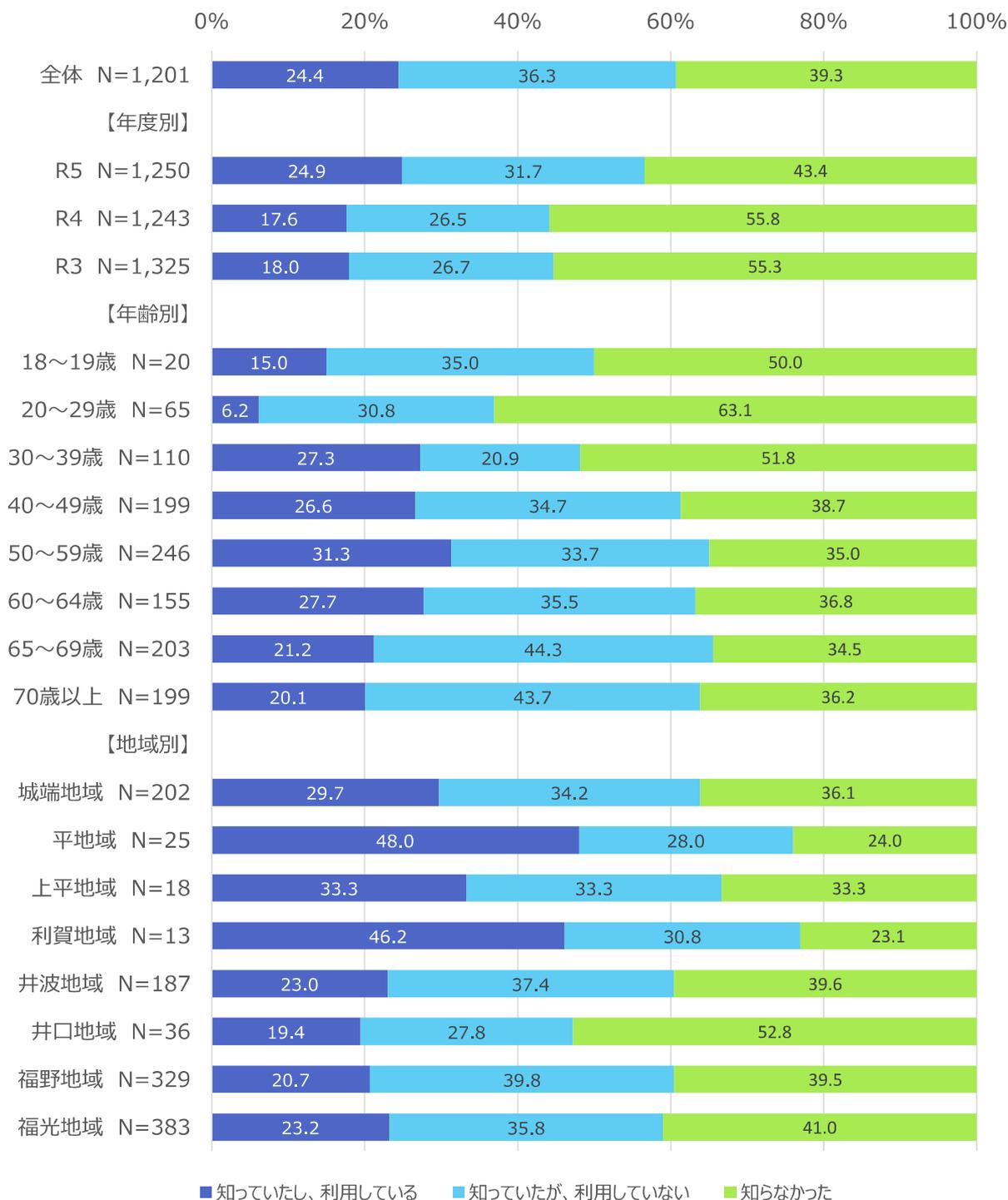


全体の約4割は『南砺市防災アプリ』を知らない。

『南砺市防災アプリ』の認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が24.4%、「知っていたが、利用していない」が36.3%、「知らなかった」が39.3%となっている。

地域別にみると、利賀地域は「知っていた割合（「知っていたし、利用している」+「知っていたが、利用していない）」が77.0%と最も多く、次いで平地域が76.0%となっている。

図38 南砺市防災アプリの認知状況



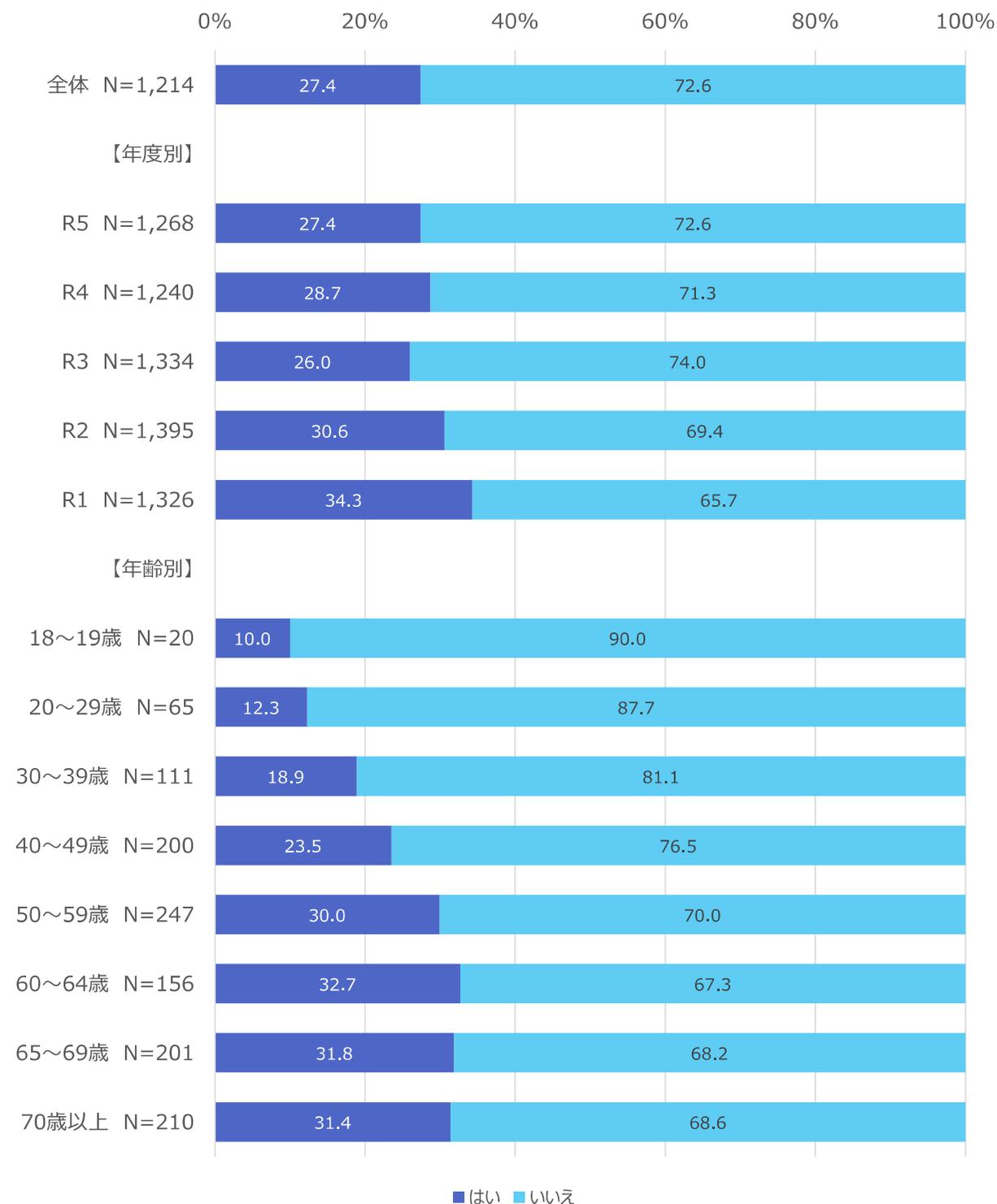
問27 あなたは、過去1年間に交通安全の活動や行事に参加しましたか。

全体の約3割は過去1年間に交通安全の活動や行事に参加している。

過去1年間の交通安全の活動や行事への参加状況を見ると、「はい（参加した）」が27.4%、「いいえ（参加していない）」が72.6%となっている。

年齢別にみると、60～64歳が「はい（参加した）」が32.7%と最も多く、年齢が若くなるにつれ減少する傾向にある。

図39 交通安全の活動や行事への参加状況



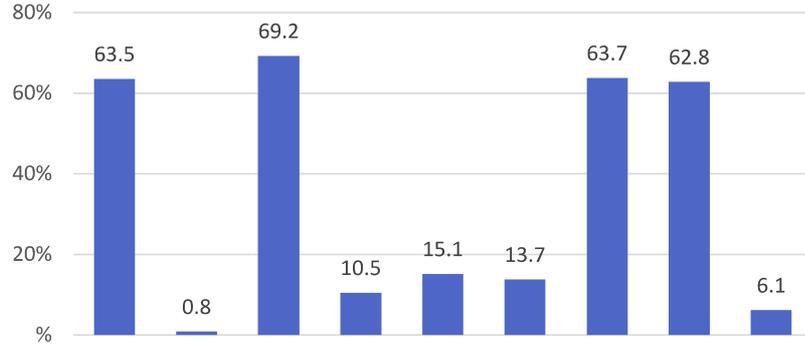
問28 あなたは、日常生活の中で犯罪に遭わないようにどのような取り組みをしていますか。

全体の約7割は「住居の戸締り」に取り組んでいる。

日常生活の中で防犯への取組状況を見ると、「住居の戸締り」が69.2%と最も多く、次いで「ネット犯罪対策」が63.7%、「自動車に関する防犯対策」が63.5%となっている。

年齢別にみると、「悪質商法対策」は年代が高いほど多く取り組んでいる傾向にある。

図40 防犯への取り組み状況 (MA)



			自動車に関する防犯対策	防犯対策グッズの携帯	住居の戸締り	空き巣対策設備の設置	自転車に関する防犯対策	犯罪情報の入手	ネット犯罪対策	悪質商法対策	特にも行っていない	その他
全体 N=1,222			63.5	0.8	69.2	10.5	15.1	13.7	63.7	62.8	6.1	
年度別	R5年	N=1,272	63.7	0.8	71.9	8.6	15.7	10.8	60.6	63.2	5.7	
	R4年	N=1,258	66.4	1.0	71.5	13.0	18.9	10.7	57.6	64.4	5.8	
	R3年	N=1,348	72.9	10.9	77.2	20.7	27.7	19.2	58.0	69.4	16.2	
	R2年	N=1,433	70.1	3.0	69.5	15.1	20.2	16.2	57.2	68.7	5.4	
	R1年	N=1,329	74.4	1.4	70.1	11.8	22.1	14.4	50.1	63.4	5.2	0.8
年齢別	18～19歳	N=20	55.0	0.0	70.0	5.0	60.0	10.0	50.0	40.0	5.0	
	20～29歳	N=64	56.3	1.6	64.1	9.4	25.0	14.1	67.2	46.9	12.5	
	30～39歳	N=111	57.7	0.9	70.3	10.8	18.0	16.2	63.1	49.5	10.8	
	40～49歳	N=200	59.5	1.5	71.0	10.0	15.0	13.5	64.0	56.0	5.5	
	50～59歳	N=247	64.4	0.4	66.8	10.9	16.2	14.6	68.4	59.5	4.9	
	60～64歳	N=157	65.0	1.9	68.2	12.1	11.5	10.8	70.1	72.0	6.4	
	65～69歳	N=209	63.2	0.0	70.8	11.0	12.0	13.4	64.6	73.2	5.7	
70歳以上	N=214	70.6	0.5	68.7	9.3	10.7	13.6	51.4	68.2	4.2		
地域別	城端地域	N=205	61.5	0.5	67.8	11.7	14.1	14.1	64.4	62.4	4.9	
	平地域	N=26	65.4	0.0	34.6	3.8	0.0	11.5	57.7	57.7	3.8	
	上平地域	N=19	47.4	0.0	26.3	0.0	0.0	15.8	68.4	63.2	21.1	
	利賀地域	N=13	61.5	0.0	38.5	15.4	0.0	15.4	84.6	76.9	0.0	
	井波地域	N=190	67.4	0.5	75.8	9.5	14.7	16.8	67.4	68.4	5.3	
	井口地域	N=38	52.6	5.3	52.6	10.5	13.2	5.3	65.8	63.2	18.4	
	福野地域	N=335	66.9	1.2	77.0	12.5	17.9	12.2	62.7	64.2	3.6	
	福光地域	N=389	60.9	0.5	67.4	9.5	15.4	14.1	62.0	58.6	7.2	

※図中の回答項目は、調査票の表現を要約し記載しています。

※H29年からR1年は設問内容に相違があります。

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

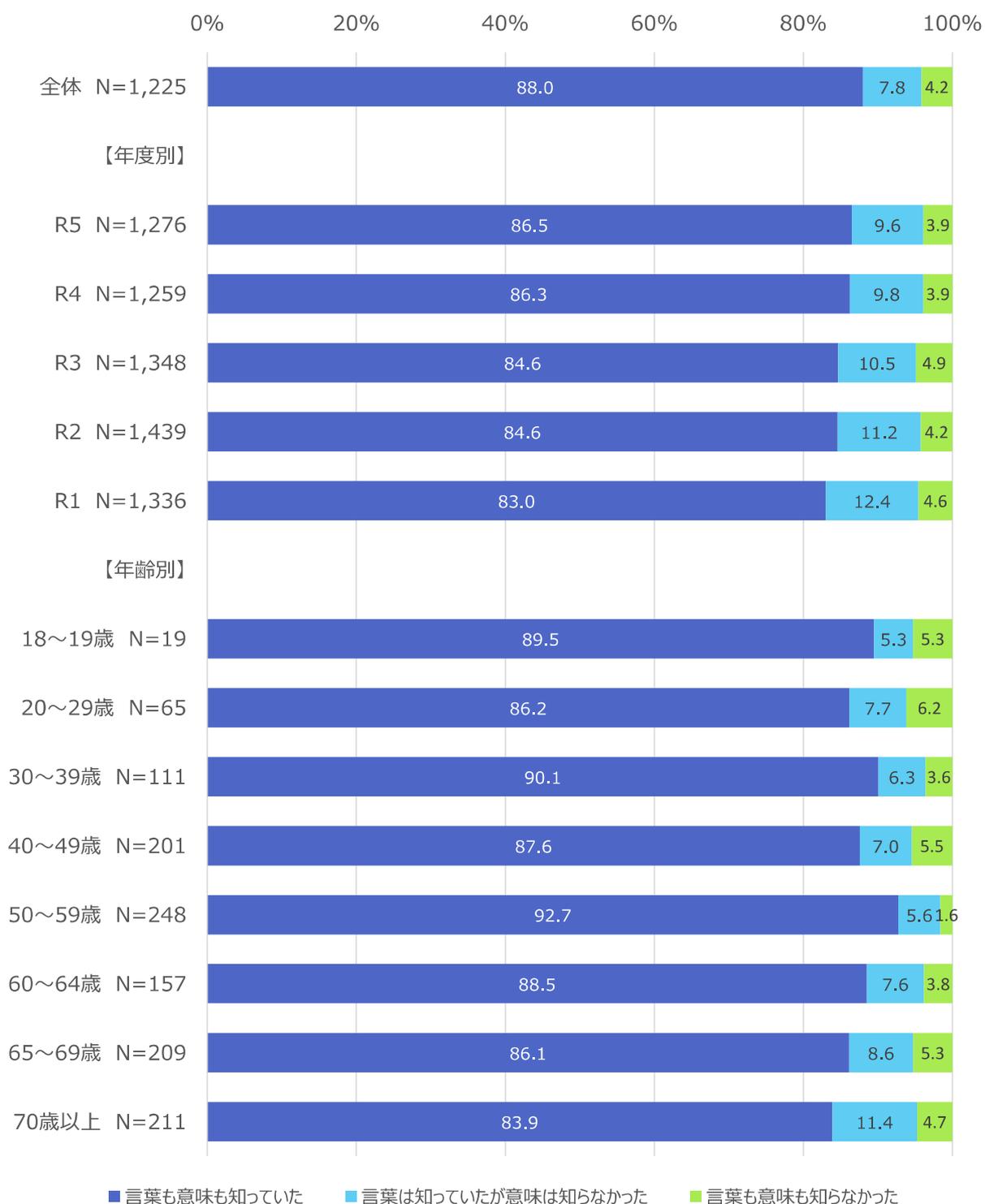
問29 クーリング・オフ制度とは、訪問販売など特定の取引について、いったん契約した場合でも、一定期間は消費者からの一方的な契約解除を認める制度です。あなたは、この制度のことを知っていましたか。

全体の約9割はクーリング・オフの言葉も意味も認知している。

クーリング・オフ制度の認知状況をみると、「言葉も意味も知っていた」が88.0%と最も多く、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が7.8%、「言葉も意味も知らなかった」が4.2%となっている。

年度別にみると、クーリング・オフ制度の認知度は増加してきている。

図41 クーリング・オフ制度の認知状況



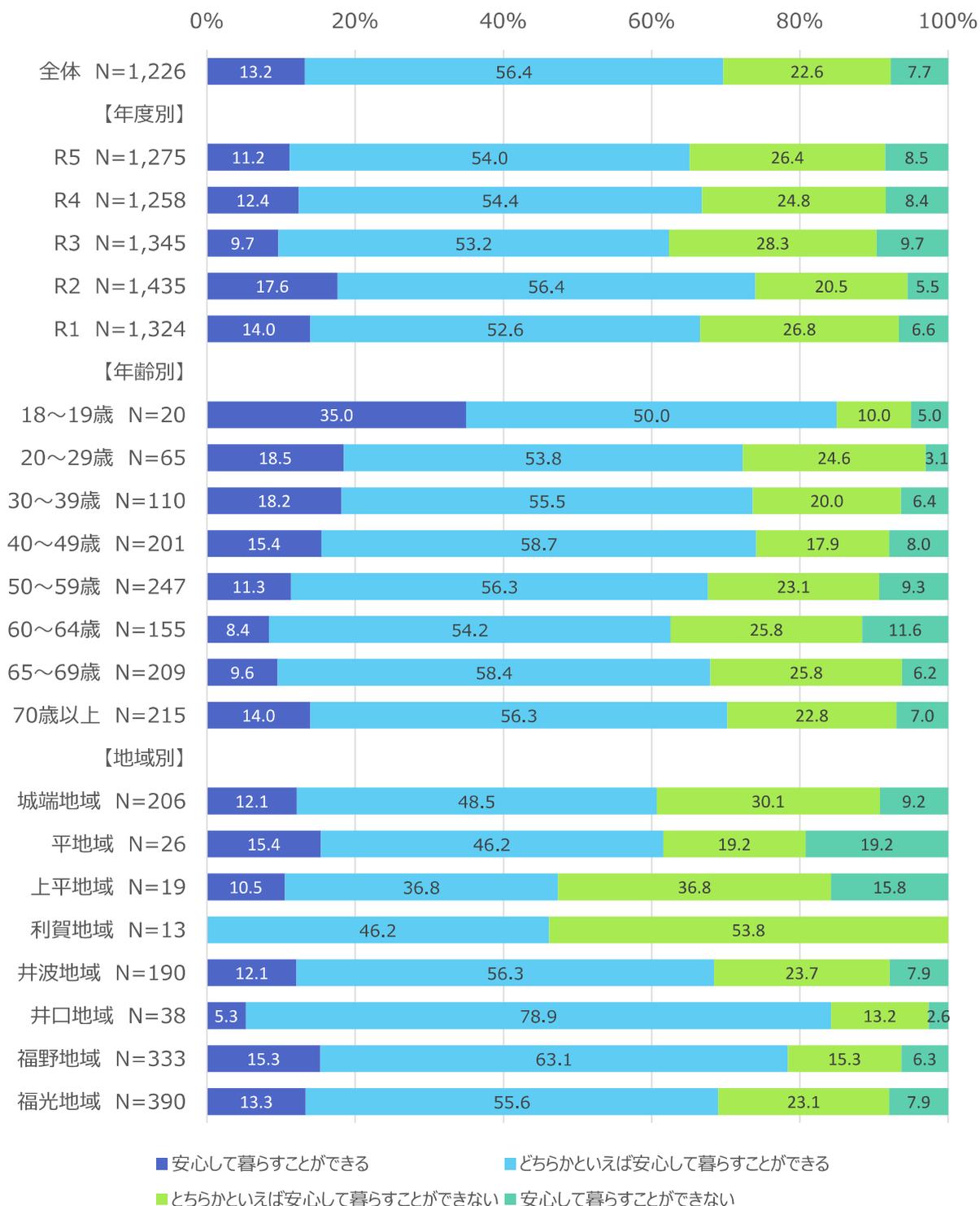
問30 あなたは、冬期に安心して暮らすことができると感じますか。

全体の約7割は冬期に安心して暮らすことができている。

冬期の暮らしをみると、「安心して暮らすことができる」が13.2%、「どちらかといえば安心して暮らすことができる」が56.4%となっている。

地域別にみると、利賀地域は「安心して暮らすことができない割合（「どちらかといえば安心して暮らすことができない」+「安心して暮らすことができない」）が53.8%と最も高くなっている。

図42 冬期の暮らし



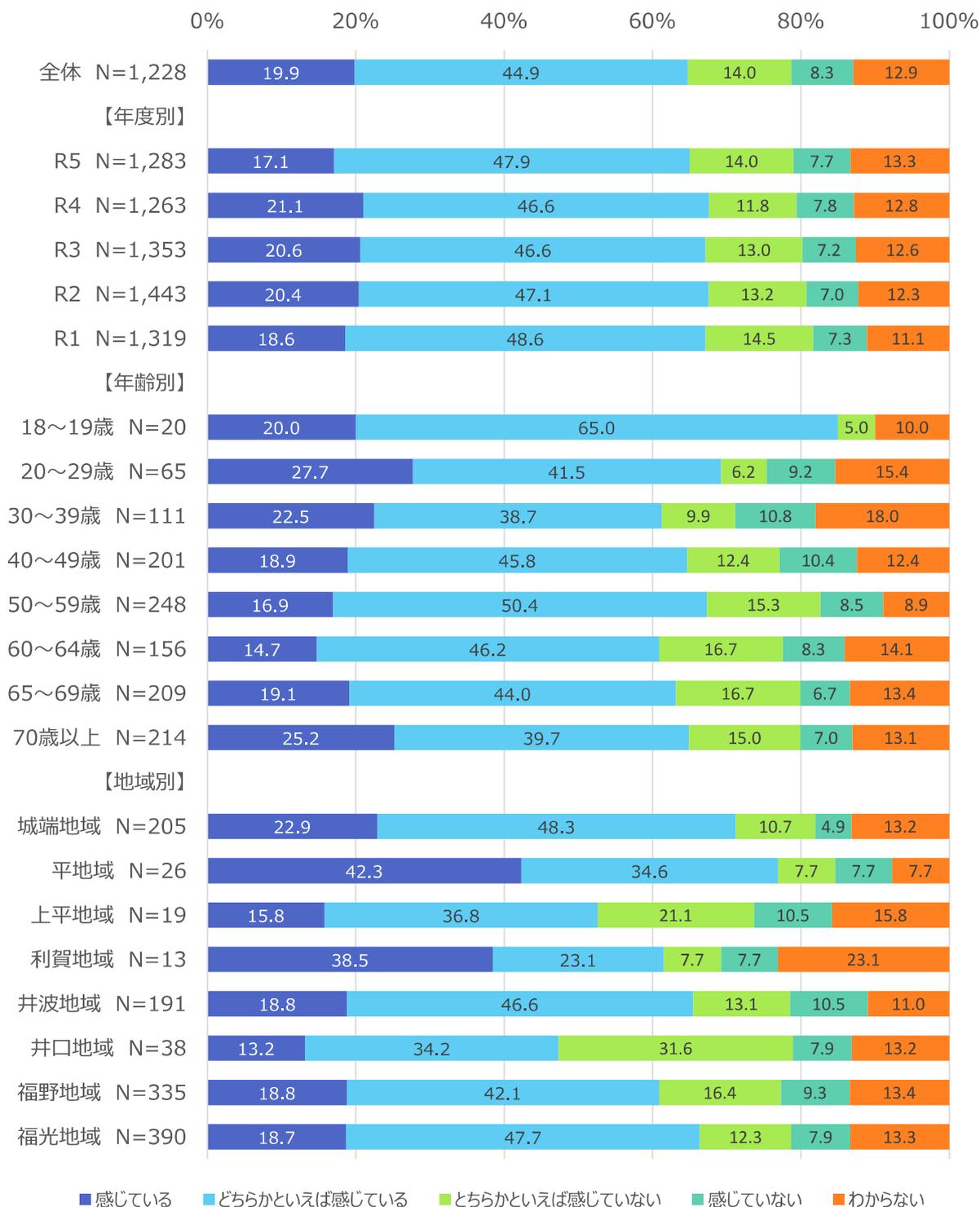
問31 あなたは、南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていますか。

全体の約6割は南砺市への「誇り」や「愛着」を感じている。

南砺市への「誇り」や「愛着」を感じているかをみると、「感じている」が19.9%、「どちらかといえば感じている」が44.9%、「どちらかといえば感じていない」が14.0%、「感じていない」が8.3%などとなっている。

地域別でみると、平地域が「感じている割合（「感じている」+「どちらかといえば感じている」）」が76.9%と最も多くなっている。

図43 南砺市への「誇り」や「愛着」



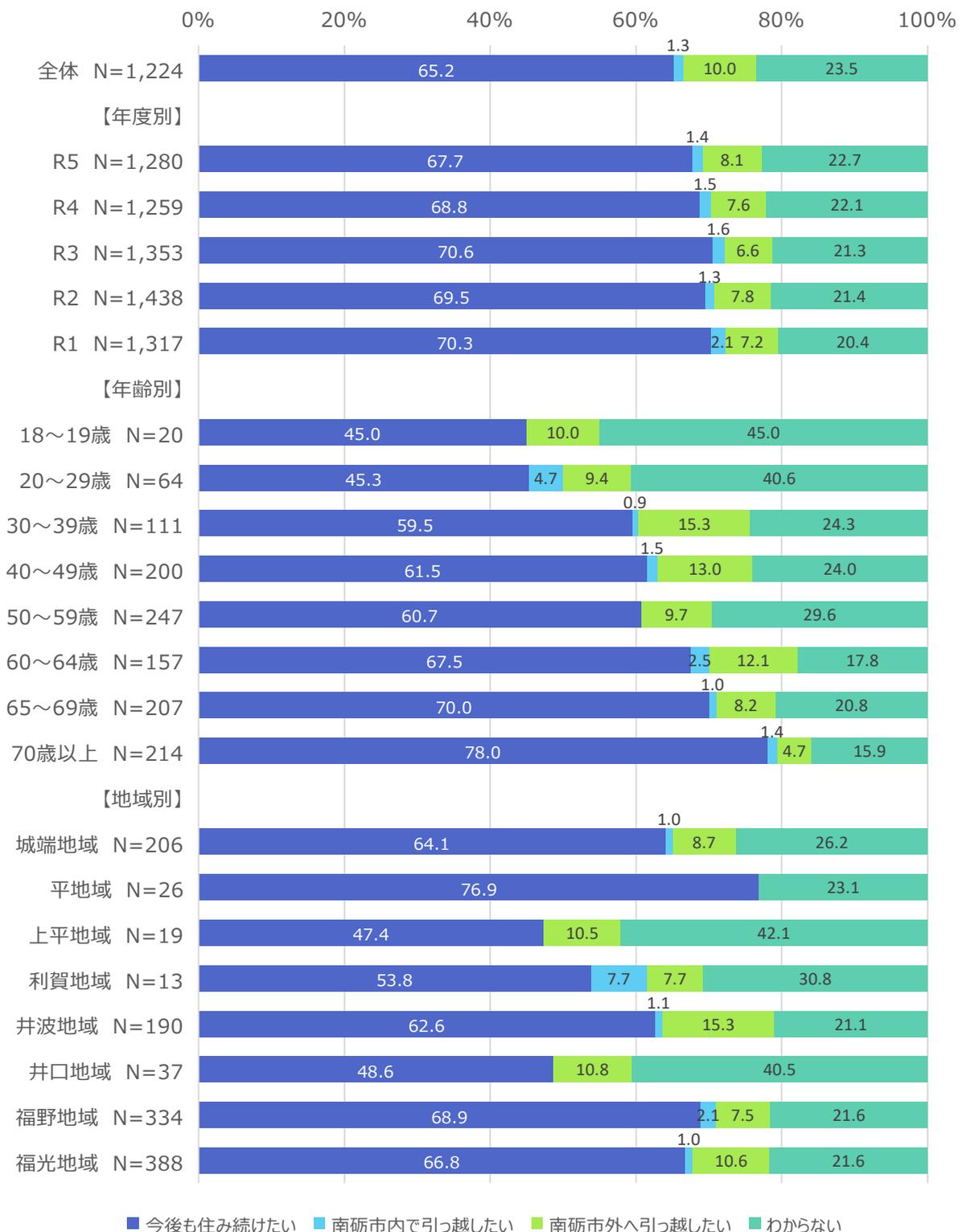
問32 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

全体の約7割は、今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思っている。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいかをみると、「今後も住み続けたい」が65.2%、「南砺市内で引越したい」が1.3%、「南砺市外へ引越したい」が10.0%、「わからない」が23.5%となっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「今後も住み続けたい」が多い傾向にあり、70歳以上が78.0%で最も多い。一方で18～29歳は「わからない」が多い傾向にある。

図44 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいか



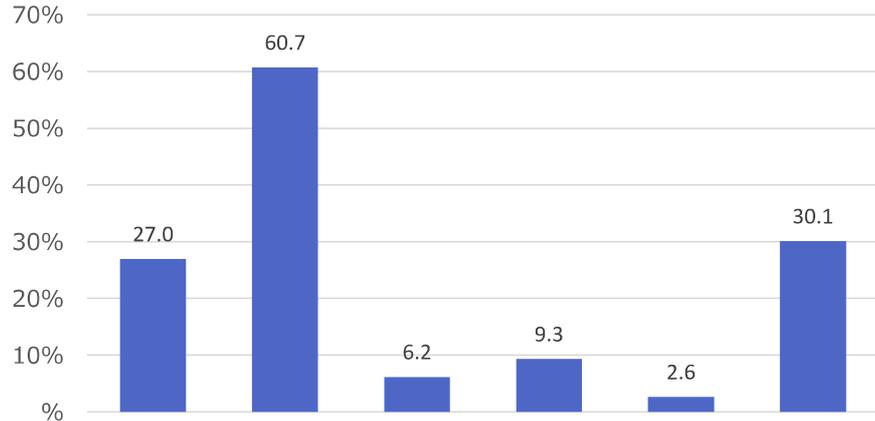
問33 問32で「1. 今後も住み続けたい」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由は「自然が豊かだから」が最も多い。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由をみると、「自然が豊かだから」が60.7%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利な立地だから」が27.0%、「高齢者支援が充実しているから」が9.3%となっている。

年齢別にみると、20～49歳で「子育て支援が充実しているから」の割合が他の年齢と比べて高くなっている。

図45 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由 (MA)



		立地から	自然が豊かだから	子育て支援が充実しているから	高齢者支援が充実しているから	教育が充実しているから	その他
全体 N=794		27.0	60.7	6.2	9.3	2.6	30.1
年度別	R5年 N=852	22.4	60.8	8.5	9.0	2.1	31.7
	R4年 N=859	20.3	62.6	9.1	10.8	2.9	29.2
	R3年 N=940	22.1	61.1	7.6	12.9	2.9	30.3
	R2年 N=998	25.7	60.5	10.9	11.4	3.3	26.1
	R1年 N=918	22.2	61.1	9.5	9.6	2.8	29.0
年齢別	18～19歳 N=9	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0	33.3
	20～29歳 N=29	37.9	51.7	13.8	3.4	6.9	31.0
	30～39歳 N=65	38.5	52.3	16.9	3.1	6.2	32.3
	40～49歳 N=122	38.5	64.8	14.8	4.1	3.3	26.2
	50～59歳 N=151	29.8	64.2	5.3	6.0	2.6	27.8
	60～64歳 N=107	27.1	50.5	1.9	9.3	0.9	41.1
	65～69歳 N=147	22.4	59.2	2.0	12.2	2.0	29.9
70歳以上 N=161	13.0	66.5	1.9	18.0	1.9	27.3	
地域別	城端地域 N=129	14.0	64.3	3.9	5.4	0.0	34.1
	平地地域 N=19	15.8	68.4	0.0	15.8	5.3	31.6
	上平地地域 N=10	20.0	70.0	10.0	10.0	10.0	50.0
	利賀地域 N=7	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=120	25.8	66.7	7.5	11.7	1.7	30.8
	井口地域 N=17	23.5	64.7	0.0	17.6	5.9	29.4
	福野地域 N=230	40.4	49.1	7.4	11.3	3.9	27.4
	福光地域 N=258	24.0	64.0	6.2	7.8	2.7	30.6

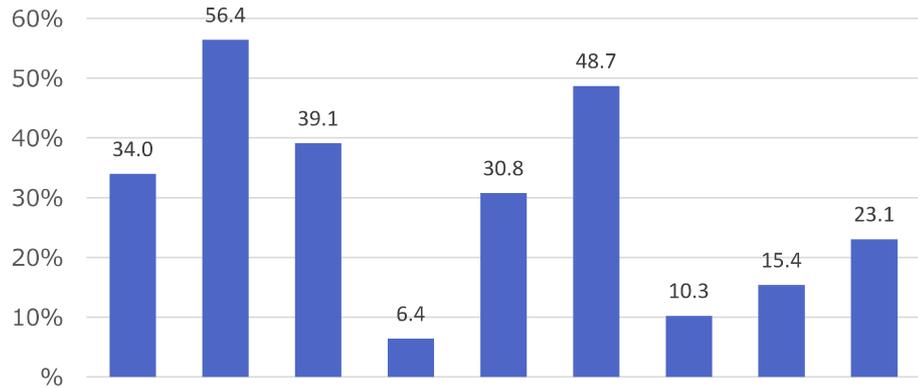
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問34 問32で「2. 南砺市内で引っ越したい」、「3. 南砺市外へ引っ越したい」と回答した方にお聞きます。
 そう思う理由は何ですか。

現在の住まいから引っ越したい理由の約6割は「買い物など日常生活が不便だから」

現在の住まいから引っ越したいと思う理由をみると、「買い物など日常生活が不便だから」が56.4%、次いで「公共交通が不便だから」が48.7%、「医療機関が充実していないから」が39.1%、「通勤・通学が不便だから」が34.0%となっている。

図46 現在の住まいから引っ越したいと思う理由 (MA)



		通勤・通学が不便だから	買い物など日常生活が不便だから	医療機関が充実していないから	教育機関がよくないから	近所づきあいなど土地柄になじめないから	公共交通が不便だから	子育て環境が充分でないから	家族が自分の住む場所以外にいるから	その他
全体 N=156		34.0	56.4	39.1	6.4	30.8	48.7	10.3	15.4	23.1
年度別	R5年 N=135	31.1	51.9	31.1	5.2	25.2	45.9	9.6	14.8	26.7
	R4年 N=124	28.9	46.9	28.9	8.6	22.7	41.4	10.2	10.9	32.0
	R3年 N=146	29.8	59.7	31.5	8.1	28.2	43.5	6.5	18.5	21.0
	R2年 N=149	32.2	57.5	32.9	7.5	23.3	52.7	7.5	9.6	23.3
	R1年 N=162	35.6	58.4	30.2	6.7	26.2	50.3	6.7	15.4	20.1
年齢別	18～19歳 N=1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	20～29歳 N=9	44.4	33.3	22.2	11.1	22.2	66.7	11.1	0.0	22.2
	30～39歳 N=19	57.9	84.2	52.6	10.5	36.8	42.1	21.1	21.1	10.5
	40～49歳 N=29	51.7	48.3	41.4	13.8	31.0	51.7	13.8	6.9	24.1
	50～59歳 N=28	39.3	64.3	53.6	7.1	28.6	57.1	10.7	7.1	35.7
	60～64歳 N=27	14.8	55.6	29.6	3.7	40.7	44.4	0.0	22.2	18.5
	65～69歳 N=24	16.7	45.8	37.5	0.0	33.3	37.5	16.7	29.2	33.3
70歳以上 N=18	16.7	55.6	27.8	0.0	16.7	44.4	0.0	16.7	0.0	
地域別	城端地域 N=24	29.2	58.3	37.5	0.0	45.8	50.0	4.2	20.8	20.8
	平地地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上平地地域 N=2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	井波地域 N=34	41.2	52.9	29.4	11.8	29.4	47.1	11.8	20.6	23.5
	井口地域 N=3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7
	福野地域 N=37	27.0	64.9	40.5	2.7	27.0	43.2	2.7	13.5	13.5
	福光地域 N=52	36.5	51.9	44.2	7.7	28.8	51.9	19.2	11.5	26.9

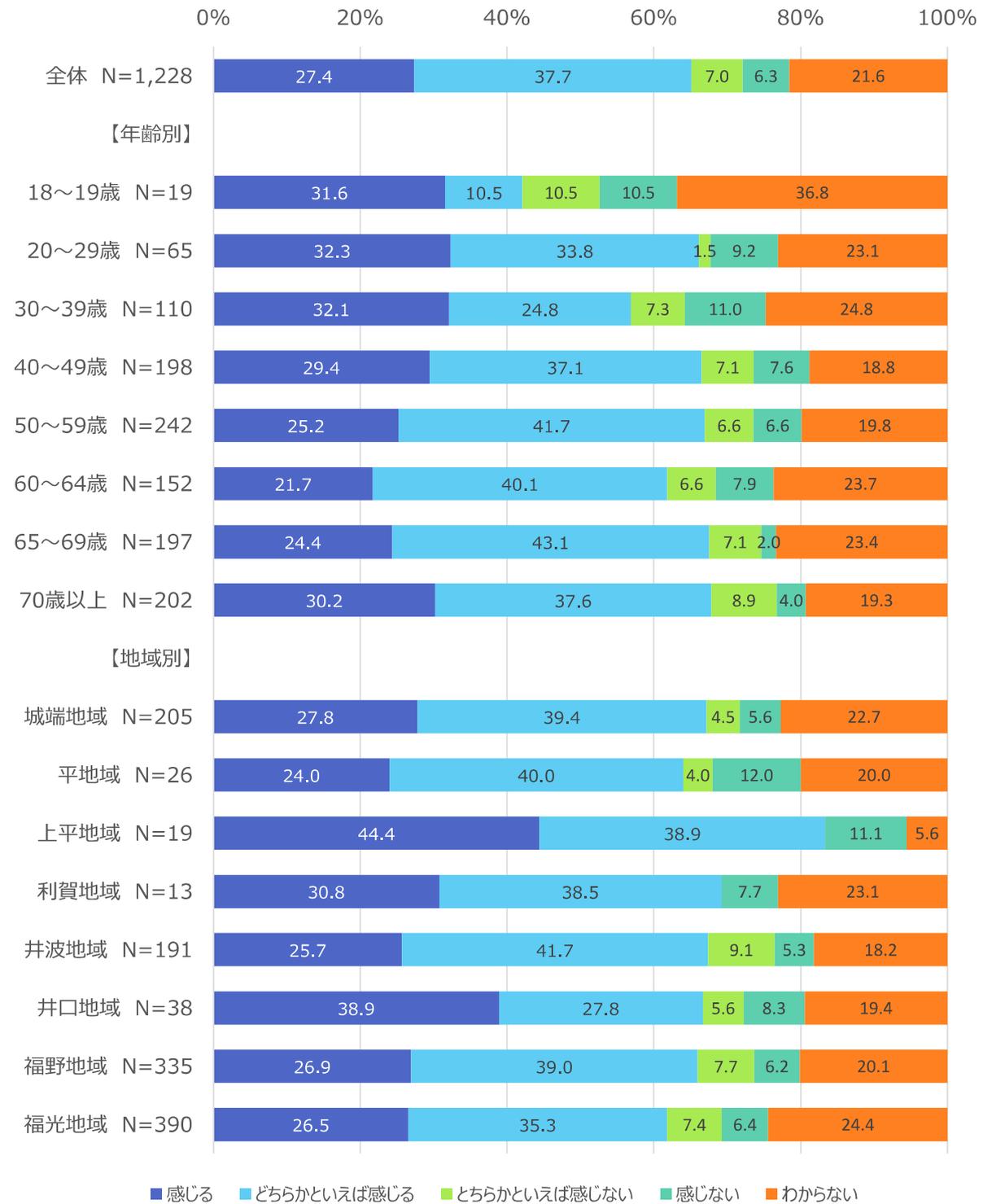
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問35 地域で暮らす子ども（0歳から概ね18歳未満）と関わるのが幸せだと感じますか。

全体の約7割は地域で暮らす子どもと関わるのが幸せだと感じている。

地域で暮らす子どもと関わるのが幸せだと感じるかをみると、「感じる」が27.4%、「どちらかといえば感じる」が37.7%、「どちらかといえば感じない」が7.0%、「感じない」が6.3%となっており、「幸せだと感じる割合（「感じる」+「どちらかといえば感じる）」が65.1%となっている。

図47 地域で暮らす子どもと関わるのが幸せだと感じるか



問36 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたのご家庭には、次のお子さんは何人いらっしゃいますか。

全体の約3割は家庭に18歳未満のお子さんがいる。

18歳未満のお子さんの有無をみると、「いる」が28.2%、「いない」が71.8%となっている。

図48 18歳未満のお子さんの有無

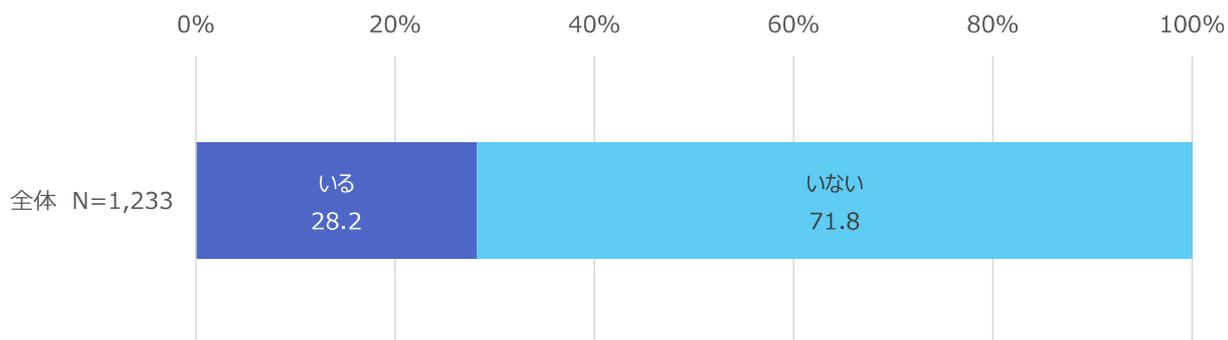
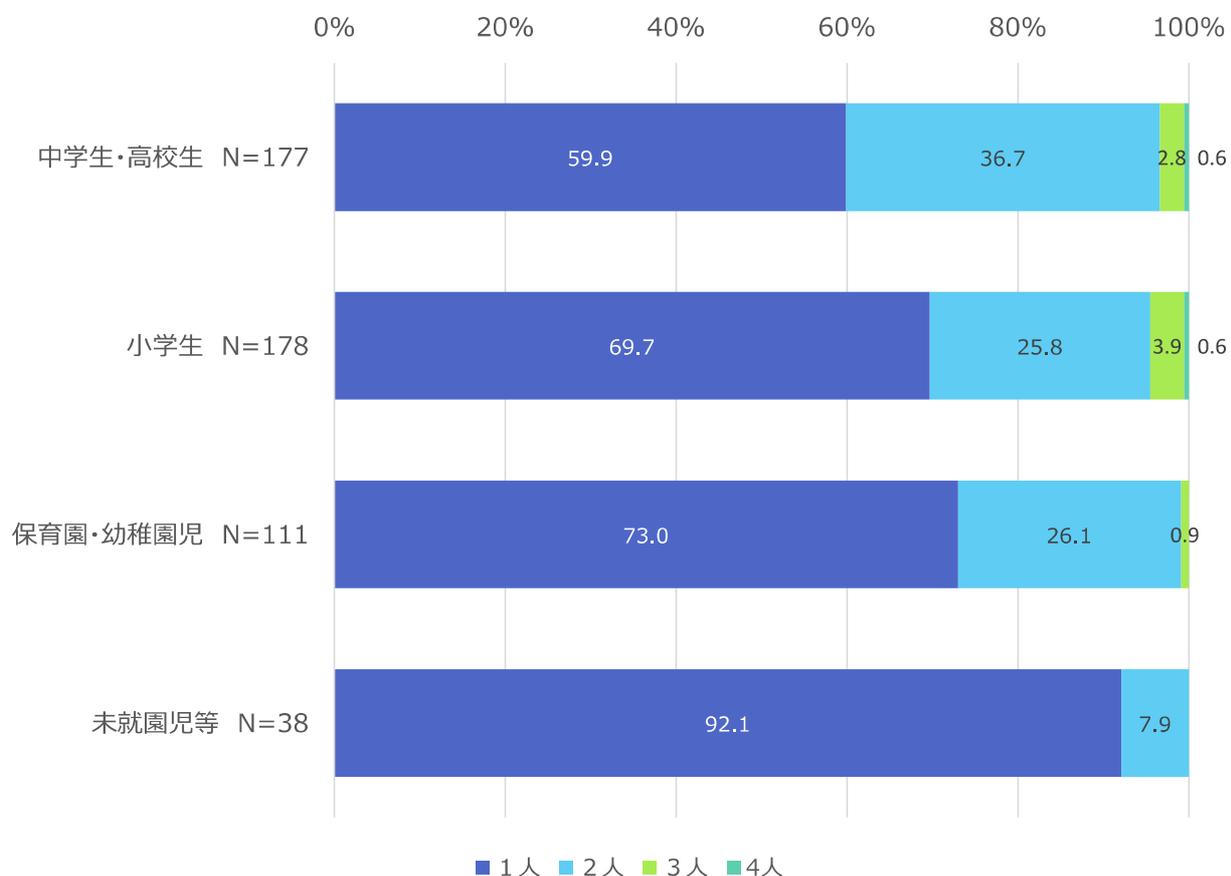


図49 18歳未満のお子さんの内訳 (MA)

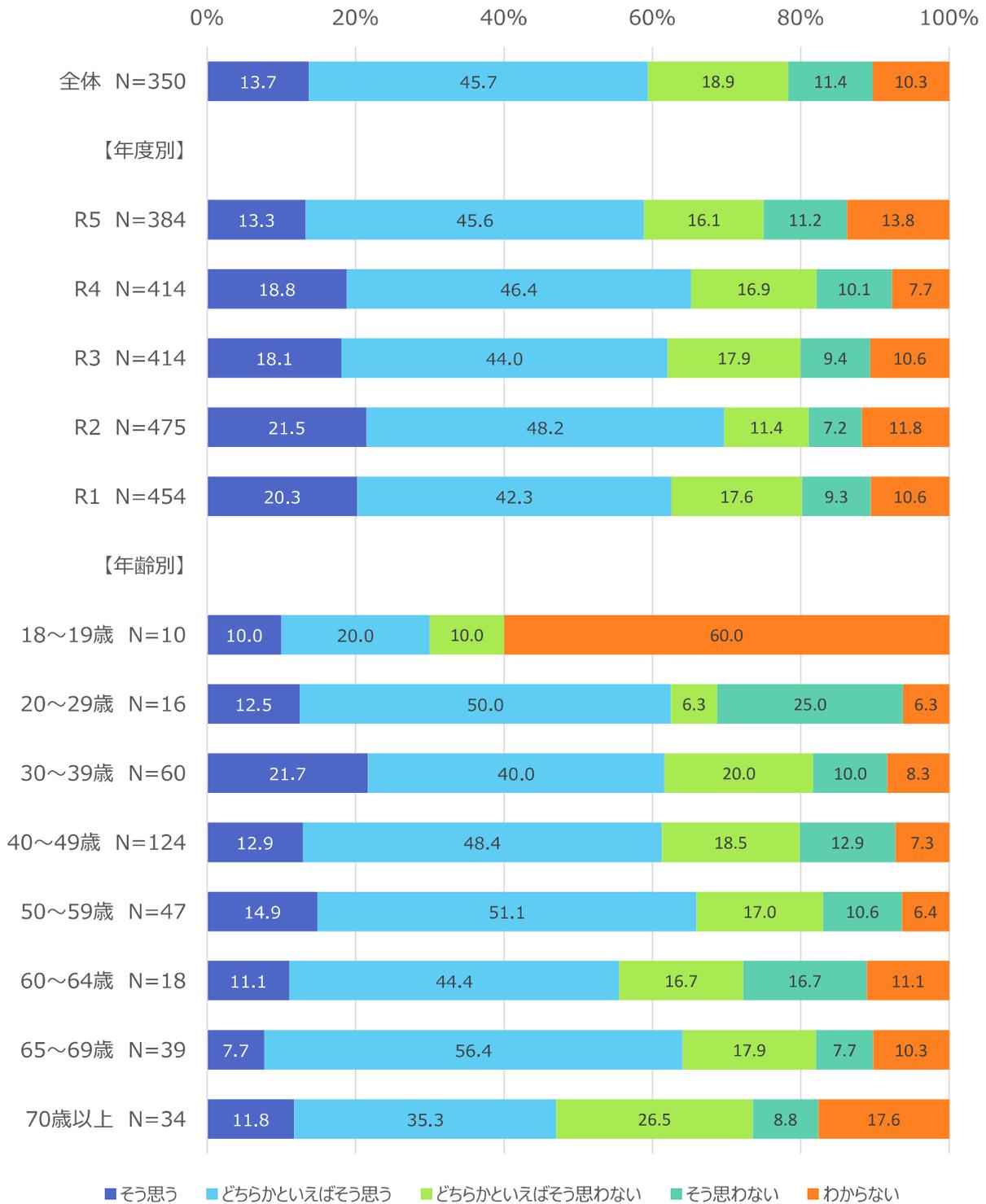


問37 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、南砺市では就労しながら無理なく子育てをすることができますか。

全体の約6割は就労しながら無理なく子育てができていると思っている。

就労しながら無理なく子育てをすることができるかをみると、「そう思う」が13.7%、「どちらかといえばそう思う」が45.7%、「どちらかといえばそう思わない」が18.9%、「そう思わない」が11.4%となっており、「そう思っている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が59.4%になっている。

図50 就労しながら無理なく子育てできるか

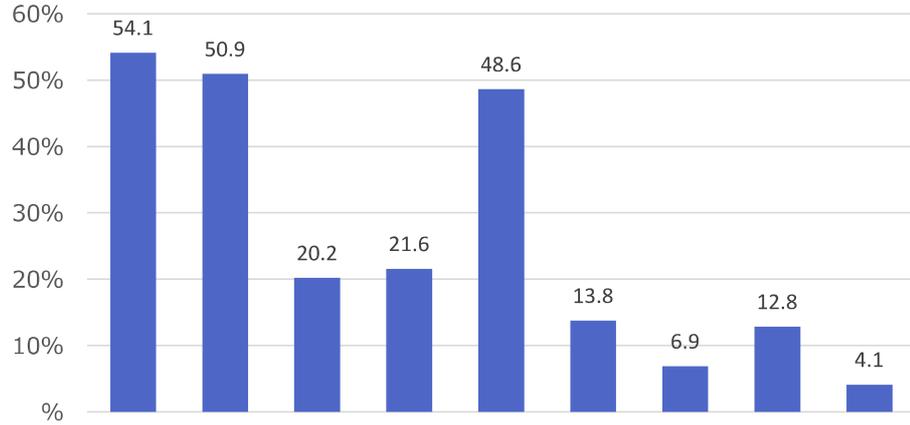


問38 問37で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

就労しながら無理なく子育てができると思う理由は「保育サービスが充実しているから」が最も多い。

就労しながら無理なく子育てができると思う理由をみると、「保育サービスが充実しているから」が54.1%と最も多く、次いで「子どもを預ける場が充実しているから」が50.9%、「医療費助成が充実しているから」が48.6%となっている。

図51 就労しながら無理なく子育てができると思う理由（MA）



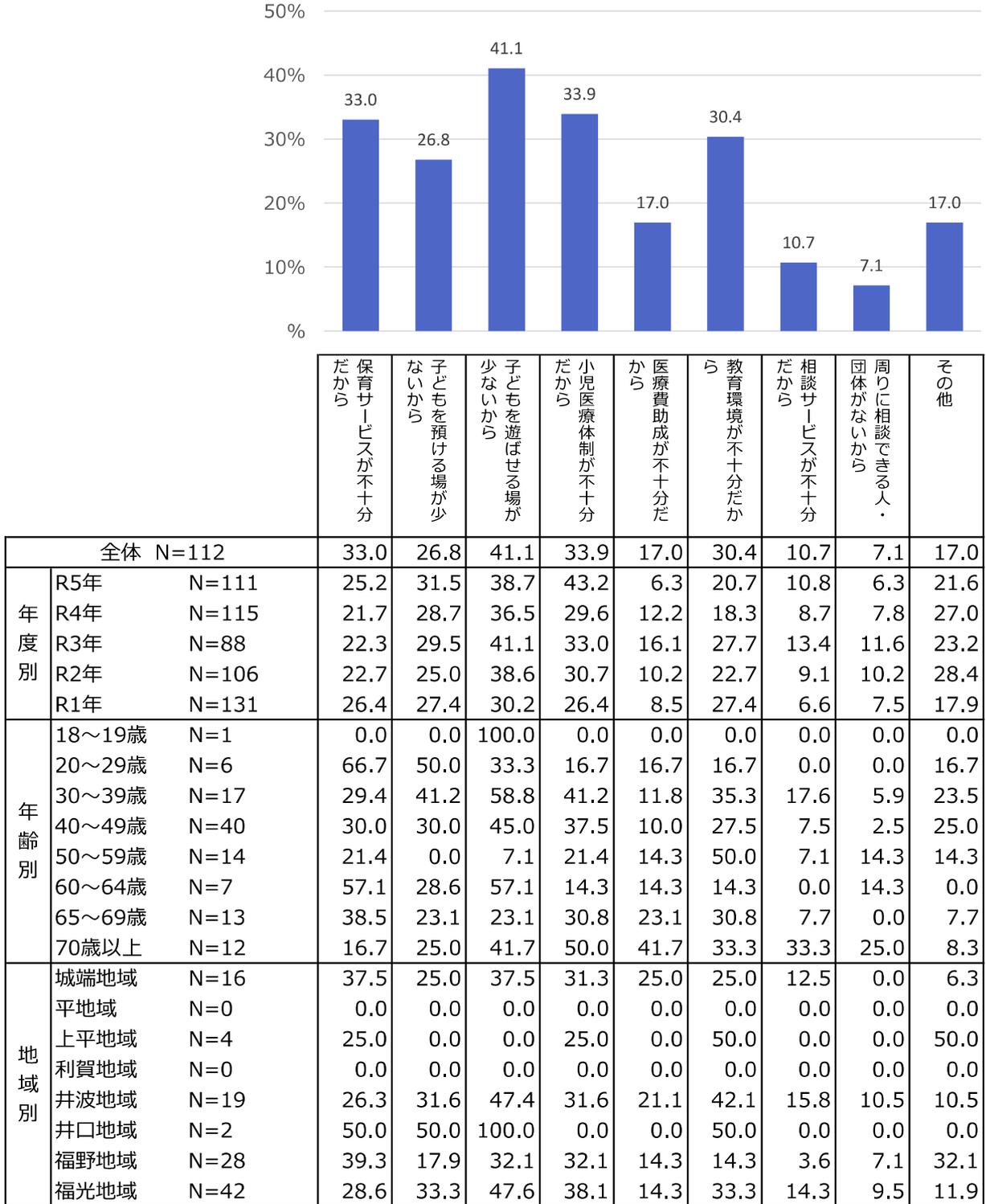
			保育サービスが充実しているから	子どもを預ける場が充実しているから	子どもを遊ばせる場が多いから	小児医療体制が整っているから	医療費助成が充実しているから	教育環境が充実しているから	相談サービスが充実しているから	周りに相談できる人・団体があるから	その他
全体 N=218			54.1	50.9	20.2	21.6	48.6	13.8	6.9	12.8	4.1
年度別	R5年	N=221	48.4	58.4	13.1	12.7	54.3	11.8	4.1	11.3	5.9
	R4年	N=273	54.9	55.7	14.3	17.9	52.4	12.5	4.4	15.4	4.8
	R3年	N=251	56.2	59.4	21.9	15.5	52.2	14.3	6.0	13.1	5.6
	R2年	N=323	59.1	61.0	25.4	19.5	53.9	10.8	5.0	14.6	5.3
	R1年	N=284	66.2	63.0	20.4	23.2	53.2	10.2	4.6	10.2	4.6
年齢別	18～19歳	N=3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	20～29歳	N=10	60.0	60.0	10.0	30.0	50.0	10.0	20.0	30.0	0.0
	30～39歳	N=40	65.0	60.0	20.0	12.5	47.5	12.5	7.5	22.5	0.0
	40～49歳	N=76	51.3	44.7	18.4	23.7	51.3	14.5	3.9	11.8	5.3
	50～59歳	N=33	54.5	42.4	15.2	24.2	60.6	15.2	9.1	15.2	6.1
	60～64歳	N=10	50.0	70.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	N=27	59.3	66.7	33.3	22.2	48.1	14.8	11.1	3.7	0.0
70歳以上	N=19	36.8	42.1	26.3	15.8	21.1	15.8	5.3	5.3	5.3	
地域別	城端地域	N=33	39.4	33.3	18.2	27.3	51.5	24.2	6.1	15.2	6.1
	平地地域	N=2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	上平地地域	N=2	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	利賀地域	N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域	N=36	55.6	52.8	19.4	25.0	44.4	13.9	8.3	8.3	8.3
	井口地域	N=6	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0
	福野地域	N=68	54.4	63.2	20.6	26.5	48.5	10.3	8.8	10.3	1.5
	福光地域	N=70	60.0	47.1	22.9	12.9	51.4	11.4	4.3	15.7	4.3

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問39 問37で「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

無理なく子育てができると思わない理由は「子どもを遊ばせる場が少ないから」が最も多い。就労しながら無理なく子育てができると思わない理由をみると、「子どもを遊ばせる場が少ないから」が41.1%と最も多く、次いで「小児医療体制が不十分だから」が33.9%となっている。

図52 就労しながら無理なく子育てできると思わない理由 (MA)



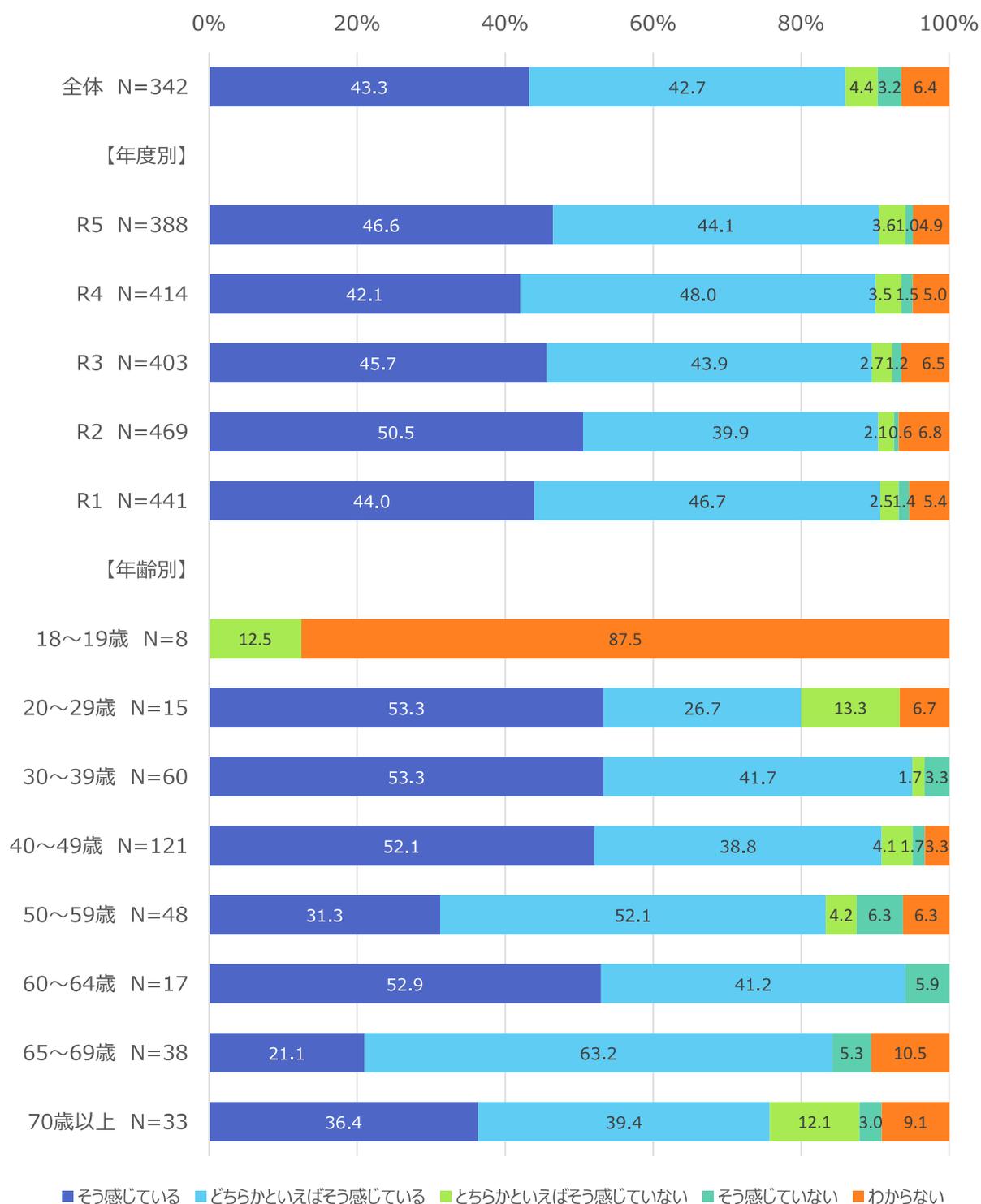
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問40 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、子育てに喜びや生きがいを感じていますか。

18歳未満のお子さんがある方の約9割は子育てに喜びや生きがいを感じている。

子育てに喜びや生きがいを感じるかをみると、「そう感じている」が43.3%、「どちらかといえばそう感じている」が42.7%となっており、「そう感じている割合（「そう感じている」+「どちらかといえばそう感じている）」は86.0%となっている。

図53 子育てに喜びや生きがいを感じるか

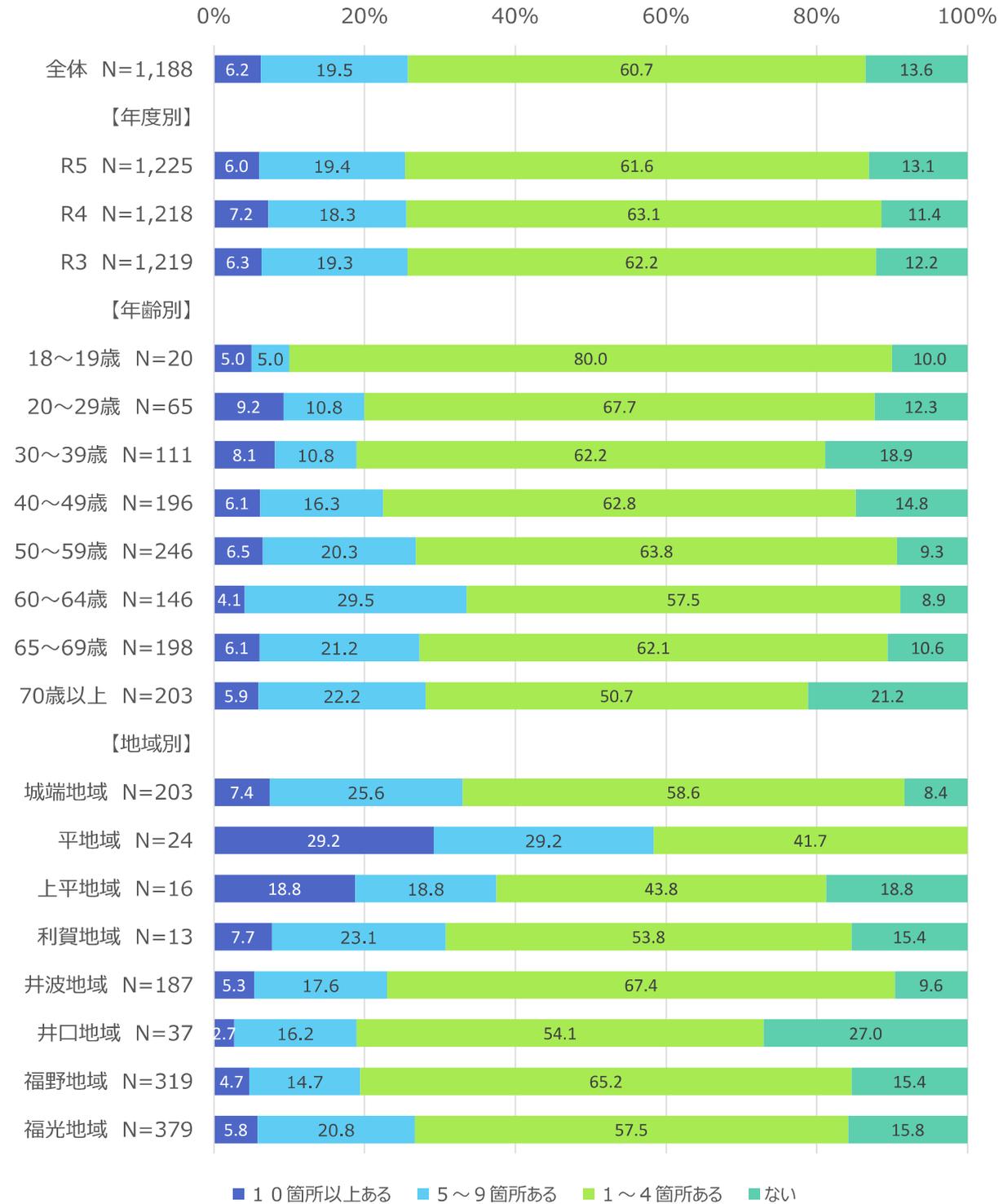


問41 あなたが友人や知人に、ぜひお勧めしたい南砺市内の文化や景観はいくつありますか。

全体の約9割は友人や知人にお勧めしたい南砺市内の文化や景観がある。

友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観があるかをみると、「10箇所以上ある」が6.2%、「5～9箇所ある」が19.5%、「1～4箇所ある」が60.7%となっており、「1箇所以上ある割合（「10箇所以上ある」+「5～9箇所ある」+「1～4箇所ある」）が86.4%となっている。

図54 友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観の個数



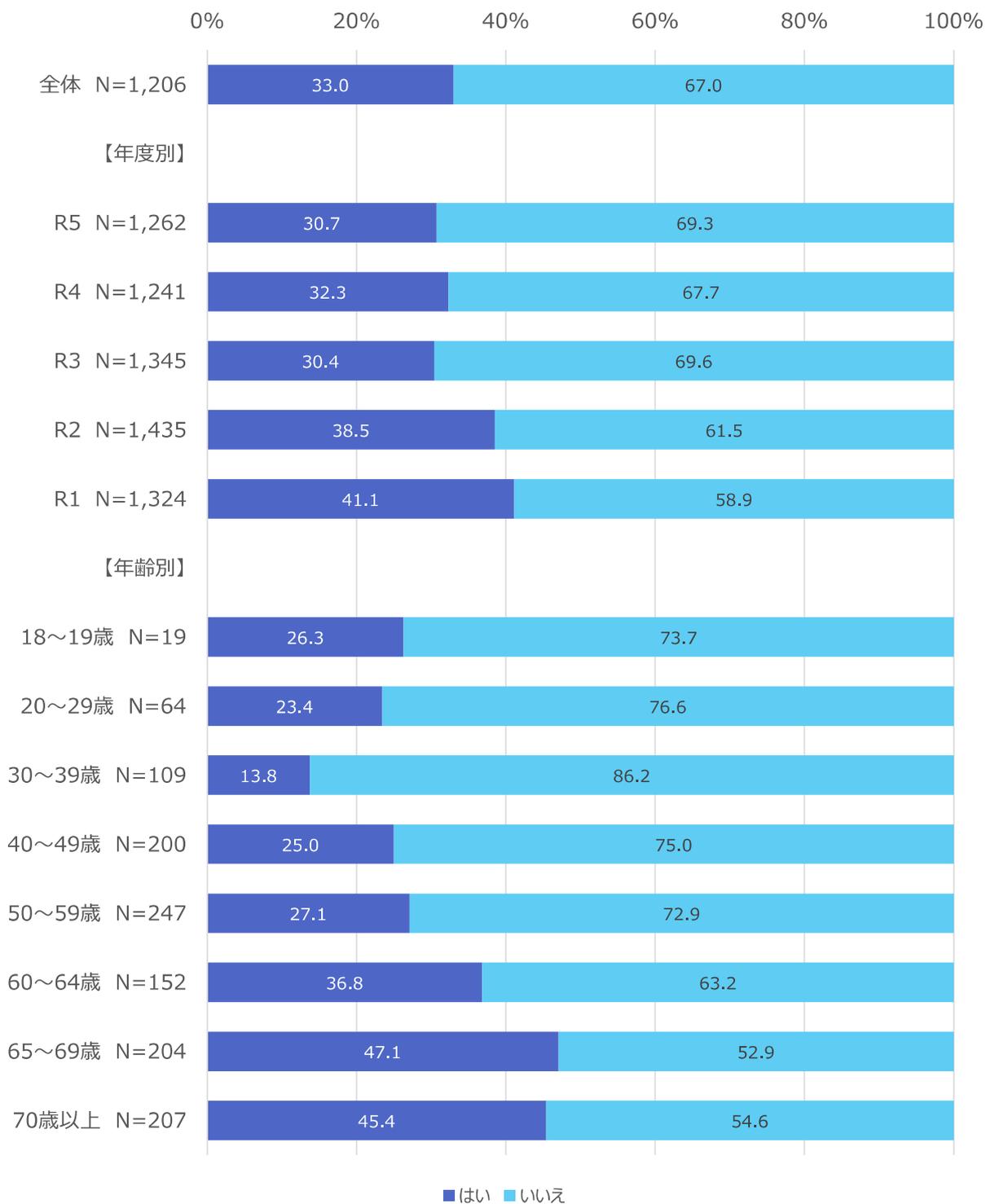
問42 あなたは、過去1年間にボランティア活動（団体による清掃活動等）に参加しましたか。

全体の3割は過去1年間にボランティア活動に参加している。

ボランティア活動への参加状況を見ると、「はい（参加した）」が33.0%、「いいえ（参加していない）」が67.0%となっている。

年齢別にみると、60～69歳は「はい（参加した）」が47.1%と最も多く、30～39歳が13.8%と最も少なくなっている。

図55 ボランティア活動への参加状況



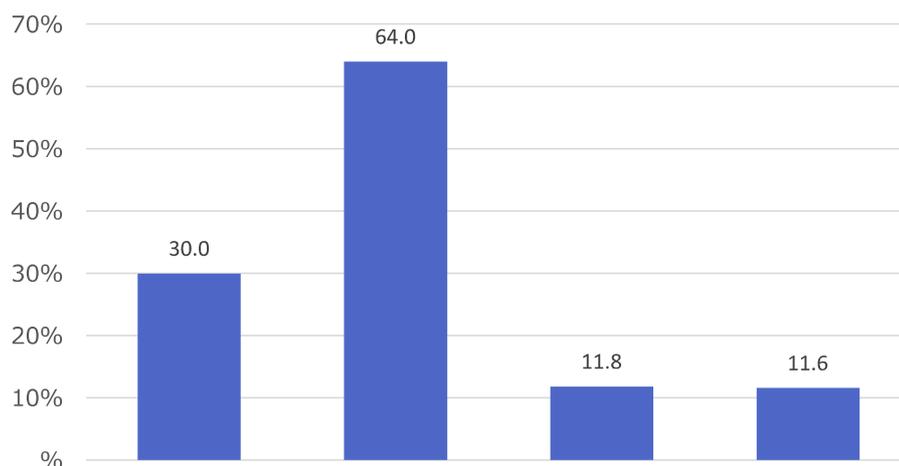
問43 問42で「1. はい」と回答した方にお聞きます。活動内容はどのようなものですか。

ボランティア活動の内容は約6割は「環境分野」となっている。

ボランティア活動に参加したことがある方について、その活動内容をみると、「環境分野」が64.0%、「福祉分野」が30.0%、「教育分野」が11.8%となっている。

年齢別にみると、母体数の少ない19歳以下を除くと、「環境分野」の割合は年齢が高くなるほど多い傾向となっている。

図56 ボランティア活動の内容 (MA)



		福祉分野	環境分野	教育分野	その他
全体 N=397		30.0	64.0	11.8	11.6
年度別	R5年 N=384	21.9	67.7	9.4	14.3
	R4年 N=399	27.6	66.4	11.3	10.8
	R3年 N=552	22.7	67.2	7.9	12.6
	R2年 N=547	23.0	74.8	9.4	7.8
	R1年 N=597	21.4	71.8	11.0	8.0
年齢別	18～19歳 N=5	40.0	40.0	0.0	20.0
	20～29歳 N=15	26.7	53.3	26.7	20.0
	30～39歳 N=16	18.8	56.3	12.5	18.8
	40～49歳 N=50	10.0	58.0	24.0	22.0
	50～59歳 N=68	25.0	67.6	13.2	7.4
	60～64歳 N=56	35.7	62.5	7.1	12.5
	65～69歳 N=94	34.0	61.7	9.6	10.6
	70歳以上 N=93	38.7	72.0	7.5	6.5
地域別	城端地域 N=71	35.2	62.0	9.9	9.9
	平地地域 N=10	10.0	80.0	20.0	20.0
	上平地地域 N=11	27.3	54.5	9.1	18.2
	利賀地域 N=8	0.0	75.0	25.0	25.0
	井波地域 N=71	28.2	71.8	9.9	12.7
	井口地域 N=14	35.7	64.3	7.1	0.0
	福野地域 N=89	30.3	60.7	13.5	13.5
	福光地域 N=121	29.8	62.0	12.4	9.9

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

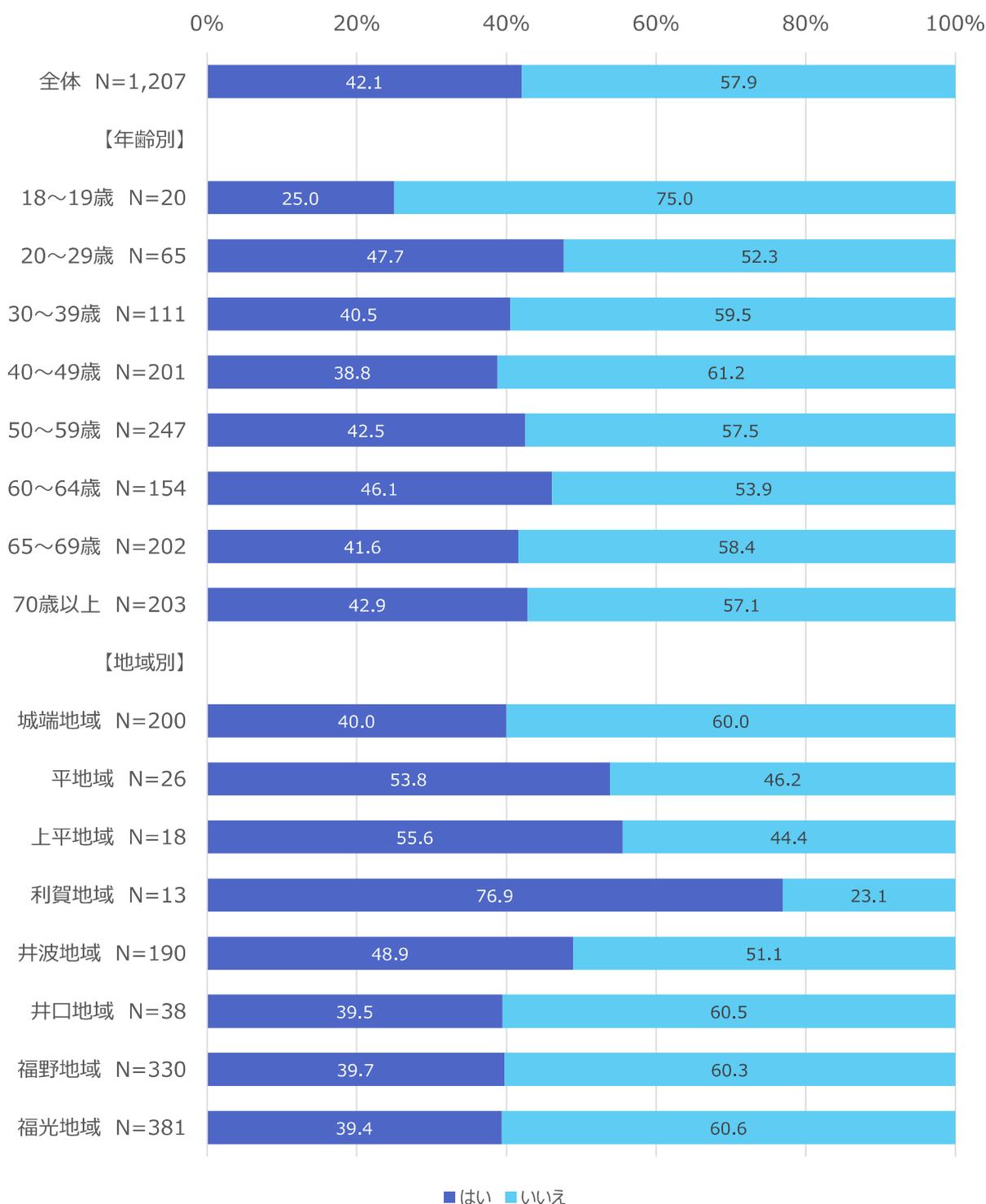
問44 あなたは、障がいのある人を手助けしたことがありますか。

全体の約4割は障がいのある人を手助けしたことがある。

障がいのある人を手助けしたことがあるかをみると、「はい（手助けしたことがある）」が42.1%、「いいえ（手助けしたことがない）」が57.9%となっている。

地域別にみると、利賀地域が「はい（手助けしたことがある）」が76.9%と最も多くなっている。

図57 障がいのある人を手助けしたことがあるか

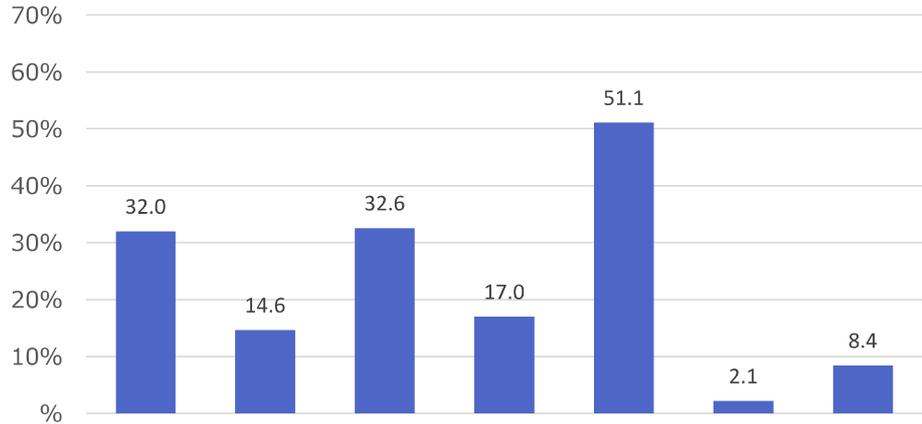


問45 問44で「1. ある」と回答した方にお聞きます。それはどのような気持ちからですか。

障がいのある人を手助けする理由は「障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから」が最も多い。

障がいのある人を手助けする理由をみると、「障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから」が51.1%で最も多く、次いで「自分の仕事に関連して」が32.6%、「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」が32.0%となっている。

図58 障がいのある人を手助けする理由 (MA)



		障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから	近所付き合いや親戚付き合いで	自分の仕事に関連して	将来、自分も障がい者になるかもしれないから	障がいのある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから	障がいのある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから	その他
全体 N=513		32.0	14.6	32.6	17.0	51.1	2.1	8.4
年齢別	18～19歳 N=5	20.0	0.0	60.0	20.0	40.0	0.0	20.0
	20～29歳 N=31	41.9	9.7	25.8	16.1	45.2	0.0	9.7
	30～39歳 N=44	20.5	6.8	50.0	9.1	34.1	2.3	22.7
	40～49歳 N=79	22.8	10.1	40.5	8.9	53.2	2.5	5.1
	50～59歳 N=105	21.9	12.4	35.2	12.4	50.5	1.0	9.5
	60～64歳 N=73	42.5	13.7	32.9	20.5	49.3	4.1	8.2
	65～69歳 N=85	42.4	20.0	20.0	25.9	52.9	2.4	4.7
	70歳以上 N=89	34.8	23.6	25.8	21.3	61.8	2.2	5.6
地域別	城端地域 N=81	29.6	19.8	27.2	19.8	65.4	1.2	7.4
	平地地域 N=114	6.1	3.5	2.6	3.5	7.0	0.0	0.9
	上平地地域 N=10	60.0	30.0	20.0	30.0	80.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=10	30.0	20.0	20.0	30.0	90.0	0.0	0.0
	井波地域 N=92	23.9	15.2	35.9	13.0	47.8	1.1	12.0
	井口地域 N=15	53.3	6.7	33.3	26.7	46.7	0.0	20.0
	福野地域 N=132	27.3	9.1	32.6	15.9	43.9	3.8	8.3
	福光地域 N=154	35.7	14.9	35.1	14.3	46.1	1.9	7.1

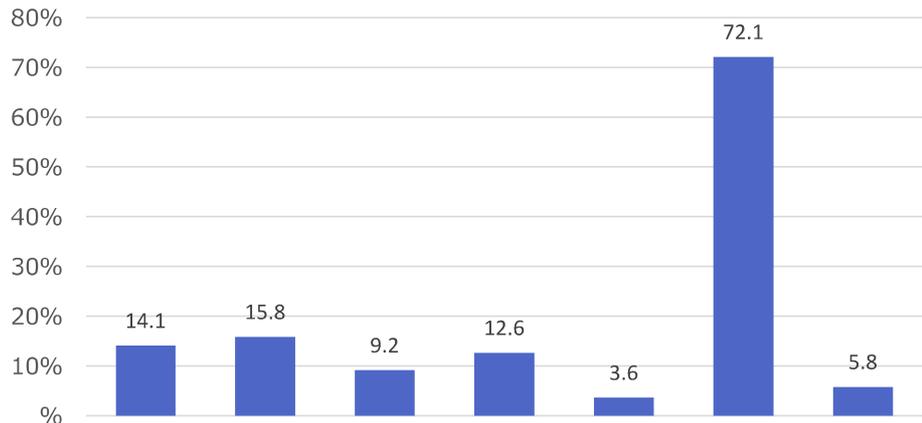
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問46 問44で「2. ない」と回答した方にお聞きます。手助けをしたことがなかったのはどうしてですか。

障がいのある人を手助けしたことがなかった理由は「自分の周りに障がいのある人がいなかったから」が最も多い。

障がいのある人を手助けしたことがなかった理由をみると、「自分の周りに障がいのある人がいなかったから」が72.1%で最も多く、次いで「どのように接したらよいかわからなかったから」が15.8%、「自分が何をすればよいかわからなかったから」が14.1%となっている。

図59 障がいのある人を手助けしたことがなかった理由（MA）



		自分が何をすればよいかわからなかったから	どのように接したらよいかわからなかったから	お節介になるような気がしたから	専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	自分にとって負担になるような気がしたから	自分の周りに障がいのある人がいなかったから	その他
全体 N=688		14.1	15.8	9.2	12.6	3.6	72.1	5.8
年齢別	18～19歳 N=15	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	93.3	0.0
	20～29歳 N=33	18.2	15.2	15.2	6.1	3.0	69.7	3.0
	30～39歳 N=66	12.1	16.7	13.6	12.1	6.1	68.2	7.6
	40～49歳 N=120	14.2	12.5	7.5	13.3	3.3	59.2	11.7
	50～59歳 N=140	12.1	14.3	8.6	13.6	2.9	80.7	2.1
	60～64歳 N=83	16.9	18.1	8.4	13.3	3.6	74.7	6.0
	65～69歳 N=116	19.8	19.0	9.5	15.5	4.3	70.7	3.4
	70歳以上 N=113	10.6	17.7	7.1	9.7	3.5	74.3	7.1
地域別	城端地域 N=121	11.6	14.9	6.6	15.7	5.0	76.9	8.3
	平地地域 N=12	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0	75.0	16.7
	上平地地域 N=8	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	87.5	0.0
	利賀地域 N=3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	井波地域 N=96	12.5	20.8	12.5	12.5	3.1	72.9	1.0
	井口地域 N=23	13.0	13.0	0.0	8.7	0.0	56.5	13.0
	福野地域 N=194	16.0	16.5	8.8	10.3	3.1	71.6	3.6
	福光地域 N=226	14.6	13.7	9.3	13.3	3.5	71.2	6.6

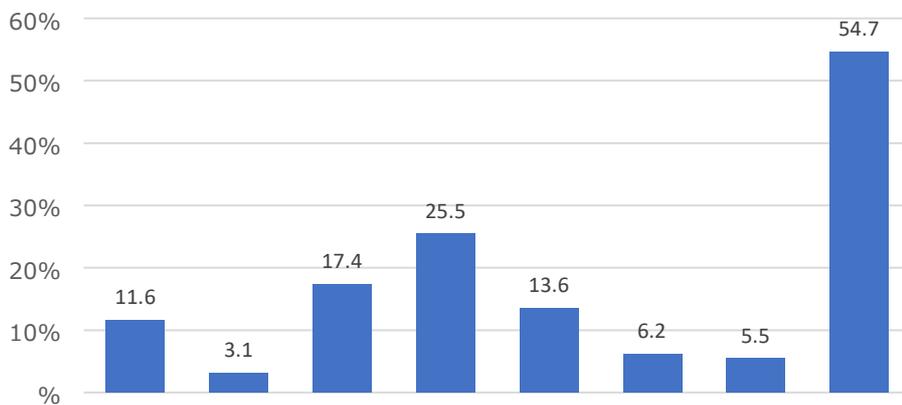
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問47 協働のまちづくりとは、市民、市民団体、事業者及び市が協力して、地域の課題解決に取り組むまちづくりの手法のことです。あなたは、どのような協働のまちづくりに取り組んでいますか。

全体の約5割は協働のまちづくりに取り組んでいない。

協働のまちづくりへの取り組み状況を見ると、「自治会、町内会が主体で実施するまちづくり事業」が25.5%で他のまちづくり事業と比べて最も多いが、「特に何も行ってない」が54.7%と最も多くなっている。

図60 協働のまちづくりへの取り組み状況 (MA)



		市が主体で実施するまちづくり事業	国又は県が主体で実施するまちづくり事業	地域づくり協議会が主体で実施するまちづくり事業	自治会・町内会が主体で実施するまちづくり事業	地域の団体が主体で実施するまちづくり事業	ボランティア団体等が主体で実施するまちづくり事業	企業等が社会貢献事業として実施するまちづくり事業	特に何も行ってない
全体 N=1,178		11.6	3.1	17.4	25.5	13.6	6.2	5.5	54.7
年度別	R5年 N=1,218	6.2	1.6	15.4	28.6	17.6	4.4	4.4	54.8
	R4年 N=1,194	7.4	2.2	17.4	24.5	15.6	8.0	3.4	53.9
	R3年 N=1,271	6.7	1.7	13.4	27.4	15.2	5.4	2.4	56.7
	R2年 N=1,378	8.4	2.5	15.2	32.1	17.1	6.5	3.8	51.5
	R1年 N=1,258	-	3.7	-	-	17.5	6.1	2.8	53.2
年齢別	18~19歳 N=20	15.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	5.0	80.0
	20~29歳 N=63	9.5	1.6	4.8	12.7	6.3	1.6	6.3	74.6
	30~39歳 N=111	9.9	2.7	9.0	14.4	5.4	5.4	9.9	65.8
	40~49歳 N=195	9.2	3.6	12.3	19.5	6.7	7.2	5.6	61.5
	50~59歳 N=244	13.9	1.2	21.3	26.2	6.1	6.6	7.0	52.5
	60~64歳 N=146	14.4	6.2	19.9	28.1	7.5	5.5	6.2	53.4
	65~69歳 N=196	11.2	4.6	23.0	34.2	25.0	7.7	3.6	45.9
	70歳以上 N=199	11.1	2.0	20.1	31.7	30.7	6.5	2.5	44.7
地域別	城端地域 N=200	12.5	1.5	20.5	23.0	18.5	5.0	4.5	52.5
	平地地域 N=26	11.5	7.7	23.1	34.6	26.9	0.0	3.8	53.8
	上平地地域 N=18	16.7	0.0	27.8	22.2	27.8	5.6	0.0	38.9
	利賀地域 N=13	23.1	0.0	38.5	38.5	38.5	23.1	7.7	30.8
	井波地域 N=183	14.2	3.3	19.1	34.4	18.0	7.1	6.6	46.4
	井口地域 N=36	13.9	2.8	16.7	25.0	13.9	5.6	2.8	58.3
	福野地域 N=323	8.4	3.7	14.9	22.3	8.7	7.1	5.0	62.2
	福光地域 N=370	12.2	3.5	15.4	23.8	10.3	5.4	6.5	54.9

※H29~R1は設問内容に相違あります。

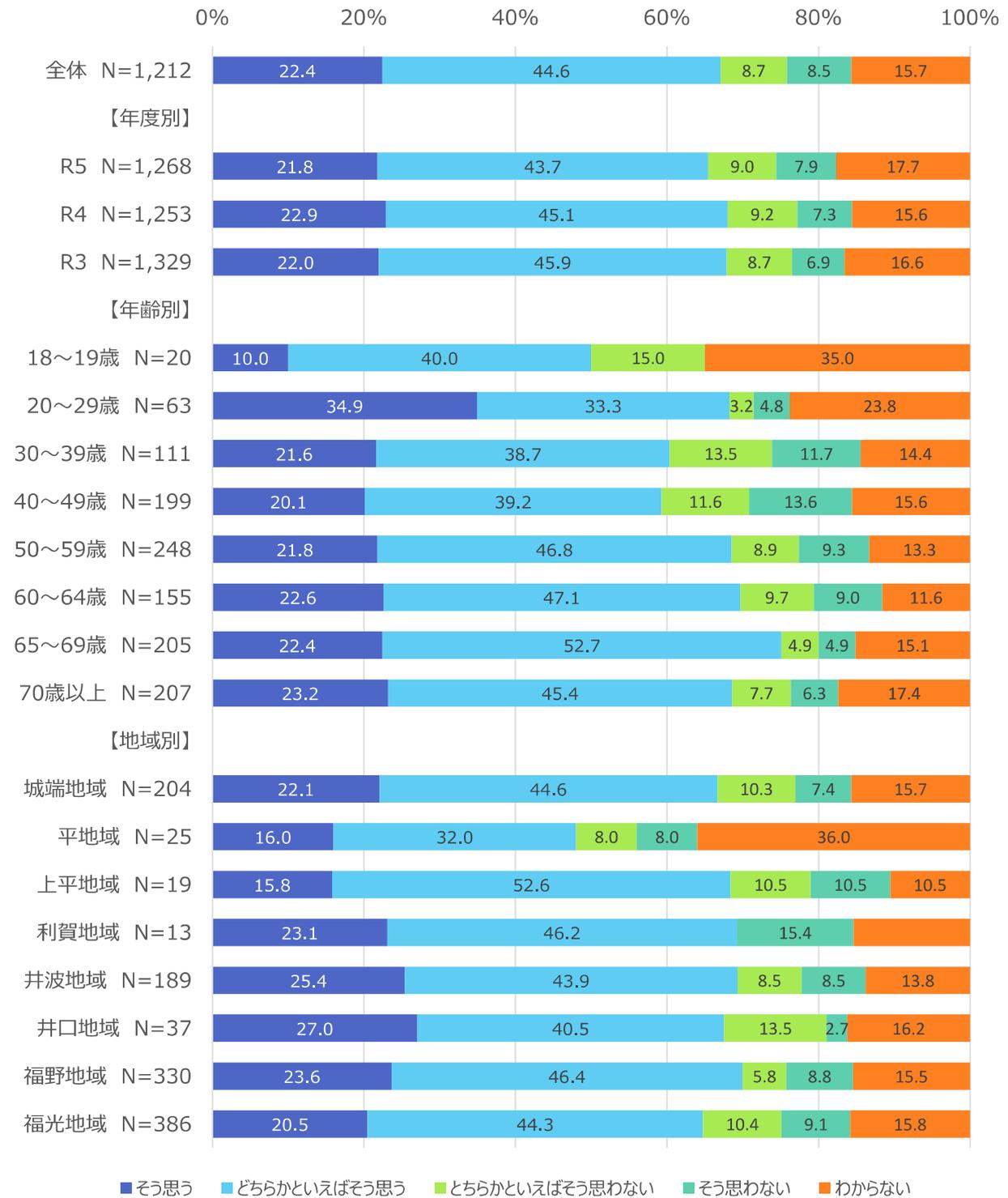
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問48 あなたは、「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思いますか。

全体の約7割は「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思っている。

“みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる”という思いについてみると、「そう思う」が22.4%、「どちらかといえばそう思う」が44.6%、「どちらかといえばそう思わない」が8.7%、「そう思わない」が8.5%などとなり、「今より元気になると思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が67.0%となっている。

図61 みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になると思う

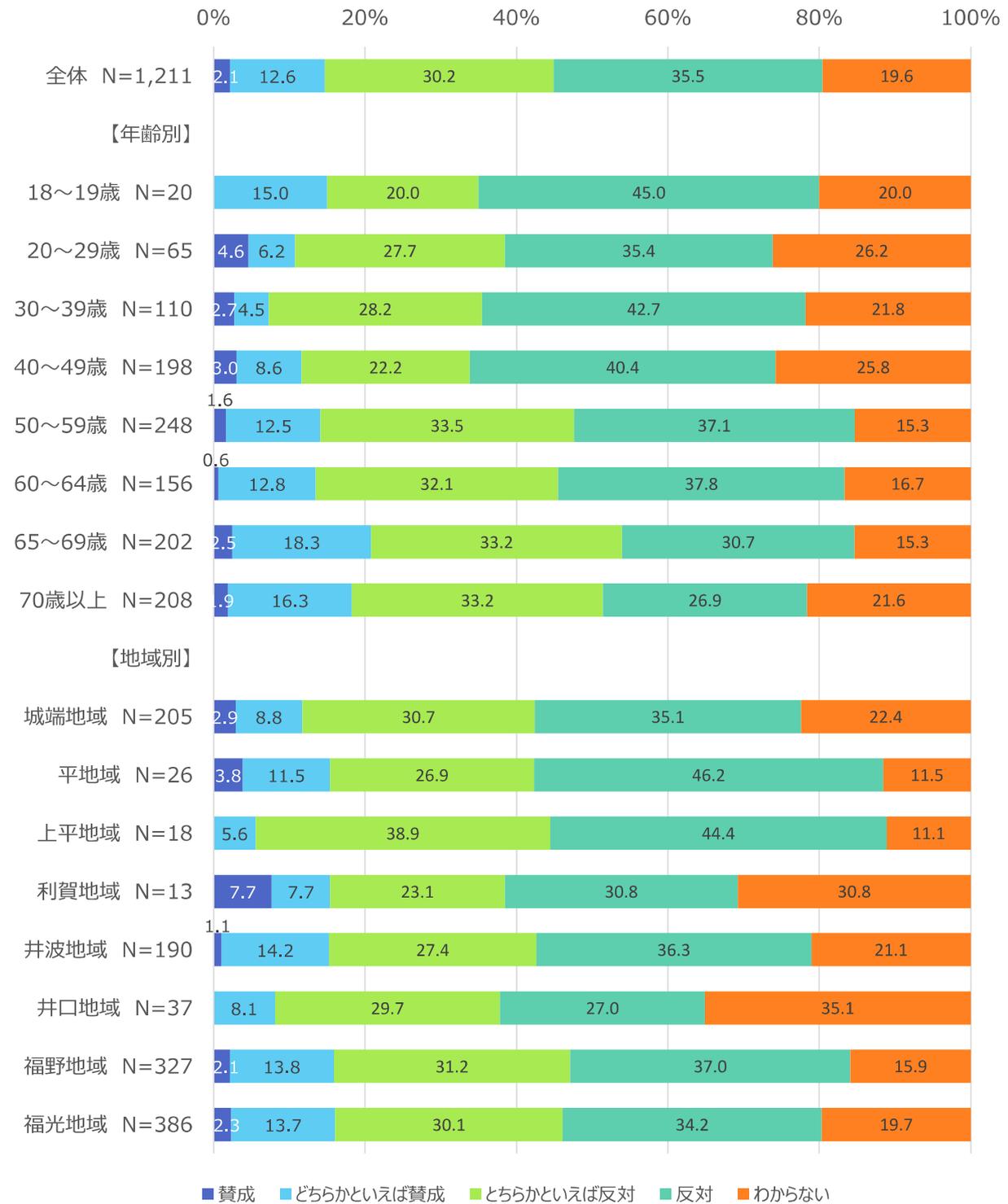


問49 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。

全体の約7割は「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対している。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてみると、「賛成」が2.1%、「どちらかといえば賛成」が12.6%、「どちらかといえば反対」が30.2%、「反対」が35.5%などとなっており、「反対している割合（「反対」+「どちらかといえば反対」）」が65.7%となっている。

図62 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



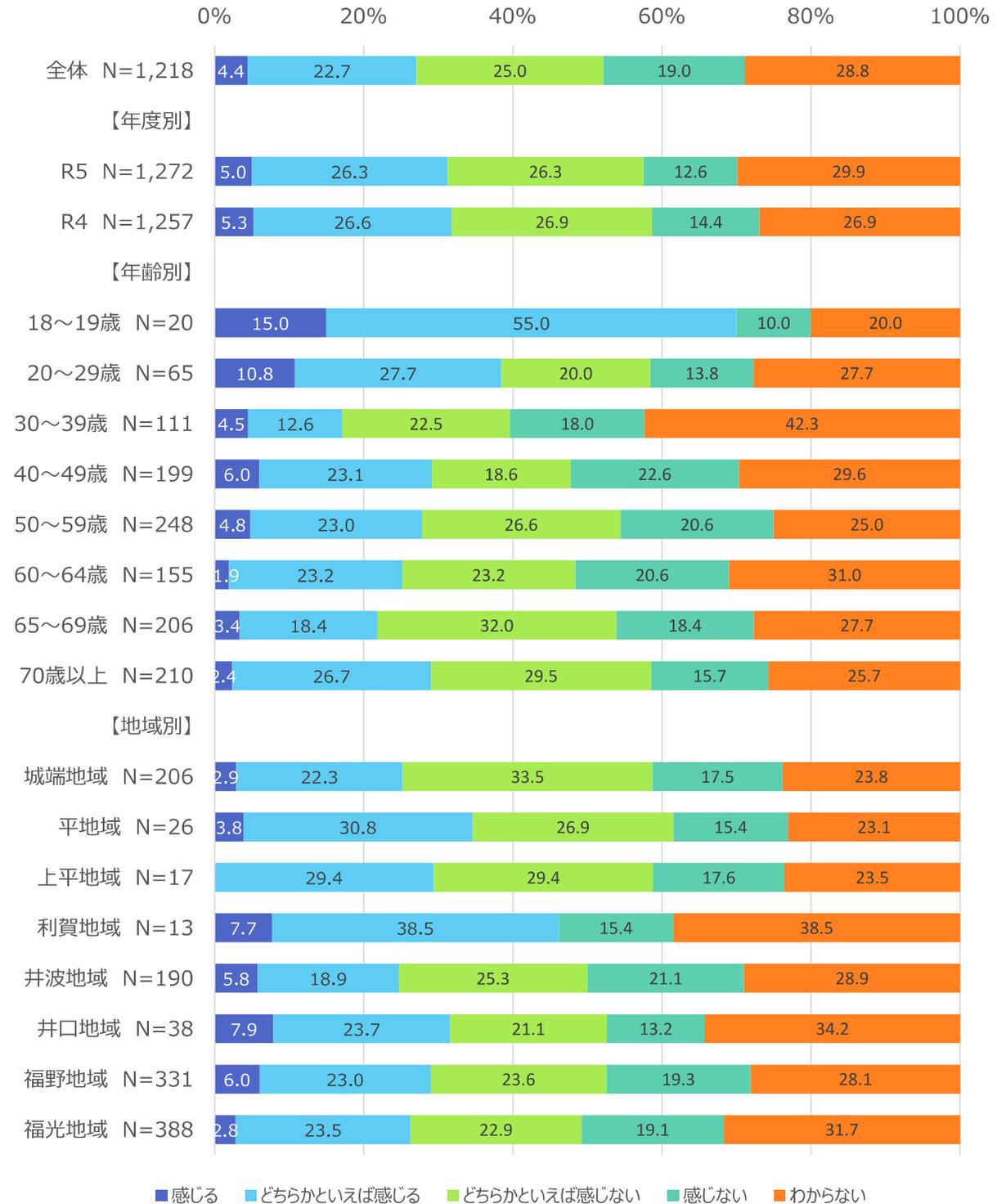
問50 あなたは、南砺市が男性も女性も性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じますか。

全体の約3割は南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じている。

南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じるかについてみると、「感じる」が4.4%、「どちらかといえば感じる」が22.7%、「どちらかといえば感じない」が25.0%、「感じない」が19.0%などとなっている。

年齢別にみると、「そう感じる割合（「そう感じる」+「どちらかといえば感じる）」は年齢が若いほど多い傾向となっているが、30～39歳は4割以上が「わからない」と感じている。

図63 南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じるか

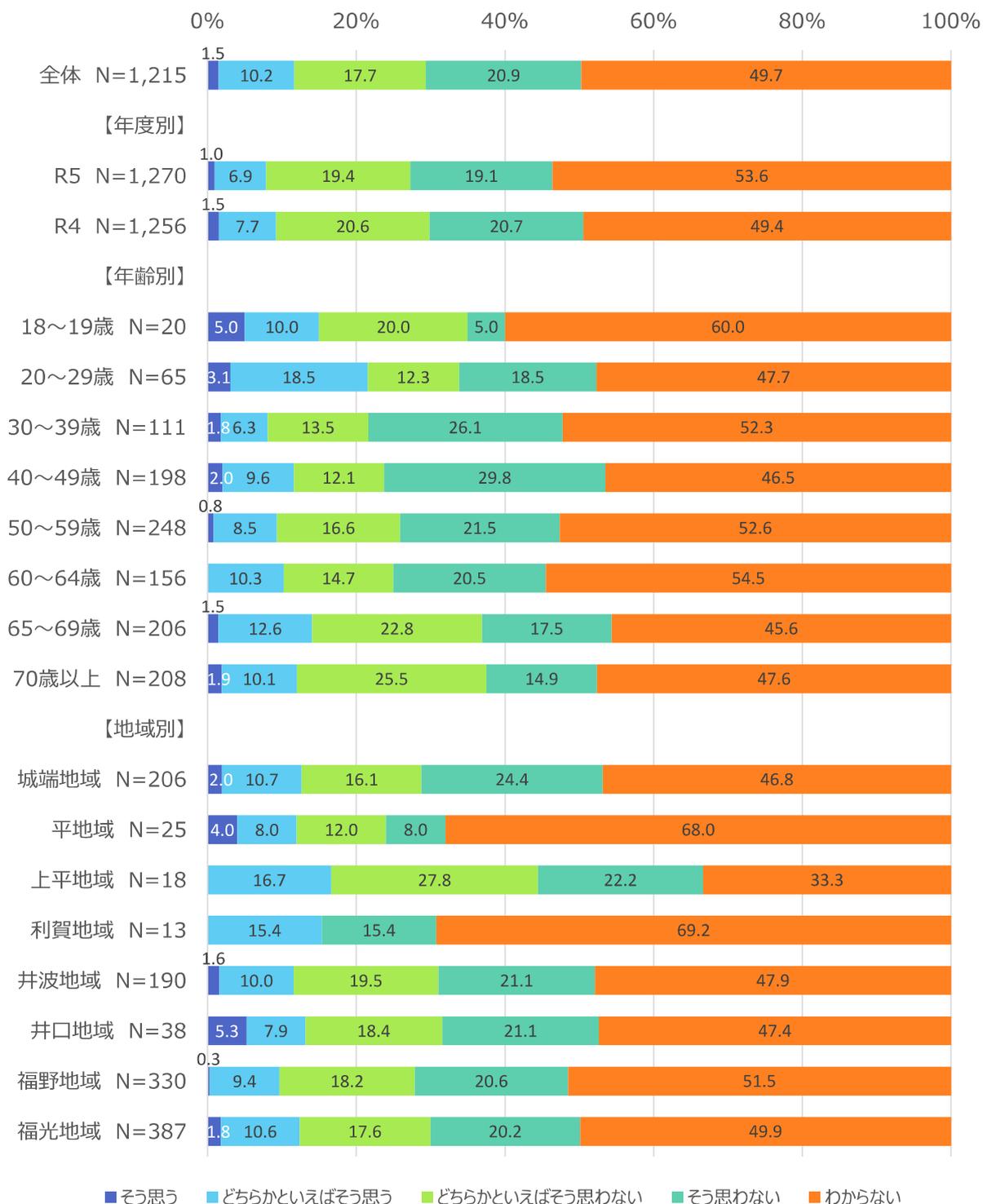


問51 あなたは、南砺市が「ジェンダーギャップ（性別による格差）の解消」に取り組んでいると思いますか。

全体の約4割は南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいないと思っている。

南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいると思うかについてみると、「そう思う」が1.5%、「どちらかといえばそう思う」が10.2%、「どちらかといえばそう思わない」が17.7%、「そう思わない」が20.9%などとなっている。

図64 「ジェンダーギャップの解消」への取り組んでいると思うか



問52 あなたがお住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。

全体の約3割は自分達の地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じている。

お住まいの地域に文化や言語が異なる人々を理解しようとする雰囲気があるかについてみると、「感じる」が4.5%、「どちらかといえば感じる」が22.1%、「どちらかといえば感じない」が20.3%、「感じない」が16.2%などとなっている。

図65 お住まいの地域に文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があるか



問53 あなたは、南砺市が発信している次の情報を利用していますか。利用している場合、それらの内容はわかりやすいと思いますか。

全体の約8割は広報なんどを利用し、利用者の約8割が広報なんどをわかりやすいと思っている。
 南砺市が発信する情報の利用状況についてみると、広報なんどを「利用している」が75.6%、南砺市ホームページを「利用している」が33.5%、南砺市フェイスブックを「利用している」が3.6%、南砺市ラインを「利用している」が3.4%、南砺市ツイッターを利用しているが1.6%となっている。

図66 南砺市が発信する情報の利用状況

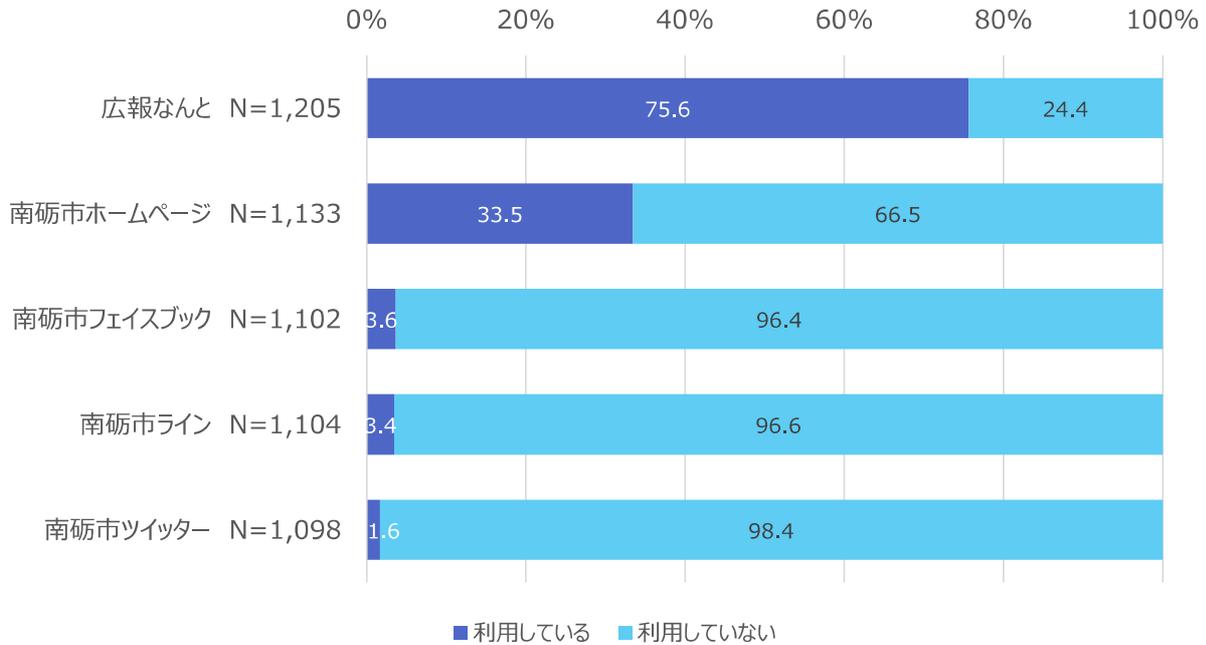
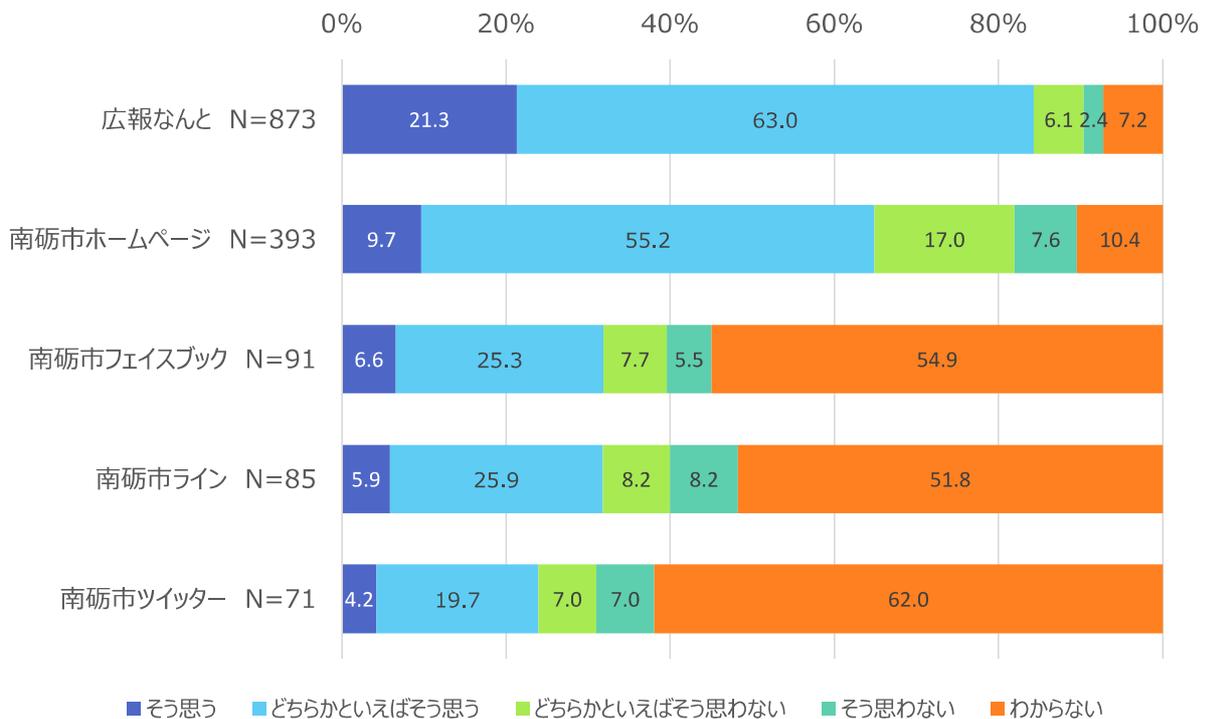


図67 南砺市が発信する情報のわかりやすさ

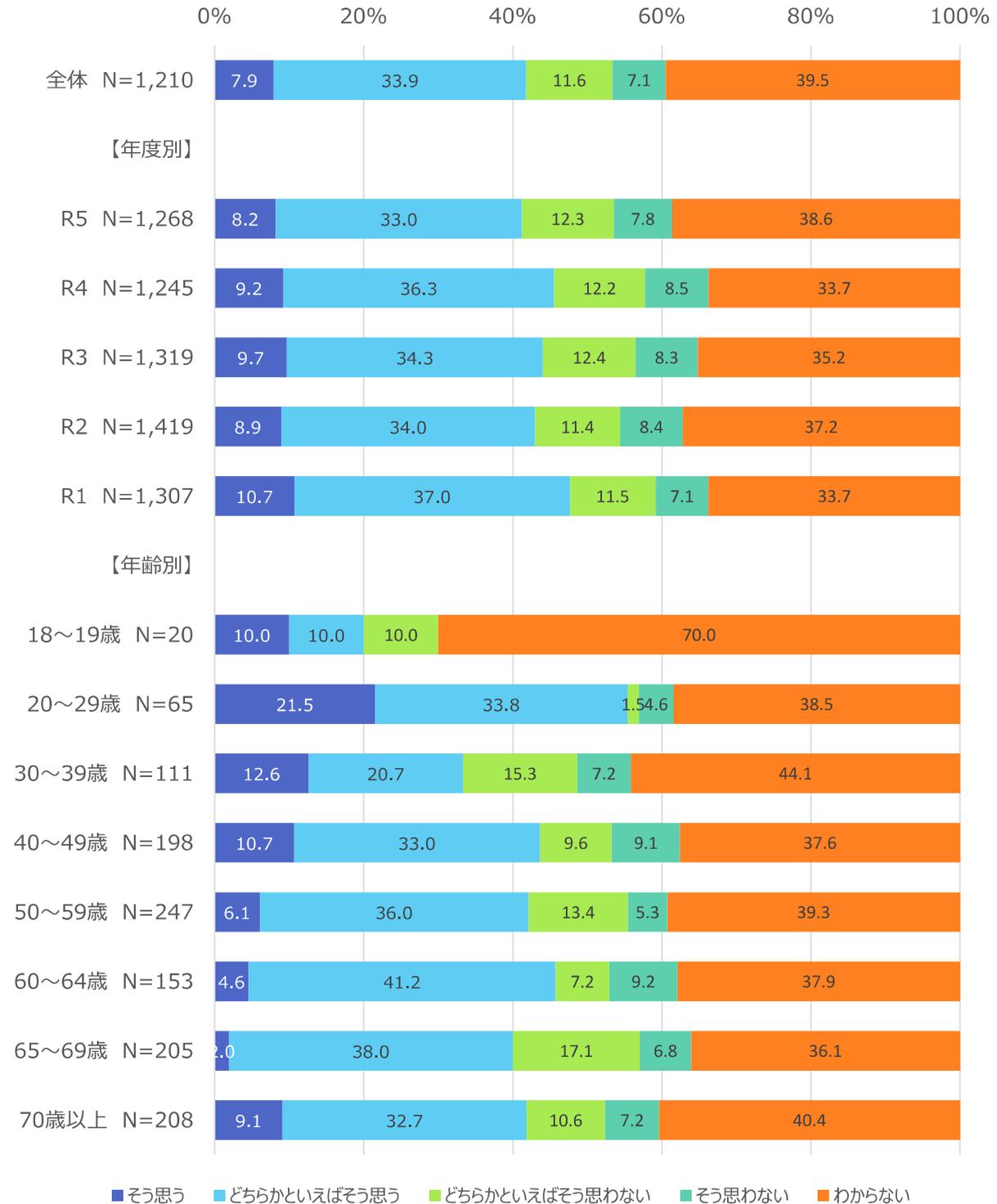


問54 あなたは、南砺市の行政サービス（市役所の仕事）の水準は適正だと思いますか。

全体の約4割は南砺市の行政サービスの水準が適切だと思っている。

南砺市の行政サービスの水準をみると、「そう思う」が7.9%、「どちらかといえばそう思う」が33.9%、「どちらかといえ
ばそう思わない」が11.6%、「そう思わない」が7.1%などとなり、「そう思う割合（「そう思う」+「どちらかといえ
ばそう思う」）」が41.8%となっている。

図68 南砺市の行政サービス水準



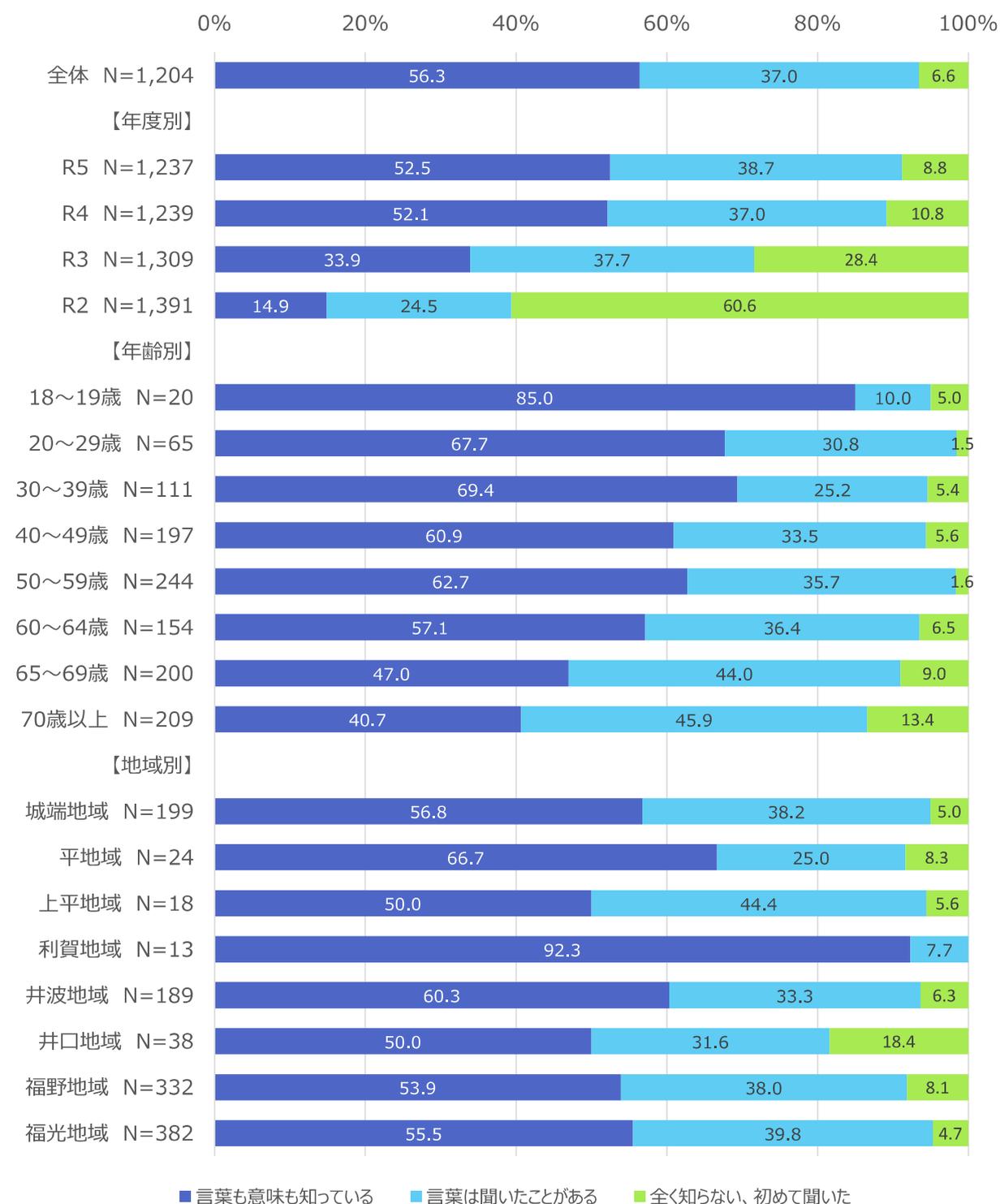
問55 あなたは「SDG s」についてどの程度知っていますか。

全体の6割はSDG sの意味を知っている。

SDG sの認知についてみると、「言葉も意味も知っている」が56.3%、「言葉は聞いたことがある」が37.0%、「全く知らない、初めて聞いた」が6.6%となっている。

年齢別に見ると、年齢が若いほど、「言葉も意味も知っている」の割合が高くなる傾向にある。

図69 SDG sの認知状況

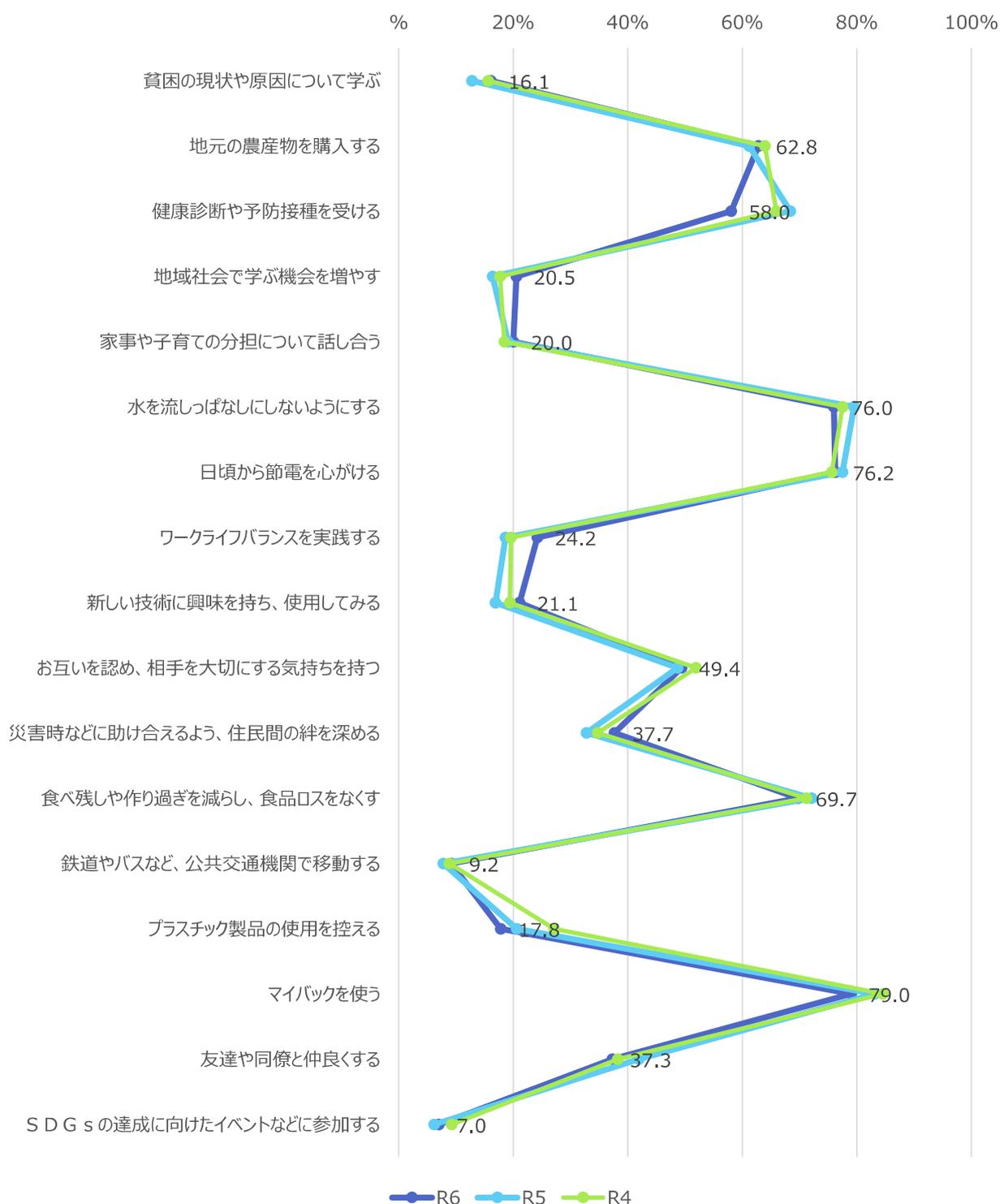


問56 「SDG s」の達成には身近な行動が大切です。あなたが取り組めると思うものは何ですか。

SDG s の取り組みで最も取り組めると思うものは「マイバックを使う」

SDG s の取り組めると思うものについてみると、「マイバックを使う」が79.0%で最も多く、次いで「日頃から節電を心がける」が76.2%、「水を流しっぱなしにしないようにする」が76.0%となっている。

図70 SDG s の取り組めると思う行い (MA) N=1,199

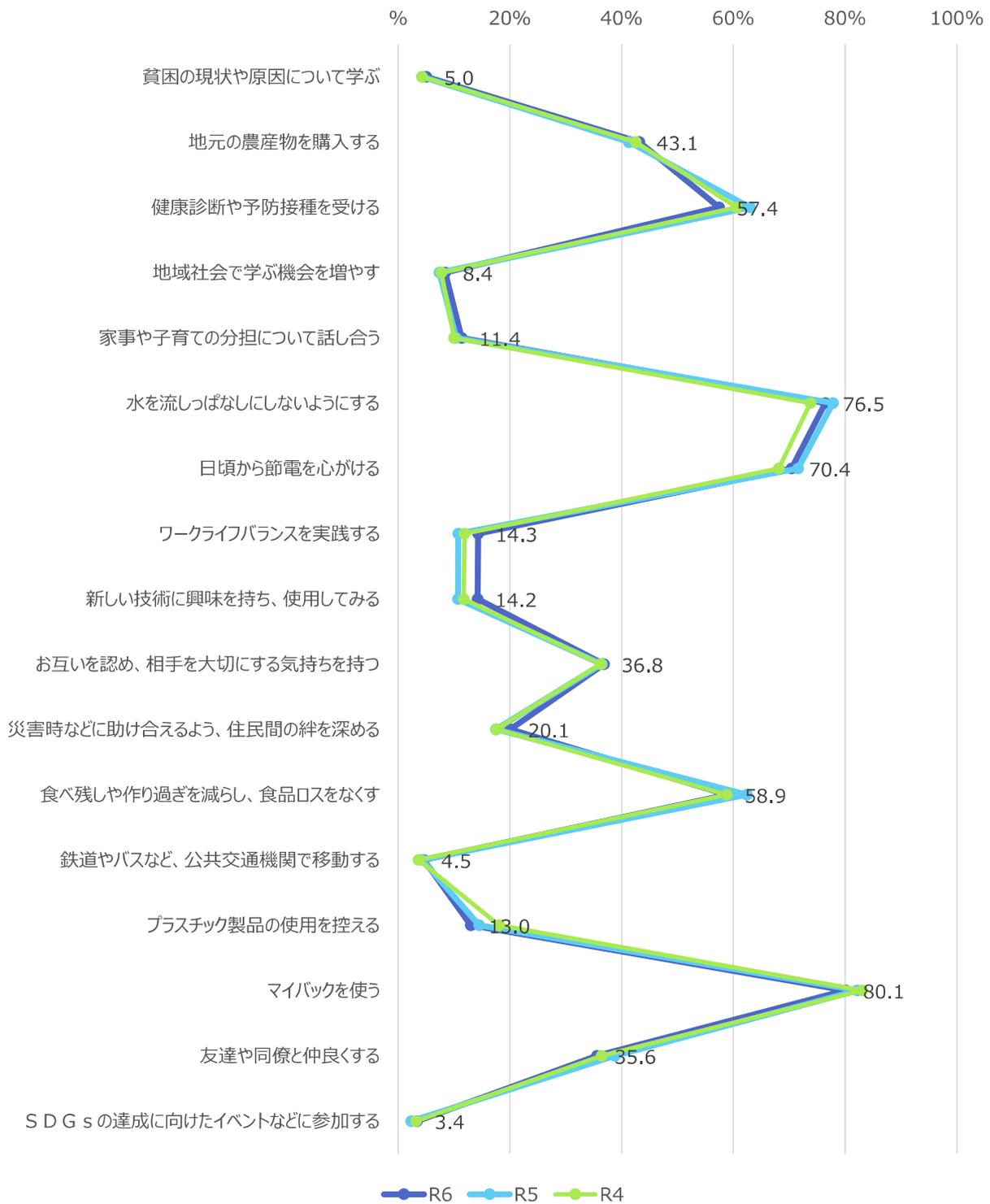


問57 実際に取り組んでいるものは何ですか。

実際に取り組んでいるSDG sの行動で最も多いのは「マイバックを使う」

SDG sで実際に取り組んでいる行動についてみると、「マイバックを使う」が80.1%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が76.5%、「日頃から節電を心がける」が70.4%となっている。

図71 実際に取り組んでいる行い (MA) N=1,189

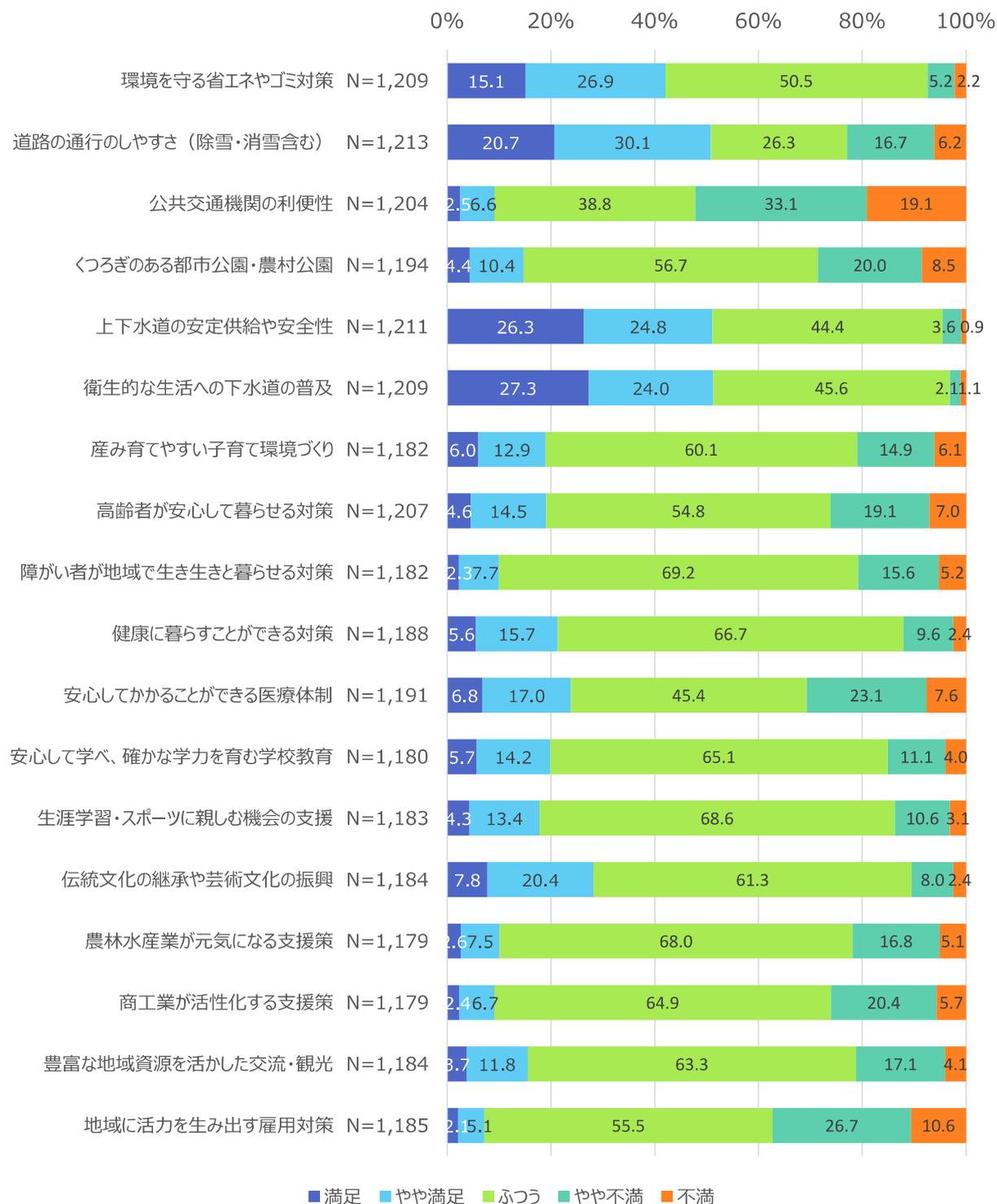


問58 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。

市政への満足度が最も高いのは「衛生的な生活への下水道の普及」

市政への満足度をみると、「満足」の割合は「衛生的な生活への下水道の普及」が27.3%と最も多く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が26.3%、「道路の通行のしやすさ（除雪・消雪含む）」が20.7%、「環境を守る省エネやゴミ対策」が15.1%となっており、「満足している割合（「満足」+「やや満足」）」が4割以上となっている。

図72 市政への満足度



Ⅲ 自由意見集計

1. 意見分類一覧

回答いただいたご意見を次のように分類しました。

主な分類	件数
医療	5件
教育	9件
公共交通	11件
子育て	13件
情報発信	9件
人口対策	10件
生活環境	10件
地域・伝統	12件
地域間の差	1件
道路・除雪	9件
農林業	6件
福祉・介護	14件
防災	2件
商工業・雇用	10件
窓口・職員等	10件
合計	131件

2. 意見詳細

ご意見の概要は次の通りです。

分類	主な意見	件数
医療	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 訪問診療等の現状、手続き方法など南砺市の医療体制がよく分かりません。(70代) ▪ 小児科、耳鼻科、産婦人科の病院が少ないので、増やしてほしいです。(70代ほか) ▪ 病院を中心とした医療総合大学や、保養・療養都市を建設してほしいです。(10代) ▪ 人間ドックの内容を充実させて、その支援(助成)をしてもらえると、住みやすい南砺市になると思います。(40代) ▪ 南砺中央病院が辺鄙な場所にあるから不満を感じます。福光井波福野の間にあれば良いと思います。(40代) 	5

分類	主な意見	件数
教育	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教材や働く職員が気持ちよく働けるような環境を整えることにお金をかけてほしいです。ある物を最大限に生かし、子どもたちは勿論、関わる大人も個性を生かし、伸び伸び学べる働ける環境を望みます。(80代) ▪ 自由なく安心して生活ができる支援や子どもたちが誰でも遊べる場、学べる環境があったら良いなと思います。(50代) ▪ 子ども(小中高生)の学習する場所が少なく、拡大してほしいです。(80代) ▪ 貧困家庭の子どもに対して、支援の強化をお願いします。大学生へも補助の強化をお願いします。(30代) ▪ 小学校や中学校、高校の統合や減少が心配です。将来への不安を感じます。(40代ほか) ▪ 通学時の見守り隊を増やしてほしいです。(80代) ▪ 少子化により、各地域の部活動が制限され、子どものやりたい部活がその学校にない場合他の中学校に行き部活をする事となったが、バスを運行してあちこちの中学に行きやりたいな、楽しいな、と思える活動を子どもたちができますように、協力をお願いします。(30代ほか) ▪ 中学校の授業にタブレットが登場しているのを見たことがないです。総合的な学習の時間での使用だけでなく、普段使い、授業でも教員のタブレットから各児童へ一斉配信した課題をそれぞれのペースで行って教師に返す等してほしいです。(40代) ▪ 子どもに流されない教育、保育を望みます。(60代) 	9

分類	主な意見	件数
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ▪ スクールバスを誰が搭乗しても良いことにしてほしいです。(70代) ▪ 中学校の部活について、隣の中学が拠点になった時、スクールバスが出ないと聞きました。親の送迎は16時代には不可能です。説明をきちんとしてもらいたいです。(60代) ▪ 石動(駅) ↔ 南砺福野(駅) 間のバスの運行、活性化をお願いしたいです。(50代) ▪ 高校生のためになんバスを休日も運行してほしいです。また、世界遺産バスの便数をコロナ前に戻してほしいです。(60代) ▪ 免許を返納した高齢者のために、バスやタクシー等を充実させて利便性を良くしてほしいです。(50代ほか) ▪ 南砺と金沢を結ぶバスが利用しづらいです。リラックスできる車両での運行や、福光だけでなく、福野等からも行きやすいようにしてほしいです。(50代ほか) ▪ 高校生の通学に使用するバス代の補助を、通年ではなく冬季のみの使用にも適用してもらえるとありがたいです。(60代) ▪ 富山空港へアクセスできる公共交通機関があれば良いと思います。(50代) ▪ 朝や帰宅時の公共交通の利用が不便です。朝一番の路線バスが9:50くらいなので、砺波総合病院やなんと中央病院に通院できません。(30代ほか) ▪ 井波から福野へのアクセスが悪いです。路線バスの本数も少なく不便です。(70代) ▪ 砺波のように「ちよいそタクシー」を運用して下さい。(40代) 	11

分類	主な意見	件数
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 夏や冬、外で遊ぶことが危険な時、外内で遊べる施設があればいつも思います。(70代) ▪ 夏休み、冬休み等にアルカス等の施設を利用したいが、条件が厳しく、預かってもらえません。見直しを望みます。(60代) ▪ 子どもたちが遊ぶ場所が少ないです。子どもたちが安心して遊べる公園づくりを望みます。(30代ほか) ▪ 県外に住む大学生を持つ親に対して、仕送り等お金がかさむため、金額面で是非支援していただきたいです。(40代) ▪ 出産費用の無償化や出産祝い金、新婚の引っ越し手当など、結婚、子育てに関する助成金の所得制限や年齢制限を廃止して、増額してほしいです。(20代) ▪ 子育て世代が住みやすいよう、まわりに頼れる環境作りをしてほしいです。(50代) ▪ 出産・育児の政策に力を入れてほしいです。(40代ほか) ▪ 小学生、中学生になっても子どもが病気等で休んだとき、子どもを預けられる場所や地域で子どもを育てていくという風土、情報がもっと欲しいです。(60代) ▪ 家庭における男性の家事・育児の当たり前の行動がとれる意識の醸成が必要不可欠であると思います。(20代) ▪ 長期休み時に、児童館でのお弁当注文ができるとうれしいです。(50代) ▪ 子どもが生まれた時に木工製品のプレゼントがあるが、別の物もあったほうが良いのではないかと思います。(30代) ▪ 南砺市内に子育て用品の専門店(西松屋等)があると助かるなと思います。(40代) ▪ 母乳について助産師さんに気軽に相談できる機会が多くあると良いなと思います。(40代) 	13

分類	主な意見	件数
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 広報なんとう等の毎月の紙の配布物を、WEBで見られるようにしてペーパーレス化に努められた方が良いと思います。(60代ほか) ▪ 電子回覧板の普及を促してほしいです。(60代) ▪ ママ友ネットワークが少なくなり情報が入りにくくなっているのかなと感じました。広報等で発信して頂けると嬉しいです。(40代) ▪ たまに行われている放送はLINE等のSNSを使用したものに変えるべきだと思います。(50代) ▪ 南砺市LINEでゴミの日の通知をしてほしいです。(40代) ▪ 南砺市ホームページの更新が遅く、無効リンクが放置され見づらいです。もっと分かりやすく作成してほしいです。(20代ほか) ▪ 必要のない過度な情報・アプリ・サービスの提供よりも、水道代のクレジット払いの対応や銀行引落しで月50円の値引きのほうありがたいです。(40代) ▪ 南砺市の施策について、南砺市民が調べるのではなく、注意を引くための施策を実施すべきです。(30代) ▪ 富山県電子申請サービスのURLにたどり着きづらいです。もっと分かりやすくした方が良いでしょう。(40代) 	9

分類	主な意見	件数
人口対策	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 外国からの移民を少しずつ受け入れる流れを作ってほしいです。(80代) ▪ 移民の受け入れには反対です。犯罪が多くなり、住みにくくなると思います。(30代) ▪ 少ない人口でせめてインフラや教育、病院等を整えるには、今のように分散して暮らすのではなく、どこかに集まって生活することになるのかとったりします。(40代ほか) ▪ 他県から南砺市に住んでみたいと感じる具体的対策を行政でなければできない事を真剣に考え行動を起こしてもらいたいです。(30代) ▪ 移住者にもっと手厚い保護をされた方が良いのではと思います。特に生める性をもつ女性をターゲットにした方が良いのではと思います。(80代) ▪ 若い世代が移住したくなるような、企業誘致や空き家のリノベーション等のまちづくりをしてほしいと思います。(80代ほか) ▪ 他地域から南砺を選んで移住する人を世代で分けずに広く受け入れるコミュニティと住居の整備が急務と思います。(50代) ▪ 実際の移住が完了するまでのステップをサポートする体制は、改善の余地があるように思います。(50代) ▪ 南砺市の極上の田舎を満喫し、宿泊しながら人間ドックを受けるなど、極上の田舎に他の要素を掛け合わせて富裕者を呼べば良いと思います。(80代) ▪ 出会いの場が少ないと思います。いろいろな企業合同で出会いを求めても良いかと思えます。(30代) 	10

分類	主な意見	件数
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ゴミを出す機会が少なすぎるので増やしてほしいです。身近にリサイクルセンター的なものがなく、役所の横等に気軽に持ち込めたら、リサイクル意識が高まるのではないかと思います。(20代ほか) ▪ ライフラインの(公共サービス)民営化はしないでほしいです。(30代) ▪ 近隣にはスーパーがなく、あっても流行っていないです。アルビス(ショッピングタウン)のような繁盛したスーパーが空いた土地にあればと思います。(70代) ▪ 空き家をリノベする人限定で補助金を強化するなど、空き家対策を強化してほしいです。(40代ほか) ▪ 若者が興味を持つような店等(公園・施設)を作してほしいです。(60代) ▪ 南砺市はもっとSDGsのことについて考えてほしいです。(30代) ▪ 秋口になると田んぼで燃やす人がいるので、洗濯物を外に干すと匂いが付くので困っています。(70代) ▪ 城端中学校のグラウンドの道側の桜の木の根本の中の草むらに、小さく1本、松が曲がって生えているのですが、校門近くの松の方へ植え替えした方が良いと思います。(40代) ▪ 最近公衆電話が減って、携帯無しでは子どもと連絡取り辛く不便です。何か連絡手段が用意されれば助かります。(50代) ▪ 福光駅東側や、福野、城端等の小学校周辺を区画整理して、若い人が家を建てれるようにして下さい。(40代) 	10

分類	主な意見	件数
地域・伝統	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域の祭りに対する補助金が毎年減らされており、このままでは祭りを続けられなくなりま す。お金（税金）の使い方をもっと考えてほしいです。（70代） ▪ 地域づくり協議会の行事が多いなど、問題が多いと思います。（60代） ▪ 自治会、老人会等の役員の負担が大きいです。（60代） ▪ 図書館の休館日が、やたら長い月が年数回あります。日頃からこまめに整えておけば、8 日間も休まなくて良いと思います。また、もっと本を並べてほしいです。（40代） ▪ PTA やボランティア等の地域活動を減らしてほしいです。（30代ほか） ▪ 植物園がなくなるという話を聞いて残念です。もっと活用できたらと思います。（40代） ▪ 近隣の高齢で今も活動的にいろいろと地域に関わっている方の柔軟性のなさ、移住者 へのよそ者扱的な態度や言動を不快に思います。（70代） ▪ P.A.WORKS というアニメ会社が南砺市にあるので、南砺市をアニメや漫画で活性化 できれば幸いと考えています。（50代） ▪ “ムラ意識”、“排他的感覚”からの脱却とアップデート、あらゆる多様性に対する意識改 革が必要だと思います。（70代） ▪ コロナ禍以来、各世帯が引きこもり、それぞれ勝手に楽しめる事に集中しがちで、地域 のふれ合いや、地域協力がますます薄れていると感じます。（70代） ▪ 南砺市が合併して20年も経過しているのにスポーツクラブが合併していません。体育協 会と合わせて一つにすべきだと思います。（50代） ▪ シャッターの閉まっている店が多いので町全体が寂しいです。人の集まる行事をどんどんし てほしいです。（80代） 	12

分類	主な意見	件数
地域間の差	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大きく声をあげている所（人）とそうでない所の格差が少し気になっています。（40 代） 	1

分類	主な意見	件数
道路・除雪	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 車道や歩道の損傷がひどく、危険を感じます。定期的に交通インフラの点検をして整備してほしいです。(40代ほか) ▪ 道路の白線が消えていて見にくいところがあるので、対応してほしいです。(20代ほか) ▪ 新屋地区にある国道の交差点の信号を、早急に改善して無くしてほしいです。(80代) ▪ 南砺市役所の出入口や道路が狭すぎます。横断歩道も死角が多くて危険です。(20代) ▪ 柵のない用水と道路の間や、待機場所のあまり無い信号交差点を子どもが通学で使うので、怖いです。(50代) ▪ 井波の交通広場の駐車場を無料にしてほしいです。(30代ほか) ▪ 街灯が少なく、日が沈んで暗くなると、帰り道がとても暗く不安になるので、街灯を増やしてほしいです。(50代ほか) ▪ 融雪装置の整備を早急にしてほしいです。予算の配分を考えるべきではないかと思えます。(40代ほか) ▪ 除雪がされていなかったり、除雪がされていても雪が残っているところがあったりするので、対応していただきたいです。(30代ほか) 	9

分類	主な意見	件数
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 小中学校の給食にオーガニック食材のものを出すなど、無農薬野菜や米の普及にお金を使って下さい。(30代) ▪ 除草剤や農薬等の化学薬品に頼らない農業をもっと支援し推進してほしいです。(70代) ▪ 有機農業、減農薬に力を入れ、付加価値を付けて道の駅で販売するなど、自然に優しい農業で、作った人が収入を得られる仕組みを作ってほしいです。(40代) ▪ 地場産のくず野菜に命を吹き込むような添加物のない食事を提供できる店を増やしてほしいです。(40代) ▪ 地元野菜や肉・玉子の販売箇所を増やして売り上げを伸ばしてほしいです。(50代) ▪ 児童の通学路であるにもかかわらず、晩秋には畑には掘り起こされただけで未回収の野菜が転がり、悪臭を放っています。何とかしてほしいです。(40代) 	6

分類	主な意見	件数
福祉・介護	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 行政で健康教室等を、もっと催してほしいと思います。(40代) ▪ 高齢者ドライバーが免許返納しても暮らしやすい取り組みを望みます。(30代) ▪ 高齢者に優しい街づくりをし、全国に先駆けて高齢者の町にすれば良いのではないかと思います。(40代) ▪ 高齢者に対するケイタイ教室が(デジタル)あれば良いと思います。(40代) ▪ 高齢者が楽しめ、気楽に集う場、機会が少なくなっていると強く思っています。(30代) ▪ 障がい者は開業医で診てもらえないです。心身の不調で困っているが相談場所がありません。(80代) ▪ 障がい者に対して、市役所の受付の方はもう少し親切にしてほしいです。(40代) ▪ 神社や寺への観光、温泉など障がいを持った人たちも行きやすくなるようにしてほしいです。(80代) ▪ 高齢者施設や介護施設、障がい者施設が少ないと思います。もっと増やしてほしいです。(50代ほか) ▪ 南砺市に住所をおいて東京等で、住民福祉サービスを受けることができるようにして下さい。(30代) ▪ 老人介護や障がい者に偏った対策で、健康に暮らしてる人を巻き込むのはどうかと思います。(50代ほか) ▪ 介護タクシーの夜間の利用は前もっての予約が必要と言われた事があり、そのような時の対処方法が分かりません。(70代) ▪ 介護保険を支払っているのに使っていない市民には商品券(南砺市で使える)等で使えるものをプレゼントするなど、安心して楽しい老後になれば良いと思います。(70代) ▪ 認知症の人が地域で過ごせるためのコミュニティの創成や、貧困親子への補助等があると良いと思います。(70代) 	14

分類	主な意見	件数
防災	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 豪雨時、家の上のため池が氾濫するのではないかと心配です。(80代) ▪ 太陽光パネル普及に反対です。自然が破壊され、火災が発生した場合に消火できません。(30代) 	2

分類	主な意見	件数
商工業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「スモールビジネス」への取り組みへの支援、サポートをもっと強く、取組みやすい内容、仕組みにすれば良いのではと思います。起業がしやすく、又一次度失敗しても再チャレンジのチャンスが増える機会の創出が必要と思います。(30代) ▪ 若い人が働ける場を設けてほしいと思います。(20代ほか) ▪ ベーシックインカムを入れてほしいです。(50代) ▪ 女性が働きたいと思える職場が南砺市に増えると良いと思います。(50代) ▪ 定年後の就職先が少なすぎると思います。(80代) ▪ 賃金の低さに郊外に働きに行かざるを得ないことが、ずっとここに住もうと思えない一番の理由だと思っています。賃上げをしてほしいです。(40代ほか) ▪ 働く場所が少なすぎると思います。工業団地の新設など、企業誘致をして市内に働く場所を求めます。(50代ほか) ▪ 企業誘致において中小企業、個人企業でも地域経済を支えていけるような数があれば良いと思うので、市の支援があれば良いと思います。(50代) ▪ 観光業においては、「車での観光」という形態をメインターゲットとすることが良いと思います。桜ヶ池クアガーデンのように、インターチェンジ周辺をロードサイド型に観光地化することが今後必要だと考えます。(60代) ▪ 何か、核になる物を創出し、(例えば城端ビール、ワイン) 県外から人を呼び込む必要があると思います。(40代) 	10

分類	主な意見	件数
窓口・職員等	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 役場の人の対応が悪い時があります。しっかりしてほしいです。(10代ほか) ▪ 市長の在任期間が長すぎると思います。(40代) ▪ 住民間のご近所トラブルに対し、町内会長に相談しても埒があかないです。ご近所トラブル対策課を作って下さい。(40代) ▪ 市の管轄外のインフラ等で相談窓口として相談に乗ってほしいです。(30代) ▪ 福祉サービスの提供を市職員自らが行き、地域の団体等にさせないようにするべきだと思います。(80代) ▪ 市民センターの草むしりなど、市職員の仕事として美化に努めて下さい。(80代) ▪ 市から依頼されている役員や委員(例：市のスポーツ推進委員等)がいくつかありますが、全て必要でしょうか。不必要なものは無くしてほしいです。(40代) ▪ 市政の内容について、政策推進課の方から直接お聞きした事はありません。市長直属の課であるならば、地域の会合に出席し話す機会を設けるべきと思います。(40代) ▪ 各行政の補助が特定の年代や家庭に偏っていると思います。各部課・各年次・各政策だけでなく長期的に見て各家庭バランスよく補助してほしいです。(50代) ▪ 各地域の特色にあったことは各地域にお任せして、南砺市全体としてやってほしいこと(少子化対策や空き家対策等)を市として推し進めていただきたいです。(60代) 	10